学科	看護学科				ID	2662
授業科目の区分１	基礎教育科目					
授業科目の区分２	基礎教育科目					
授業科目の区分３	思考力養成					
科目名	情報処理法				授業科目番号	1101010
担当者氏名	張　坤					
授業方法	演習	単位	1単位		時間	30
必選	必修	開講年次	1年		開講期	前期

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	
	◎ 1-1 幅広い教養と多様性を理解する力
	○ 3-1 地域のネットワークを共有する力
	○ 4-2 看護を追究する基礎的研究能力

授業の概要　（全角392文字）

パーソナルコンピューターを用いて、学生生活で必要な情報処理の基礎的な知識と操作技術の獲得を目指す。パーソナルコンピューターの仕組みを知る。そのうえで、ワードプロセッサーの基礎的な使用方法、表計算ソフトの基礎的な使用方法、プレゼンテーションソフトの基礎的な使用方法を学ぶ。また、電子メールの受発信、インターネットを通しての情報収集の基礎的な知識と技術を学ぶ。収集した情報の加工、蓄積、検索、利用、廃棄などの情報管理の手法について学ぶとともに、収集したデータの二次的活用方法について学ぶ。

授業の到達目標　（全角224文字）

①パーソナルコンピューターの基本的な操作とインターネットからの情報収集・処理・発信ができる。
②ワードによる文書の作成ができる。
③パワーポイントによる発表資料作成ができる。
④エクセルによる表計算とデータの集計などができる。

評価の方法　（全角112文字）

学習態度10%；宿題20%（2，3回程度）；小テスト30%（3回程度）；パワーポイントによるグループ発表40%

テキスト　（全角168文字）

『Office2016で学ぶコンピュータリテラシー』　（小野目如快著　実教出版　2017年）

参考図書　（全角112文字）

特に指定しない

履修上の留意点　（全角168文字）

演習科目であるため、講義への出席率を確保するように努める。

備考　（全角56文字）

養護教諭2種教育課程必修科目

授業計画

回	テーマ(キーワード)（全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）（全角198文字）	担当教員（全角30文字）
1	パソコンの基本操作；インターネットと電子メールの利用法（基本操作演習）	講義の概要の説明 ①パソコンの起動から終了までを一通り行え、その作法を学び、実践する。②電子メールの使用法を学び、実際に互いにメールを出し合い、それを読んで返信する。 （予習）教科書第1章	張　坤
2	ワード（文書作成の基本）	①ワードの基本操作・編集機能の紹介。②英数字や漢字を含む様々な文字と、その様々な入力方法を学び、実践を行う。 （復習）教科書第4章、第5章 （予習）教科書第6章の6.1-6.2	張　坤
3	パワーポイント（自己紹介の作成）	パワーポイントの使い方の基本を学び、自己紹介ファイルを作成、作成したファイルを電子メールで提出する。 （復習）教科書第2章の2.1-2.3 （予習）教科書第2章の2.4、2.6	張　坤
4	ワード（文書の装飾、様々なレイアウト）	文章の装飾法により、文字の書体・色・大きさを様々に変更する。ワードに図表を貼り込む方法を学び実践する。 （復習）教科書第6章の6.1-6.2 （予習）教科書第2章の2.5、2.7	張　坤

5	ワード （スタイル、表と罫線、目次の自動生成）	スタイルを用いて、ワード文書の体裁を楽にきり替える方法を学ぶ。表と罫線の挿入・編集方法を学ぶ。ワードにページ番号を表示させるとともに、それを用いて目次を自動生成する方法を学ぶ。 （復習）教科書第2章	張　坤
6	ワード （復習・小テスト）	学習したワードの諸機能の復習と小テストを行う。 （予習）教科書第6章の6.3-6.6	張　坤
7	パワーポイント （アウトライン、資料の作成）	チームで発表したいテーマを選択し、それについての発表項目内容を、アウトライン機能を用いて作成する。また、写真・動画の挿入の方法を理解し、プレゼンテーション資料の作成を行う。 （復習）教科書第6章	張　坤
8	パワーポイント （復習・小テスト）	学習したパワーポイントの諸機能の復習と小テストを行う。 （予習）教科書第3章の3.1-3.3	張　坤
9	エクセル （表の作成）	エクセルを用いて表を作成し、そのうえで、表計算とは何かを実際に体験する。 （予習）教科書第3章の3.4、3.5、3.7	張　坤
10	エクセル （データ集計の諸機能）	データの順位付け、列・行の検索方法の理解と練習をする。文字列の操作、条件付き集計方法を理解し、実践する。 （復習）教科書第3章の3.4、3.5、3.7 （予習）教科書第3章の3.6	張　坤
11	エクセル （関数とグラフ）	エクセルに用意されている関数について学び、合計や平均値などを計算する。その結果をグラフ表示する。 （復習）教科書第3章	張　坤
12	エクセル （復習・小テスト）	学習したエクセルの諸機能の復習と小テストを行う。	張　坤
13	パワーポイント （発表練習）	第8回で作成した発表資料を用いて、プレゼンの練習と資料の修正作業を行う。	張　坤
14	グループ発表の実施(1)	前回までに作成したプレゼンテーション資料を用いてプレゼンを行う。	張　坤
15	グループ発表の実施(2)とまとめ	前回までに作成したプレゼンテーション資料を用いてプレゼンを行う。これまで学習した情報処理基礎、用いたツールについてまとめる。	張　坤

学科	看護学科			ID	2642
授業科目の区分１	基礎教育科目				
授業科目の区分２	基礎教育科目				
授業科目の区分３	表現力養成				
科目名	英語Ⅰ			授業科目番号	1102010
担当者氏名	石岡　精三				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30
必選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 1-1 幅広い教養と多様性を理解する力 ○ 5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

授業の概要　（全角392文字）

社会の一員として、また、学生生活の学習の場で必要となる基礎的な英語の能力を養成するために、基礎的なリーディングとライティング、リスニング、スピーキングの能力を獲得する。リーディングでは、基礎的な英文法を習得し、知りたいことを的確に読み取る能力を養成する。ライティングでは、正しい英文を書くことができる能力を養成する。また、リスニングとスピーキングでは、一般的な生活で使用する英会話ができる能力を養う。

授業の到達目標　（全角224文字）

英語構造の理解に不可欠である基本的なルールの把握を目指す（このルールは極度に単純化されたモデルであり、君たちがこれまで学んできた文法事項と異なり、記憶の負担になるものではない)。このルールと発音の基礎を学習することにより、話し言葉と書き言葉の基本的な発表・作成能力と正確な解釈能力を育てる。基本的な単語の習得も目指す。

評価の方法　（全角112文字）

授業時間内に実施する小テスト・単語テスト40%、レポート20%、最終試験40%

テキスト　（全角168文字）

Stories of Ryunosuke Akutagawa (IBC ﾊﾟﾌﾞﾘｯｼﾝｸﾞ, 2016)； 書いて覚える英単語ノート(桐原書店, 2017)

参考図書　（全角112文字）

マーク・ピーターセン: 日本人の英語はなぜ間違うのか？ (集英社インターナショナル)

履修上の留意点　（全角168文字）

最終試験は、部分英作文の形で行う（試験期間内に実施する)。ほとんど毎回、単語テストを含む小テストを行う。

備考　（全角56文字）

養護教諭二種教育課程必修科目　　毎時間、英和辞典を持参するように。

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	Introduction (English Construction) Pronunciation (Phonetic Symbol)	Toshishun ①(Chapter 1)(レポート設定) 英語構造の大原則（提示） 基本的な母音 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
2	Introduction (English Construction) Pronunciation (Phonetic Symbol)	Toshishun ①(Chapter 1)(レポート解説) 英語構造の大原則（提示） 基本的な母音；単語テスト 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
3	Introduction (English Construction) Pronunciation (Phonetic Symbol)	Toshishun ②(Chapter 2)(レポート設定) 英語構造の大原則（活用） 基本的な子音；単語テスト 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
4	Introduction (English Construction) Pronunciation (Phonetic Symbol)	Toshishun ②(Chapter 2)(レポート解説) 英語構造の大原則（活用） 基本的な子音；単語テスト 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三

5	Introduction (English Construction) Pronunciation (Linking Sounds (音の連結))	Toshishun ③(Chapter 3)(レポート設定) 英語構造の大原則（活用） 基本的な子音；単語テスト 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
6	Introduction (English Construction) Pronunciation (Linking Sounds (音の連結))	Toshishun ③(Chapter 3)(レポート解説) 英語構造の大原則（活用） 基本的な子音；単語テスト 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
7	Introduction (English Construction) Pronunciation (Linking Sounds (音の連結))	Toshishun ④(Chapter 4-1)(レポート設定) 英語構造の大原則（活用） 基本的な子音；単語テスト 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
8	Introduction (English Construction) Pronunciation (Linking Sounds (音の連結))	Toshishun ④(Chapter 4-1)(レポート解説) 英語構造の大原則（活用） 基本的な子音；単語テスト 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
9	Introduction (English Construction) Pronunciation (Consonant Reduction (子音の消失))	Toshishun ⑤(Chapter 4-2)(レポート設定) 英語構造の大原則（活用） 基本的な子音；単語テスト 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
10	Introduction (English Construction) Pronunciation (Consonant Reduction (子音の消失))	Toshishun ⑤(Chapter 4-2)(レポート解説) 英語構造の大原則（活用） 基本的な子音；単語テスト 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
11	Introduction (English Construction) Pronunciation (Consonant Reduction (子音の消失))	Toshishun ⑥(Chapter 5-1)(レポート設定) 英語構造の大原則（活用） 基本的な子音；単語テスト 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
12	Introduction (English Construction) Pronunciation (Consonant Reduction (子音の消失))	Toshishun ⑥(Chapter 5-1)(レポート解説) 英語構造の大原則（活用） 基本的な子音；単語テスト 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
13	Introduction (English Construction) Partial English Composition (部分英文作成)	Toshishun ⑦(Chapter 5-2)(レポート設定) 英語構造の大原則（活用）；単語テスト 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
14	Introduction (English Construction) Partial English Composition (部分英文作成)	Toshishun ⑦(Chapter 5-2)(レポート解説) Toshishun ⑧(Chapter 6)（レポート設定) 英語構造の大原則（活用）；単語テスト General Exercise (総合演習) 次回単語テスト範囲の提示	石岡　精三
15	Introduction (English Construction) Partial English Composition (部分英文作成)	Toshishun ⑧(Chapter 6)(レポート解説) 英語構造の大原則（活用）；単語テスト General Exercise (総合演習)	石岡　精三

学科	看護学科					ID	2522
授業科目の区分１	基礎教育科目						
授業科目の区分２	基礎教育科目						
授業科目の区分３	表現力養成						
科目名	日本語Ⅰ				授業科目番号	1102030	
担当者氏名	渡部　洋一郎						
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15		
必選	必修	開講年次	1年	開講期	前期		

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 1-1 幅広い教養と多様性を理解する力
	○ 4-2 看護を追究する基礎的研究能力

授業の概要　（全角392文字）

読んだ文章を理解したり言及したりするために必要な、文章の要約の方法について、実践を通して理解する。また、論理的な文章を読み、理解するために必要な論理的構造を接続語にも注目しながら読み解く方法を実践を通して理解する。日本語を使用することとは、論理的な思考が必要であることを実感し、必要性を理解する。また、人間は言葉によって思考すること、言葉が心を豊かにすることを意識しながら読解力、分析力を養う科目である。

授業の到達目標　（全角224文字）

日本語の表現構造を踏まえ、ポイントを押さえた文章要約法について学ぶとともに、理解と表現の相互関係についても探求を深める。また、平易な文章題を読み、論理的に思考しながら、その解に至る道筋を理解し、どのような解き方をすれば妥当性のある答えを導けるのかについて主体的に考えられることを目標とする。

評価の方法　（全角112文字）

終講試験50%、授業時間内に実施する小課題40%、グループワーク参加態度10%

テキスト　（全角168文字）

毎回、使用プリントを適宜配布します。

参考図書　（全角112文字）

参考にすべき図書も授業時間内に提示しますが、特に購入の必要はありません。

履修上の留意点　（全角168文字）

小課題を実施する場合は、グループを形成し協働でそれにあたります。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	日本語の統語的構造とその特質 （文の構成）	私たちが用いる日本語にはどのような特徴があるのか、その成り立ちについて、特に文の構成という観点から理解を深めます。	渡部　洋一郎
2	評論文の特徴と筆者の主張 （主張の組み立て）	評論文における筆者の主張とは何か、また、それはどのような手法に基づいて文章内に展開されているのかを実際の文章を読み解くことで理解します。	渡部　洋一郎
3	随筆の特徴と効果的な文章構成 （筆者の工夫）	向田邦子の短編随筆を主な教材として、随筆とは何かについて考えます。また、没後なお読者を魅了する向田の文章構成の工夫についても検討を加えます。	渡部　洋一郎
4	説明文における実験の手順と説明の論理 （実験観察型説明文の論理）	説明文には、実験や観察したことに基づいて書かれている科学的な文章群が存在します。そこに書かれている実験の順番や観察の条件を変えるとどのようなことが起こるのか、実際に確かめてみましょう。	渡部　洋一郎

5	疑問詞及び逆接の接続詞に着目した文章要約法 （長文の要点を短時間で把握する方法）	ある特徴を持った説明文は、3つの観点に着目することで容易に文章の骨子を把握することができます。ここではそれを検討します。	渡部　洋一郎
6	文学的文章を読み解く視点 （物語文法）	物語文法という理論について学び、それを民話や昔話に当てはめて実際の構造を確認してみましょう。	渡部　洋一郎
7	文学的文章を読み解く視点 （ショートショート）	星新一のショートショートを使います。どのようなテクニックが文章内に隠されているのかを探ります。	渡部　洋一郎
8	総合的なまとめ	「日本語Ⅰ」で学んだ文章構造や日本語の論理性、書き手の工夫などについて、授業全体を振り返り、内容をまとめます。	渡部　洋一郎

学科	看護学科					ID	2532
授業科目の区分１	基礎教育科目						
授業科目の区分２	基礎教育科目						
授業科目の区分３	表現力養成						
科目名	日本語Ⅱ					授業科目番号	1102040
担当者氏名	渡部　洋一郎						
授業方法	講義		単位	1単位		時間	15
必選	選択		開講年次	1年		開講期	前期

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 1-1 幅広い教養と多様性を理解する力 ◎ 4-2 看護を追究する基礎的研究能力

授業の概要　（全角392文字）

大学生活や、社会生活でも、的確に日本語を運用し文章として表現する力が必要である。この科目では、論理的な思考力に基づき、日本語を記述により表現する能力を養う。具体的には、日本語の特徴を理解する。また、現代人の誤りやすい言葉使い、常用漢字や送り仮名の正しいつけ方を再確認し、文章を書いてみる。さらに、事実と意見の使い分けや簡潔な文章を書くための方法を明確にして、小論文の書き方を学ぶ。小論文作成では、作文との違いを明確に理解して、実際に書いてみる。

授業の到達目標　（全角224文字）

日本語Ⅰの内容を踏まえ、基礎的な知識の上に立った発展的な応用力を養うことを目標とする。また、これに加えて敬語の用法や陥りやすい日本語の誤用表現などについても理解を深める。こうした総合的な日本語の学習と理解に基づき、最終的に自らの考えを小論文としてまとめる力を身につける。

評価の方法　（全角112文字）

終講試験50%、授業時間内に実施する小課題40%、グループワーク参加態度10%

テキスト　（全角168文字）

毎回、使用プリントを適宜配布します。

参考図書　（全角112文字）

参考にすべき図書も授業時間内に提示しますが、特に購入の必要はありません。

履修上の留意点　（全角168文字）

小課題を実施する場合は、グループを形成し協働でそれにあたります。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	日本語の用字法とその規則 （筆順と送り仮名）	日本語における筆順の意味と送り仮名の発生、また、日本語特有の用字法について、基礎を確認します。	渡部　洋一郎
2	敬語の使用 （尊敬語・謙譲語・丁重語・丁寧語・美化語）	尊敬語、謙譲語、丁寧語から再分類された五種類の敬語について、それぞれの定義と違い、使い分け等について学びます。	渡部　洋一郎
3	日本語の誤用表現 （ら抜き言葉等）	ら抜き言葉を始めとするいくつかの誤用表現について、誤用発生の理由と経緯、誤用定着の過程などを学びます。	渡部　洋一郎
4	根拠と理由の使い分け （両者の違い）	私たちが日常的に使う言葉には、微妙なニュアンスの違いがあります。ここでは、根拠と理由を取り上げ、その違いについて学びましょう。	渡部　洋一郎

5	事実と意見 （相違点）	自分の主張に説得性を持たせるためには、事実と意見を書き分け、前回の学習で学んだ明確な根拠を付すことが必要です。そのため、ここでは事実と意見の相違点について学びます。	渡部　洋一郎
6	小論文の作成に向けて （必要な要素と配置）	根拠と理由、事実と意見について学ぶだけで小論文は書けるだろうか。それ以外に必要な要素や文章構成のポイントはあるだろうか。この回では、そこに検討を加えます。	渡部　洋一郎
7	小論文の作成に向けて （実際の作成）	これまでに学んだことを活かして、効果的で説得性のある小論文を実際に書いてみましょう。	渡部　洋一郎
8	総合的なまとめ	「日本語Ⅱ」で学んだ各種の表現技法、文章配置などについて授業全体を振り返り、内容をまとめます。	渡部　洋一郎

学科	看護学科					ID	2632
授業科目の区分１	基礎教育科目						
授業科目の区分２	基礎教育科目						
授業科目の区分３	人間力養成						
科目名	地域活動論				授業科目番号	1103010	
担当者氏名	佐藤　和也						
授業方法	講義		単位	2単位	時間	30	
必選	選択		開講年次	1年	開講期	前期	

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	
	○ 1-1 幅広い教養と多様性を理解する力
	○ 3-1 地域のネットワークを共有する力
	◎ 5-2 地域社会に貢献する態度

授業の概要　（全角392文字）

市民としての社会的責任に関する態度や素養を養成するとともに、大学生活でも社会生活においても、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組む姿勢を育む。つまり、自ら設定した目標に対して、それを行動に移し、粘り強く取り組む姿勢を涵養する。具体的には、地域貢献活動の意義や役割を知る。中越地域における地域貢献活動の内容をフィールドワークを行い把握する。その後、自らができることを考察する。地域活動に関する理解を深めるとともに、参画意識を高め、積極的に地域貢献できる力を育む。

授業の到達目標　（全角224文字）

①地域活動やボランティアの基礎知識・現状・課題及び社会的役割が理解できる。
②地域活動に参加する心構えを持つ。
③「地域の課題」を見つけ、自らが「地域活動」を立ち上げ、「社会貢献」したいことを企画できる。

評価の方法　（全角112文字）

レポート作成　20%
筆記試験　　80%

テキスト　（全角168文字）

テキスト市民活動論　社会福祉法人大阪ボランティア協会編

参考図書　（全角112文字）

都度紹介

履修上の留意点　（全角168文字）

時に、授業の後半に意見や感想等の設問を出し、文書での回答を求めます。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	オリエンテーション 社会が変われば社会保障も変わる	授業の内容紹介　地域活動とは　地域社会が求めているもの 予習：地域活動と社会貢献についてイメージしておく 復習：自分のボランティア体験をレポートにまとめる	佐藤　和也
2	ボランティアⅠ ボランティアの歴史と理念	ボランティアの歴史・背景・理念 予習：「ボランティア」という単語に対する自分なりにイメージしておく 復習：「ボランティア」を自分なりに解釈できる	佐藤　和也
3	ボランティアⅡ ボランティア活動の対象分野	ボランティア活動の種類と活動の範囲 予習：自分のボランティア体験時の気持ちを思い出す 復習：人はなぜボランティアをするのか解釈できる	佐藤　和也
4	ボランティアⅢ 社会福祉協議会・ボランティアセンター・ＮＰＯ	ボランティア活動の窓口 　社会福祉協議会・ボランティアセンター・ＮＰＯの機能と役割 予習：出身地の社会福祉協議会の場所を知る 復習：ＮＰＯの活動分野を知る	佐藤　和也

5	ボランティアⅣ	教育とボランティア　大学生とボランティア 予習：学校で体験したボランティア活動は「ボランティア」といえるのか考える 復習：自分はボランティア活動で充実感を得ることができるのか考える	佐藤　和也
6	地域活動 まちづくり	人口減少に対応する地域活動実践事例 予習：住んでいる地域のまちづくりを確認する 復習：まちづくり活動に参加する	佐藤　和也
7	地域活動 地域包括ケアシステム	住み慣れた自宅や地域で暮らし続けるために（地域共生） 予習：自分の地区の高齢者世帯を確認する 復習：「共生社会」をイメージできる	佐藤　和也
8	地域活動 貧困の連鎖	社会のひずみ（孤独と格差・就労支援・学習支援）と地域活動 予習：「こども食堂」の目的を確認する 復習：貧困問題を確認する	佐藤　和也
9	災害ボランティア	災害ボランティアの現状と課題 予習：災害時のボランティア活動内容を調べる 復習：災害時のボランティア活動の心構えを確認する	佐藤　和也
10	国際分野のＮＰＯ活動 ＮＧＯ　Think globally,Act locally	ＮＰＯとＮＧＯの違い　世界の課題とＮＰＯの具体的活動例 予習：世界の課題を考える 復習：フェアトレード商品を購入する	佐藤　和也
11	地域のSDGｓ	地域のSDGｓ協働取り組み事例紹介 予習：SDGｓを理解する 復習：持続可能で包括的な地域づくりを考える	佐藤　和也
12	ボランティアマネジメント	ボランティアコーディネーター　ボランティア休暇　ボランティア保険 予習：「マネジメント」の基本を確認する 復習：ボランティアに関する制度を確認する	佐藤　和也
13	地域活動への参加に向けてⅠ 補助金　社会人基礎力	地域活動に関する補助金や助成金等について　地域活動に参加するためのマナー 予習：自分のコミュニケーション力を評価しておく 復習：社会人基礎力を理解する	佐藤　和也
14	地域活動への参加に向けてⅡ 地域の課題	自分の出身地の課題と地域活動を調べる　必要な活動を考え計画する 予習：地域の課題には何があるのかイメージしておく 復習：	佐藤　和也
15	地域活動への参加に向けてⅢ 社会貢献したいこと	これまでの授業を振り返り、これからの地域活動への参加に向けて自らが「地域活動」を立ち上げて「社会貢献」したいことをまとめる 予習： 復習：地域活動に積極的に参加できるような心構えをもつ	佐藤　和也

学科	看護学科					ID	2552
授業科目の区分１	基礎教育科目						
授業科目の区分２	基礎教育科目						
授業科目の区分３	社会力養成						
科目名	キャリアデザインⅠ					授業科目番号	1104010
担当者氏名	加固　正子					実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義		単位	1単位		時間	15
必選	必修		開講年次	1年		開講期	前期

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	
	○ 1-1 幅広い教養と多様性を理解する力
	○ 3-2 多職種と連携・協働する力
	◎ 4-1 看護学を探究する意欲

授業の概要　（全角392文字）

働く意味や職業に対する意識・動機付けと興味・関心の醸成及び勤労観や職業観の養成を図る。また、生涯成長を理解し、生涯学習を実践、継続する必要性の理解と意欲を育む。社会人とは何か、専門職とは何か、社会が専門職に求めるものは何かを考える。そのうえで、看護のイメージ、看護専門職のイメージ、自己にとって看護の道を選択したことの意味を考える。また、大学で4年間にわたり看護を学ぶことの意義、卒業後も生涯にわたって学び続ける意義についてグループワークを中心としてまとめ、発表する。

授業の到達目標　（全角224文字）

1. 自分自身が学生から社会人へとはばたく意味や目標を述べることができる。
2. 職業選択や生涯学習の意義について説明することができる。
3. 自分の看護観にそった将来のキャリアについての考えを述べることができる。

評価の方法　（全角112文字）

提出物60%、グループワーク40%

テキスト　（全角168文字）

指定なし

参考図書　（全角112文字）

『大学生のためのキャリアデザイン入門』（岩上真珠、大槻奈巳編　有斐閣　2014年）
『看護師のためのキャリアデザインBOOK』（濱田安岐子監修　つちや書店　2018年）

履修上の留意点　（全角168文字）

キャリアデザインⅠは、2年次のキャリアデザインⅡ、4年次のキャリアデザインⅢの基礎となる科目である。学生から社会人へと成長する過程を1年次からの時間を着実に刻んでいくための学びとする機会とすることを期待する。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	キャリアって何？ （キャリア、キャリアデザイン、人生設計、ライフコース）	・大学での学びと自分の将来－仕事の意味と人生設計 ・ライフステージとキャリア（生き方と働き方） ・ライフコースを知ろう－学ぶ、働く、愛する、暮らす ・結婚・出産後の働き方と家族・企業（職場）の協力 【事後学習】自分自身の大学入学の目的・目標、資格取得の目的・目標、働く意味についてワークシート１に記述する。	加固　正子
2	キャリアデザインと生涯学習の実践－看護職における専門性 （キャリア発達、看護、キャリアアップ、プロフェッショナル、生涯学習）	・看護におけるキャリア発達 ・新人看護師の職場選択と新人教育研修 ・働きながらキャリアアップを目指す ・プロフェッショナルとして学び続けること 【事後学習】様々な看護専門職のうち関心のあるコースについて調べよう。ワークシート２	加固　正子
3	コミュニケーション能力向上のための自己理解の基礎 （コミュニケーション能力、リフレイミング、自己理解、成長の機会）	・リフレイミング（発想を変えること）を用いた自己理解を試みる ・失敗を学びの機会に変える ・逆境を、才能の発掘や成長の機会に変える 【事後学習】過去の失敗例を記述し、そこから何を成長に変えることができたのか（実際/仮定）を実例を通してレポートする。	加固　正子
4	コミュニケーション能力向上のための他者理解の基礎 （他者理解、ロールモデルへのインタビュー）	・他者理解の方法を知る ・ロールレタリング（役割交換書簡法）の活用 ・ロールモデルにインタビューしてみよう！ 【事後学習】ロールモデルと考える看護職者に直接、または電話でインタビューした結果をレポートにまとめて提出する。	加固　正子

5	海外で看護師として働くこと（EPA（経済連携協定）、海外看護師、特定ビザ、インドネシア）	国際交流委員会主催：新潟で働くインドネシアからの看護師の体験談 ・EPAによる特定活動ビザ適応看護師 ・言葉、習慣、法律の違いを乗り越えて外国で働くこと 【事後学習】講演に参加して学んだこと、残った疑問などについて	加固　正子
6	看護専門職のイメージとキャリア１　　GW （グループワーク、イメージ、他者に伝えること、自己表現、傾聴）	”自分自身が考える看護職”について発表と意見交換を行うための準備をワークシートを用いて行う。ライフコースやキャリアについて自分の考えを他者に伝えることができるようにワークシートに記入する。 【事後学習】グループ内で他者の話しに傾聴し、自分自身の看護についての考えを深め、個々のワークシート１～３に追加・修正を行う。	加固　正子
7	看護専門職のイメージとキャリア２　　GW （他者の考え、キャリアデザイン、看護専門職）	・他者の考える看護職のキャリアデザインについての発表に傾聴し、自分自身の考えを深める。 ・自分のキャリアデザインの見直しを行う。 ・全体討論用にグループ内の役割を決め、発表内容をまとめる。 【事後学習】看護専門職についての理解を深め、現時点での自分のキャリア観を整理して再度提出する。	加固　正子
8	発表とまとめ （発表、全体討議、自分のキャリアデザイン）	・グループ代表による発表と全体討議を行う。 ・グループにおける役割分担を引き受けて実施する。 ・全体発表後、発表原稿を提出する。	加固　正子

学科	看護学科					ID	2612
授業科目の区分１	基礎教育科目						
授業科目の区分２	基礎教育科目						
授業科目の区分３	人間の理解						
科目名	発達心理学				授業科目番号	1105010	
担当者氏名	宮崎　隆穂						
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30		
必選	選択	開講年次	1年	開講期	前期		

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 1-1 幅広い教養と多様性を理解する力
	○ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力

授業の概要　（全角392文字）

発達心理学の基本的な理論である、フロイトの心理性的発達理論、ゲゼルの成熟優位説、行動主義の学習理論、ピアジェの発生的認識論、バンデューラの社会的認知理論、エリクソンの社会的発達理論を学ぶ。また、論理的思考の発達として、人が年齢とともにどのように思考様式を変化させて行くのかや言葉と概念の発達、発達における教育の役割、対人関係と養育者と子どものアタッチメント、思いやりなどの社会的行動の発達、アイデンティティーやパーソナリティーの発達などについて、誕生から老年期に至るまでを学び、その心理的な特徴が各ライフステージの行動に影響していることを理解する。

授業の到達目標　（全角224文字）

・人間の発達に関する主要な理論的枠組みについて理解し、説明することができる。
・思考、言語、社会性、人格などの各側面における人間の時間の経過に伴う変化について、共通点や差異を類別し、論理的に述べることができる。

評価の方法　（全角112文字）

学習態度　30%　毎回授業内で行うリアクションペーパーへの質問内容、その他授業内での態度をもとに評価する。
試験　70%　授業の内容について、主に多肢選択法をもちいた客観テストを期末に行う。

テキスト　（全角168文字）

保育士を育てる①　保育の心理学　瀧口綾・福田真奈（編著）　一藝社(2020)

参考図書　（全角112文字）

ゼロからはじめる心理学入門　金沢創・市川寛子・作田由衣子著　有斐閣書店(2015)

履修上の留意点　（全角168文字）

毎回のリアクションペーパーでは感想でもよいのですが、なるべく質問を考えましょう。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	オリエンテーション・発達心理学とは何か	授業の進め方・目標・方向性について解説する。発達心理学はどのような問題を扱っているかを解説する。 （予習）教科書の目次に目を通しておく	宮崎　隆穂
2	人間を取り巻く環境と発達（環境・遺伝・発達・相互作用）	発達にかかわる様々な要因（遺伝・環境）を取り上げ、どのような相互作用が考えられるか概説する。 (予習）教科書第一章p. 9-16を読んでおく (復習）授業の内容をもとに質問を考える	宮崎　隆穂
3	生涯発達心理学の視点（発達観・生涯発達・遺伝か環境か）	さまざまな発達観があることを概説し、その中で生涯発達心理学の視点、目標はどこにあるのかを遺伝か環境か論争に関連させながら紹介する。 (予習）教科書第二章p. 17-24を読んでおく (復習）授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
4	子どもの身体・運動発達（生理的早産・粗大運動・微細運動）	人間の発達において乳児期から幼児期にいたる変化が大きいことを概説し、この時期における初期経験の重要性を紹介する。 (予習）教科書第三章p. 25-33を読んでおく (復習）授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂

5	子どもの知覚・認知の発達（選好注視法・馴化－脱馴化法）	知覚の発達を測定するために開発された研究手法を概説し、発達心理学上の進展にどのように貢献したかを紹介する。 （予習）教科書第四章p. 34-40を読んでおく （復習）授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
6	子どもの知覚・認知の発達②（選好注視法・馴化－脱馴化法）	知覚の発達を測定するために開発された研究手法を概説し、発達心理学上の進展にどのように貢献したかを紹介する。映像資料を提示する。 （予習）教科書第四章p. 34-40を読んでおく （復習）授業の内容・映像資料の内容等をノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
7	自己意識の発達（自己鏡像課題・サリーアン課題）	自己意識の分化、自他の区別と共感性の発達との関連を概説する。 （予習）教科書第五章p. 41-48を読んでおく （復習）授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
8	言葉・コミュニケーションの発達（言語発達・臨界期・敏感期）	言葉・コミュニケーションの発達について概説し、関連して動物行動学の分野からもたらされた臨界期・敏感期の考え方を紹介する （予習）教科書第六章p. 49-56を読んでおく （復習）授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
9	言葉・コミュニケーションの発達②（言語発達・臨界期・敏感期）	言葉・コミュニケーションの発達について概説し、関連して臨界期・敏感期の考え方を紹介する。映像資料を提示する （予習）教科書第六章p. 49-56を読んでおく （復習）授業の内容・映像資料の内容等をノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
10	情緒・欲求の発達（情緒・欲求・感情）	情緒・欲求・感情にかかわる発達心理学上の研究成果を概説する。 （予習）教科書第七章p. 57-64を読んでおく （復習）授業の内容をもとに質問を考える	宮崎　隆穂
11	愛着関係の形成と発達（アタッチメント・個人差・SSM）	社会性の発達の基礎となるアタッチメントの発達について概説し、その測定法や個人差について考える。 （予習）教科書第八章p. 65-72を読んでおく （復習）授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
12	愛着関係の形成と発達②（アタッチメント・個人差・SSM）	社会性の発達の基礎となるアタッチメントの発達について概説し、その測定法や個人差について考える。映像資料を提示する （予習）教科書第八章p. 65-72を読んでおく （復習）授業の内容、映像資料の内容等をノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
13	児童期・青年期の発達（ピアジェの認知発達理論・道具的操作期・形式的操作期・アイデンティティの獲得）	児童期･青年期の発達を概説しながら、形式的操作の概念を獲得し、アイデンティティの獲得をはかる時期の発達的特長について紹介する。 （予習）教科書第十二章p. 97-104を読んでおく （復習）授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
14	成人期・老年期の発達（エリクソンの発達課題・統合性の意味）	生産性にいかに貢献するか、という課題を通して最終的に老いをどのように統合していくのかについて概説する。 （予習）教科書第十三章p. 105-112を読んでおく （復習）授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
15	まとめ	授業全体について振り返り、到達目標について今一度確認する (復習)人間の生涯発達について考えをまとめる	宮崎　隆穂

学科	看護学科					ID	2622
授業科目の区分１	基礎教育科目						
授業科目の区分２	基礎教育科目						
授業科目の区分３	人間の理解						
科目名	健康スポーツⅠ					授業科目番号	1105030
担当者氏名	塩野谷　明						
授業方法	講義		単位	1単位		時間	15
必選	選択		開講年次	1年		開講期	前期

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	
	○ 1-1 幅広い教養と多様性を理解する力
	◎ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力
	○ 4-1 看護学を探究する意欲

授業の概要　（全角392文字）

健康的な生活を営むためには、運動やスポーツを積極的に日常生活に取り入れていくことが必要である。日常の運動がメンタルヘルスや生活の質の向上、疾病の予防などに役立つことを理解し、トレーニングの原理、原則、理論を学ぶ。さらに、スポーツ活動を通じて心身を鍛えるとともに、スポーツ文化に対する理解を深める。具体的には、運動効果と運動不足が健康に与える影響、個人差や加齢による持久力、筋収縮と筋肉トレーニングの理論、日本のスポーツ文化の変遷と現状などである。また自らの身体を知るために体力測定を行う。

授業の到達目標　（全角224文字）

筋の力学的特性、筋収縮のメカニズム、運動とモーメントについて理解させ、学生が将来従事する看護における作業効率の向上、腰痛や肩こり等自身の障害へ対応ができるようにする。実技では、スポーツを楽しみながら、自身の健康問題や集団行動、リーダーシップ行動について、実践的に理解する。

評価の方法　（全角112文字）

最終試験80%、学習態度20%

テキスト　（全角168文字）

特に指定しない。

参考図書　（全角112文字）

特に指定しない。

履修上の留意点　（全角168文字）

毎週、pptファイルの資料を配布し、それに従って授業を進めていくため理由のない欠席は避ける。欠席は、そのまま最終試験に影響する。

備考　（全角56文字）

養護教諭二種教育課程必修科目

授業計画

回	テーマ(キーワード) (全角78文字)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） (全角198文字)	担当教員 (全角30文字)
1	筋の力学的特性と筋収縮のメカニズム①	運動の源となる筋が有する力学的特性すなわち収縮性、粘弾性について理解するとともに、これらの特性が引き出す筋の興味深い仕事について学ぶ。ここでの内容は、筋の難病である筋ジストロフィー等の理解にもつながっていく。	塩野谷　明
2	健康のためのスポーツ実践①	スポーツ実践とPWC、RPEから有酸素運動を考える。	塩野谷　明
3	筋の力学的特性と筋収縮のメカニズム②	運動の源となる筋が有する力学的特性すなわち収縮性、粘弾性について理解するとともに、これらの特性が引き出す筋の興味深い仕事について学ぶ。ここでの内容は、筋の難病である筋ジストロフィー等の理解にもつながっていく。	塩野谷　明
4	健康のためのスポーツ実践②	スポーツ実践とPWC、RPEから有酸素運動を考える。	塩野谷　明

5	運動とモーメント①	運動を構成する骨格が動くメカニズムについて、トルク・モーメントの視点から理解していくとともに、看護師の職業病ともいえる腰痛等の原因について迫る。	塩野谷　明
6	集団スポーツにおけるリーダーシップおよびフォロアーシップ①	集団スポーツ実践とリーダーシップ行動またはフォロアーシップ行動の評価①	塩野谷　明
7	運動とモーメント②	運動を構成する骨格が動くメカニズムについて、トルク・モーメントの視点から理解していくとともに、看護師の職業病ともいえる腰痛等の原因について迫る。	塩野谷　明
8	集団スポーツにおけるリーダーシップおよびフォロアーシップ②	集団スポーツ実践とリーダーシップ行動またはフォロアーシップ行動の評価②	塩野谷　明

学科	看護学科					ID	2492
授業科目の区分１	基礎教育科目						
授業科目の区分２	基礎教育科目						
授業科目の区分３	学習力養成						
科目名	スタディスキルズ					授業科目番号	1107010
担当者氏名	渡邊　克義	田邊　要補	板山　稔				
授業方法	演習		単位	1単位		時間	30
必選	必修		開講年次	1年		開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 1-1 幅広い教養と多様性を理解する力						

授業の概要　（全角392文字）

効果的な学習を進めるために必要な「読む」「書く」「話す」「資料の準備」などの学習に必要な基本スキルを学ぶ。（渡邊克義/5回）ノートの取り方、事前・事後学習課題とレポートの書き方の基本について、大学生としての効果的な学習方法の基本として具体的に学ぶ。　（田邊要補/5回）ディスカッションの方法や司会・書記・発表の役割の基本などについて学ぶ。グループディスカッションにおいては、アサーティブな表現、クリティカルシンキングに関する基礎知識についても学ぶ。　（板山稔/5回）図書の利用の方法、必要な情報のとり方、探し方の実際について図書館でオリエンテーションを受ける。グループ単位でテーマを決め、図書館でテーマに沿って図書を選定し読み込む。読み取った内容を整理し、グループ内でディスカッションを行い、その内容を基に、さらに調べ学習を行い、レポートにまとめる。

授業の到達目標　（全角224文字）

・大学の授業を受ける際の基本であるノートテイキング、情報収集の方法、課題（レポートなど）の作成ができる。
・幅広いテーマに関心をもち、グループメンバーと協同して調べ学習を行うことができる。
・調べ学習の成果発表を通して、他のグループのテーマに関心をもち、意見交換ができる。

評価の方法　（全角112文字）

学習態度10%：グループ学習への参加態度、意見等の発言を重視する。
グループ学習成果発表資料40%、個人レポート50%：字数等は授業の中で指定する。

テキスト　（全角168文字）

なし

参考図書　（全角112文字）

・大学生学びのハンドブック4訂版，世界思想社　　・フレッシュマンセミナーテキスト第2版，東京電機大学出版局
・その他授業中に適宜紹介する。

履修上の留意点　（全角168文字）

受け身ではなく、物事を探求しようとする好奇心を大切に、主体的・積極的なグループワークへの参加を望む。

備考　（全角56文字）

課題の提出にあたっては、締切厳守のこと。

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	大学の授業	大学での授業は高校までの授業と大きく異なる。授業がどのように展開されるのか、その概略を知る。 （復習）授業中に学んだことを整理してみる。	渡邊　克義
2	ノートの取り方	大学の授業では、一般に教員の板書量は多くない。学生各自でノートを取っていくことが肝要になる。ノートテイキングの技術を学ぶ。 （復習）授業中に教員が紹介した、ノートテイキングのコツについて思い出してみる。	渡邊　克義
3	情報収集（1）	知の宝庫である図書館の利用について知る。 （復習）図書館所蔵資料を利用する際に注意すべきことは何かを考えてみる。	渡邊　克義
4	情報収集（2）	インターネットの利用について考える。 （復習）ネット利用の功罪についてまとめる。	渡邊　克義

5	レポート作成	レポート作成のノウハウを学ぶ。 （復習）与えられたテーマについて、実際にレポートを作成する。	渡邊　克義
6	グループ調べ学習① 「資料の調べ方、読み方、使い方」 （文献検索、文献講読）	資料の調べ方、読み方、使い方を理解し、実際に資料を読んで内容や疑問・関心をまとめる。提示された資料に関して、グループ内で各々の疑問や関心を伝え合い、図書館で文献を検索する。 （予習）図書館の利用の仕方に関する資料等を読んでおく。 （復習）文献を読み、グループの学習テーマについて検討する。	板山　稔
7	グループ調べ学習② 「テーマを決める」 （拡散的思考、ブレインストーミング）	読んだ文献の内容をもとに、自己の関心ついてグループメンバー間で紹介し合う。グループ内でテーマに関して討議（拡散的思考）し、グループとしての調べ学習のテーマを検討する。決定したテーマに沿って、文献等を用いてさらに調べる。 （予習）借りた文献を読み、要点等を整理しておく。 （復習）文献を検索し、テーマに関連した内容について調べる。	板山　稔
8	グループ調べ学習③ 「議論を深める」 （ディスカッション）	各自で調べた内容を報告し合い、ディスカッションを通してテーマを明確にし、さらに掘り下げて調べながら議論を深める。 （予習）調べた内容について、グループメンバーに報告できるようにまとめておく。 （復習）議論の内容を整理し、文献検索・講読を継続する。	板山　稔
9	グループ調べ学習④ 「議論をまとめる」 （レジュメの作成）	テーマの目的にそってグループの議論をまとめ、発表資料として要約（レジュメ）を作成する。 （予習）講読した文献の内容を整理し、自身の考えまとめておく。 （復習）協力して発表資料を完成させ、期限までに提出する。	板山　稔
10	グループ調べ学習⑤ 「成果を伝え合う」 （成果発表）	グループの調べ学習の成果を発表し合う。幅広いテーマに関心をもち、質疑応答をもとに意見交換を行う。 （予習）発表における各自の役割を練習しておく。 （復習）各グループの発表内容を振り返り、自身のレポート作成に参考になりそうな事柄を確認する。	板山　稔
11	アサーティブな表現に関する基礎知識について学ぶ。	①アサーションの基礎知識について学ぶ。 ②看護師に何故アサーションが必要なのかについて学ぶ。 （予習）アサーションについて各自で調べてくる。 （復習）学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	田邊　要補
12	アサーティブな表現に関する基礎知識について学ぶ。	①アサーディブな看護師になるための基本について学ぶ。 （予習）第11回で学んだことを十分に理解してくる。 （復習）学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	田邊　要補
13	クリティカルシンキングに関する基礎知識について学ぶ。	①クリティカルシンキングとは何かについて学ぶ。 ②クリティカルシンキングの３つの基本姿勢について学ぶ。 ③クリティカルシンキング思考過程について学ぶ。 （予習）クリティカルシンキングについて各自で調べてくる。 （復習）学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	田邊　要補
14	グループ・ディスカッションに必要なスキルと知識について学ぶ。	①グループ・ディスカッションにおける、「基本」、「関係の構築」、「役割」等について学ぶ。 （予習）ディスカッションについて各自で調べてくる。 （復習）学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	田邊　要補
15	自ら考えたテーマについて、各グループで話し合う。	①各自で考えたテーマに沿って、グループで話し合う。 （予習）第11回目～第13回目の講義資料に目を通し、ディスカッションについて理解を深めておくこと。 （復習）グループでのディスカッションを振り返り、良かった点・改善点についてまとめること。	田邊　要補

学科	看護学科			ID	2542
授業科目の区分１	基礎教育科目				
授業科目の区分２	基礎教育科目				
授業科目の区分３	学習力養成				
科目名	看護教育のための生物学			授業科目番号	1107020
担当者氏名	野村　由紀子				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15
必選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力					

授業の概要　（全角392文字）

入学後に実施する基礎学力判定において、専門分野を学習する上で必要とされる「生物学」に関する知識が不十分である者に対しての補習教育である。専門基礎科目の学習を順調に進めるための基礎となる科目であり、特に人体の構造や機能を理解するために必要な基礎知識の獲得を目指す。具体的には、生物と遺伝子、遺伝情報とDNA、バイオテクノロジー、細胞とエネルギー、生殖と遺伝と発生、体内環境の維持、免疫、呼吸と光合成、動物の刺激の受容と神経系を介して反応する仕組み、生態系とその保全などである。

授業の到達目標　（全角224文字）

１．生命体の構造について概説できる。　　２．生体維持の作用について概説できる。
３．生命発生のメカニズムと遺伝について概説できる。　　４．個体の調節のメカニズムについて概説できる。
５．生命体と環境の現状について概説できる。

評価の方法　（全角112文字）

①定期試験90%
②学習態度10%

テキスト　（全角168文字）

系統看護学講座　基礎分野　生物学（第10版）高畑雅一他　医学書院　2018

参考図書　（全角112文字）

履修上の留意点　（全角168文字）

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	生物学とは 生命体のつくりとはたらき	講義　板書　テキスト書き込み	野村　由紀子
2	生体維持のエネルギー	講義　板書　テキスト書き込み	野村　由紀子
3	細胞の増殖とからだのなりたち 生殖と発生	講義　板書　テキスト書き込み	野村　由紀子
4	遺伝情報とその伝達・発現のしくみ	講義　板書　テキスト書き込み	野村　由紀子

5	個体の調節	講義　板書　テキスト書き込み	野村　由紀子
6	刺激の需要と行動	講義　板書　テキスト書き込み	野村　由紀子
7	生命の進化と多様性	講義　板書　テキスト書き込み	野村　由紀子
8	生物と環境のかかわり 地球環境とヒトとの共存	講義　板書　テキスト書き込み	野村　由紀子

学科	看護学科			ID	2572
授業科目の区分１	基礎教育科目				
授業科目の区分２	基礎教育科目				
授業科目の区分３	学習力養成				
科目名	看護教育のための化学			授業科目番号	1107030
担当者氏名	野村　由紀子				
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15
必選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力					

授業の概要　（全角392文字）

入学後に実施する基礎学力判定において、専門分野を学習する上で必要とされる「化学」に関する知識が不十分である者に対しての補習教育である。専門基礎科目の学習を順調に進めるための基礎となる科目であり、特に人体の構造や機能を理解するために必要な基礎知識の獲得を目指す。科学と生活のかかわりについて、関心を高め、日常生活に科学が使用されていることから学ぶ。具体的には、物質の三態と原子の構造、電子配置と周期律、化学反応と酸・塩基、無機物質、有機化合物などの基礎知識の獲得を目指す。

授業の到達目標　（全角224文字）

１．身の回りの化学、元素について概説できる。　２．物質の三態について概説できる。
３．化学反応のメカニズムを概説できる。　４．原子構造、化学結合について概説できる。
５．無機物質、有機化合物について概説できる。

評価の方法　（全角112文字）

①定期試験90%
②学習態度10%

テキスト　（全角168文字）

系統看護学講座　基礎分野　化学（第７版）奈良雅之　医学書院　2018

参考図書　（全角112文字）

履修上の留意点　（全角168文字）

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	身のまわりの化学 科学の単位と元素の周期表	講義　板書　テキスト書き込み	野村　由紀子
2	原子の構造と化学結合	講義　板書　テキスト書き込み	野村　由紀子
3	物質の三態 気体の性質	講義　板書　テキスト書き込み	野村　由紀子
4	液体・溶液の性質 化学反応	講義　板書　テキスト書き込み	野村　由紀子

5	反応速度 化学平衡	講義　板書　テキスト書き込み	野村　由紀子
6	無機化学	講義　板書　テキスト書き込み	野村　由紀子
7	有機化学	講義　板書　テキスト書き込み	野村　由紀子
8	高分子化学	講義　板書　テキスト書き込み	野村　由紀子

学科	看護学科					ID	2592
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門基礎科目						
授業科目の区分３	人体の構造と機能						
科目名	人体の構造と機能Ⅰ					授業科目番号	2208010
担当者氏名	浅見　直					実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義		単位	2単位		時間	30
必選	必修		開講年次	1年		開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度						
	○ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力						
	○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力						

授業の概要　（全角392文字）

看護の構成要素である人間の構造と機能の基礎を学ぶために、人体の構造と機能について学ぶ。生命維持のために分子・組織・器官・個体のそれぞれのレベルにおいてどのようなことが営まれているかを学ぶ。具体的には、組織構造の基本、ゲノム、遺伝子と細胞と組織、血液、造血器機能について学ぶ。続いて、看護の基礎となる人体の構造とその体系を学ぶ。具体的には、骨格系、筋系、神経系の構造と機能について学ぶ。

授業の到達目標　（全角224文字）

解剖学の基礎知識に基づき、栄養の消化と吸収、呼吸と血液の働きについて必要であれば図示し、説明できる。

評価の方法　（全角112文字）

15回目の授業において振り返りを行ない、学生の理解度に関して定期試験を行う。成績評価は定期試験80%、学習態度20%の割合で行う。

テキスト　（全角168文字）

系統看護学講座、解剖生理学人体の構造と機能I

参考図書　（全角112文字）

履修上の留意点　（全角168文字）

教科書を必ず持参する。

備考　（全角56文字）

私語、パソコン、スマホの操作、授業中の他科目の勉強は講義に集中できなくなるので絶対にやらないこと。

授業計画

回	テーマ(キーワード)（全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）（全角198文字）	担当教員（全角30文字）
1	形からみた人体	体表から触知する人体の骨格、腹部、骨盤などについて学ぶ。学生は人体の部位と器官について予習する。復習は、これら器官と機能の関連について図示し、機能を説明できることを目標として行う。	浅見　直
2	素材からみた人体	人体を構成する様々な細胞について学習する。学生は細胞の種類とその機能について行う。復習は、これら様々な細胞がどのようにしてエネルギーを産生し、利用していくか説明できることを目標として行う。	浅見　直
3	機能からみた人体	生命維持システムと運動調節システムに関与する細胞とホメオスタシスについて学習する。学生は体液の種類とその構成成分について予習する。復習は生命維持と運動機能システムがどのように機能しているか説明できることを目標として行う。	浅見　直
4	栄養の消化と吸収：口、咽頭、食道の構造	栄養の消化と吸収の第一段階である口から食道について学習する。学生はこれらの解剖学的位置関係について予習する。復習は咀嚼と嚥下が各部位でどのように行われるか説明できることを目標として行う。	浅見　直

5	栄養の消化と吸収：腹部消化管	栄養の消化と吸収に大切な役割を果たす胃と小腸の構造と機能について学習する。学生はこれらの器官の基本的な構造を予習しておく。復習はこれら消化管の吸収機能が糖質、蛋白質、脂質でどのように機能していくか説明できることを目標として行う。	浅見　直
6	栄養の消化と吸収：大腸	栄養の消化と吸収とはまた少し異なる機能をもつ大腸の構造と機能について学習する。学生は大腸の基本的構造について予習する。復習は食物が消化吸収された後、どのようにして糞便となって排泄されるか説明できることを目標として行う。	浅見　直
7	栄養の消化と吸収：膵臓の構造と機能	栄養の消化に重要な働きをする膵臓について構造と消化酵素などについて学習する。学生は膵臓と膵管の位置関係について予習する。復習は膵管と十二指腸の位置関係と分泌される消化酵素について説明できることを目標として行う。	浅見　直
8	栄養の消化と吸収：肝臓と腹膜	吸収された栄養物などの分解を行う肝臓についてその形態と機能について学習する。また腹膜の構造とその役割についても学習する。学生は肝臓、膵臓、胆のう、肝管、膵管の位置関係について予習する。復習は肝臓の糖質、蛋白質、脂質などの分解メカニズムとその後の栄養分の処理について説明できることを目標として行う。	浅見　直
9	呼吸器：構造	上気道、下気道、肺などの構造と機能について学習する。学生は口腔から肺までの器官の解剖名と順序を予習する。復習はこれらの構造物と機能の関係を説明できる程度まで復習する。	浅見　直
10	呼吸器：呼気、吸気とガス交換のメカニズム	呼吸器の働きとガス交換の生理について学習する。学生は肺活量、１回換気量などについて基礎的知識を予習する。復習は肺呼吸における酸素と二酸化炭素の吸収と排泄および酸塩基平衡について	浅見　直
11	呼吸器：呼吸運動の調節	肺を動かす横隔膜や胸筋などについて学習する。学生は横隔膜と肺の解剖学的関係を予習する。復習はこれらの機能の病態生理について説明できることを目標として行う。	浅見　直
12	血液：組成	血液を構成する血漿、血球などの種類について学習する。学生は血漿と血清の違い、血球の名称について予習する。復習はこれらの血球を図示できることを目標として行う。	浅見　直
13	血液：血液細胞の機能	血漿タンパク質と血球の機能について学習する。学生は各血球の働き、特に外部からの異種抗原処理を担う細胞を挙げ、そのメカニズムを説明できることを目標として行う。	浅見　直
14	血液：血液凝固、血液型	血液はどのようにして凝固するのかを学ぶ。また血液型の種類と不適合輸血などについて学習する。学生は血液凝固成分の名称にどんなものがあるか、予習する。復習は血液凝固カスケードについて図示でき、また血液型の種類と不適合輸血について説明できることを目標とする。	浅見　直
15	振り返り	今まで学んだことを整理し、まだ理解できてない事項があるか自ら検討する。その上で担当教員の評価を受ける。	浅見　直

学科	看護学科					ID	2602
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門基礎科目						
授業科目の区分３	人体の構造と機能						
科目名	人体の構造と機能Ⅱ					授業科目番号	2208020
担当者氏名	浅見　直					実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義		単位	2単位		時間	30
必選	必修		開講年次	1年		開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度						
	○ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力						
	○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力						

授業の概要　（全角392文字）

「人体の構造と機能Ⅰ」に引き続き、看護学の構成要素である人体の構造と機能の基礎について学ぶ。具体的には、消化器系、呼吸器系、循環器系、泌尿器系の構造について学び、さらにそれらの器官が果たす機能について、呼吸と血液の働き、血液の循環、および体液の調節などに焦点を当てて理解を深め、健康維持のために果たす機能の基礎知識を学ぶ。

授業の到達目標　（全角224文字）

解剖学の基礎知識に基づき、栄養の消化と吸収、呼吸と血液の働きについて必要であれば図示し、説明できる。

評価の方法　（全角112文字）

15回目の授業において振り返りを行ない、学生の理解度に関して定期試験を行う。成績評価は定期試験80%、学習態度20%の割合で行う。

テキスト　（全角168文字）

系統看護学講座、解剖生理学人体の構造と機能I

参考図書　（全角112文字）

履修上の留意点　（全角168文字）

教科書を必ず持参する。

備考　（全角56文字）

私語、パソコン、スマホの操作、授業中の他科目の勉強は講義に集中できなくなるので絶対にやらないこと。

授業計画

回	テーマ(キーワード) (全角78文字)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） (全角198文字)	担当教員 (全角30文字)
1	血液の循環とその調節：心臓、大血管の構成	心臓と大血管の構成と解剖学について学習する。学生は心臓の位置と、心臓から出る大血管にの解剖学てき部位と名称について予習する。復習は心臓と大血管の構成を図示し、説明できることを目標として行う。	浅見　直
2	血液の循環とその調節：心臓の機能	心臓の拍出機能と心電図について学習する。学生は心臓の内部構造と心電図の波形について予習する。復習は心臓の収縮、拡張と心電図の波形の関連について説明できることを目標として行う。	浅見　直
3	血液の循環とその調節：末梢循環系の構成	末梢動脈、静脈、毛細血管の構造について学習する。学生は末梢循環系の血管の解剖学的位置関係と主な欠陥の名称について予習する。復習は主な末梢動脈、静脈をその名称を付して図示できることを目標として行う。	浅見　直
4	血液の循環とその調節：血液の循環の調節	血圧、脈波および腎臓と循環系の機能の関連について学習する。学生は血圧が生じるメカニズムについて予習する。復習は血圧と腎臓の関連について具体的な生理物質を挙げ、説明できることを目標として行う。	浅見　直

5	体液の調節と尿の生成：腎臓の構造と機能	体液調節に関わる腎臓の解剖と機能について学習する。学生は腎臓の位置関係と割面における各部の名称について予習する。復習は腎臓の糸球体と尿細管の機能を列挙し、それらの相互関係について説明できることを目標として行う。	浅見　直
6	体液の調節と尿の生成：尿の生成メカニズム	腎臓における尿の生成メカニズムとレニン-アンギオテンシン-アルドステロン系がどのようにして血圧を調節するか学習する。学生は傍糸球体装置について予習する。復習はこれらの相互作用により、血圧調節がどのようにして行われるか説明できることを目標として行う。	浅見　直
7	体液の調節と尿の生成：排尿路	腎臓で生成された尿がどのようにして尿道口から排尿されるか、学習する。学生は腎臓、尿管、膀胱、尿道の位置関係について予習する。復習はこれらの経路をどのようにして尿が通過し、排尿されるか説明できることを目標として行う。	浅見　直
8	体液の調節と尿の生成：水の出納、脱水、酸塩基平衡	体液の調節に重要な水分の出納、脱水の原因、酸塩基平衡などについて学習する。学生は体内水分分布図をみて、その割合の違いを予習する。復習は水分出納の計算ができ、酸塩基平衡のメカニズムを説明できることを目標として行う。	浅見　直
9	内臓機能の調節：自律神経の機能	交感神経と副交感神経の分布と構造およびその機能などについて学習する。学生はこれら自律神経に支配される臓器について予習する。復習は自律神経がどのようにして様々な臓器の機能を調節しているか、説明できることを目標として行う。	浅見　直
10	内臓機能の調節：内分泌系による調節	内分泌物質の伝わり方と各ホルモンの作用について学習する。学生は脳下垂体から分泌されるすべてのホルモンの名称とその標的臓器について学習する。復習は各ホルモンが標的臓器に対する作用と中枢からのネガティブフィードバックのメカニズムについて説明できることを目標として行う。	浅見　直
11	内臓機能の調節：全身の内分泌腺	視床下部-下垂体系について上位中枢からの支配システムについて学習する。学生は視床下部と下垂体の構造について予習する。復習は視床下部がどのようにして下位の標的臓器に作用するか説明できることを目標として行う。	浅見　直
12	内臓機能の調節：視床下部下垂体系と甲状腺	視床下部-下垂体系について上位中枢からの支配システムについて学習する。学生は視床下部と下垂体の構造に加えて甲状腺への作用について予習する。復習はTSHとサイロキシンのフィードバック作用についてホルモン名を挙げて説明できることを目標として行う。	浅見　直
13	内臓機能の調節：膵臓、副腎、性腺の内分泌	膵臓、副腎、性腺の内分泌機能について学習する。学生はこれらの臓器から分泌されるホルモンの名称と作用について予習する。復習は血糖調節、電解質調節、性発達とこれらのホルモンの作用について説明できることを目標として行う。	浅見　直
14	内臓機能の調節：ホルモン分泌の調節	ホルモンによる糖代謝、カルシウム代謝の調節について学び、さらにストレス、乳房の発達、血圧に及ぼす作用について学習する。学生は血糖値、カルシウム動態、二次性徴、血圧調節について予習する。復習はこれらの相互関係について模式図を使い説明できることを目標として行う。	浅見　直
15	振り返り	今まで学んだことを整理し、まだ理解できてない事項があるか自ら検討する。その上で担当教員の評価を受ける。	浅見　直

学科	看護学科					ID	2502
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門科目						
授業科目の区分３	看護の基本						
科目名	看護学概論				授業科目番号	2311010	
担当者氏名	倉島　幸子				実務経験のある教員等による授業科目	○	
授業方法	講義	単位	1単位		時間	15	
必選	必修	開講年次	1年		開講期	前期	
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 1-1 幅広い教養と多様性を理解する力 ○ 2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度 ○ 4-1 看護学を探究する意欲						

授業の概要　（全角392文字）

学問としての看護学を学習する導入として、看護の概念、目的、および機能、看護学の発展の歴史、看護倫理や法律など看護を取り巻く諸事情に関する現実的課題、看護の役割の将来的展望について学ぶ。これらを通して、看護実践の基盤となる人間観、生活観、健康観への理解を深める。また、看護専門職としての自己の課題を考察する。

授業の到達目標　（全角224文字）

1．看護の概念、目的・機能が理解できる。　2．　看護の構成概念（人間・環境・健康・看護）が理解できる。
3．看護の発展の歴史が理解できる。　4．健康の捉え方と国民の健康状態が理解できる。
5．看護の対象である人間について理解できる。　6．医療・看護における倫理の問題と取り組みについて理解できる。
7．看護の提供の仕組みと看護をめぐる制度・政策について理解できる。

評価の方法　（全角112文字）

定期試験80%　課題レポート10%　グループワーク・発表10%

テキスト　（全角168文字）

『系統看護学講座　　看護学概論』（茂野香おる 他著　医学書院　2020年）
『看護覚え書』（F.ナイチンゲール 著、湯槇ます 他訳　現代社　2011年）
『看護学矛盾論（第2版）』（三瓶眞貴子著　金芳堂　2012年）

参考図書　（全角112文字）

患者・家族、看護師による手記

履修上の留意点　（全角168文字）

授業計画に対応する教科書のページを読んでおくこと。事前に示される課題を学習する。「看護覚え書」、患者・家族、看護師による手記等を購読する。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	基礎看護学の科目体系 看護理論家の功績 看護覚え書	科目ガイダンス（学習目的、到達目標、学習方法、受講上の注意、等） 文献購読の課題の振り分け、看護理論家の功績の理解（DVD視聴） （復習）看護学概論テキストと照合し、看護理論家の功績を復習する。	倉島　幸子
2	看護の原点・本質 看護の役割と機能	看護とは何か：①看護の原点　②看護の定義　③保健師助産師看護師法上の定義　④学生のイメージ （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
3	看護の変遷 ﾅｲﾁﾝｹﾞｰﾙによる近代看護の確立 米国における看護と日本の看護	看護の歴史的変遷：①歴史から学ぶ意味　②ナイチンゲール以前と以後の看護　③米国での看護学の発展と日本の看護 （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
4	看護の概念枠組み 人間・環境・健康・看護の概念間の関連	看護を構成する主要な概念：①人間　②環境　③健康　④看護　　概念間の関連性について （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子

5	統合体、生活者としての人間 人間の共通性と個別性	人間の理解：統合体としての人間、生活者、人間の共通性と個別性 （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
6	国民の健康の全体像 ライフサイクルと健康に関する統計	国民の健康の全体像、健康に関する統計 （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
7	医療における倫理 看護倫理	医療における倫理の歴史的経緯と看護倫理 （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
8	看護サービスの担い手 看護制度と看護政策	サービスとしての看護、制度と政策 （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子

学科	看護学科					ID	2562
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門科目						
授業科目の区分３	看護の基本						
科目名	看護援助論				授業科目番号	2311020	
担当者氏名	倉島　幸子	大橋　洋子	大﨑　美奈子		実務経験のある教員等による授業科目	○	
授業方法	講義	単位	2単位		時間	30	
必選	必修	開講年次	1年		開講期	前期	
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度						
	○ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力						
	○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力						

授業の概要　（全角392文字）

看護独自の援助を行うために、看護理論を活用し、看護を科学的に進める思考過程である看護過程を学ぶ。看護過程は看護を効果的に実践する方法論の一つであり、対象者のニードを満たす援助を行うための考える力と基本姿勢を養う。
（倉島幸子/8回）１．看護理論と看護過程の関係を理解する。　２．看護過程の構成要素を理解する。　３．情報収集の枠組みとその実際　４．全体像の描き方とアセスメント　５．看護上の問題と援助を実践するための看護計画
（大橋洋子、大﨑美奈子/7回）事例を用いた看護過程の演習　・事例提示・グループワークのオリエンテーション　・看護過程の演習をグループワークで行う。　・各グループで立案した看護計画を発表し質疑応答を行う。

授業の到達目標　（全角224文字）

１．看護過程の意義・目的、看護理論との関係を説明できる。　２．看護過程の基盤となる考え方(問題解決過程・クリティカルシンキング)を説明できる。　３．看護過程の構成要素を挙げることができる。　４．情報収集の枠組みを用いた全体像の描き方を理解できる。　５．情報の整理と分析によってアセスメントすることが理解できる。　６．看護上の問題と看護診断の意義・目的を理解できる。　７．事例に対する看護計画を立案できる。　８．グループで立案した看護計画を発表し共有できる。

評価の方法　（全角112文字）

定期試験50%、看護過程演習50%（事前学習準備、グループワークの取り組み、看護過程記録物）

テキスト　（全角168文字）

『看護学矛盾論（第2版）』（三瓶眞貴子著　金芳堂　2012年）
『系統看護学講座　基礎看護技術Ⅰ』（有田清子 他著　医学書院　2019年）

参考図書　（全角112文字）

『実習記録の書き方がわかる看護過程展開ガイド』（任和子著　照林社　2015年）
『看護診断ハンドブック（第11版）』（リンダJ.カルペニート著／黒江ゆり子監訳　医学書院　2018年）

履修上の留意点　（全角168文字）

各回は看護過程の構成要素順に進めていきます。事例への看護過程展開は記録により確認します。演習の時間内で記録が整理できない場合は自己学習しグループワークが効果的に進むよう準備してください。

備考　（全角56文字）

ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸに主体的に参加しながら進める。またお互いを尊重してチームで協働する意義を学ぶ機会となることを望む。

授業計画

回	テーマ(キーワード)（全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）（全角198文字）	担当教員（全角30文字）
1	看護を実践するための思考プロセス 看護過程の意義・目的 看護過程と看護理論の関係	ガイダンス 看護過程とは何か 看護の定義を復習し看護を実践するための思考を導くプロセスであることを理解する。 看護過程の意義・目的、看護理論との関係について理解する。	倉島　幸子
2	問題解決過程思考 クリティカルシンキング	看護過程の基盤となる考え方を理解する。 １）問題解決過程とは何か　身近な例を用い日常的に行われていることを理解する。 ２）クリティカルシンキングとは何か 論理的な探求や推論に関する知識が必要であり、因果関係を考える熟慮思考であることを理解する。	倉島　幸子
3	看護過程の構成要素	看護過程の構成要素 １．アセスメント ２．看護診断（看護上の問題） ３．看護計画 ４．実施 ５．評価	倉島　幸子
4	全体像の描き方 アセスメント 情報収集と分析 主観的データ・客観的データ	アセスメントと全体像の描き方 枠組みを用いた情報収集、データ収集の手段 データの種類（主観的データ・客観的データ） データ分析の方法	倉島　幸子

5	看護上の問題（看護診断） 共同問題	看護上の問題（看護診断）とは 看護師が責任をもって対処できる健康上の問題 看護上の問題は対象の健康上の問題、問題を解決するための援助の方向 共同問題とは	倉島　幸子
6	看護計画	計画とは、目標を挙げて解決策（具体的な援助方法）を立案すること 看護問題の優先順位を決定 看護目標（期待される結果）を示す。達成可能であること。 援助内容の決定（OP：観察計画　TP:看護処置　EP:指導計画）	倉島　幸子
7	実施	計画を実際の行動に移すこと	倉島　幸子
8	評価 看護過程の意義	評価とは 実施の結果をアセスメントすることで看護目標の達成度をみること 必要時各構成要素の段階にフィードバックを行う。 看護過程を使う意義・目的 質の高い看護の提供ができ個別性のあるケアの提供が可能となる。	倉島　幸子
9	看護過程演習①	看護過程演習のガイダンス 事例展開に必要な基礎知識、グループワーク	大橋　洋子 大﨑美奈子
10	看護過程演習②	看護過程を用いた看護展開の実際について学習（情報の整理） グループワーク	大橋　洋子 大﨑美奈子
11	看護過程演習③	看護過程を用いた看護展開の実際について学習（アセスメント） グループワーク	大橋　洋子 大﨑美奈子
12	看護過程演習④	看護過程を用いた看護展開の実際について学習（関連図、全体像） グループワーク	大橋　洋子 大﨑美奈子
13	看護過程演習⑤	看護過程を用いた看護展開の実際について学習（看護診断、問題） グループワーク	大橋　洋子 大﨑美奈子
14	看護過程演習⑥	看護過程を用いた看護展開の実際について学習（看護計画） グループワーク	大橋　洋子 大﨑美奈子
15	ｸﾞﾙｰﾌﾟ 発表	各グループの学習した内容の発表、まとめ	大橋　洋子 大﨑美奈子

学科	看護学科					ID	2582
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門科目						
授業科目の区分３	看護の基本						
科目名	基礎看護技術演習Ⅰ				授業科目番号	2311030	
担当者氏名	大橋　洋子	倉島　幸子	大﨑　美奈子		実務経験のある教員等による授業科目	○	
授業方法	演習	単位	2単位		時間	60	
必選	必修	開講年次	1年		開講期	前期	
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度						
	○ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力						
	○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力						

授業の概要　（全角392文字）

看護技術の共通する考え方、コミュニケーション、安全安楽、自立への援助についてまず学習する。またボディーメカニクス、教育的関わり、運動、活動、休息、睡眠の援助とヘルスアセスメントについて学ぶ。演習を通して、看護技術の独自性について、人間の尊厳と関連して捉えられるように授業を進める。

授業の到達目標　（全角224文字）

1．看護技術を身に着けるために必要な態度、学習方法を自ら考えて行動できる　2．看護場面に共通する安全・安楽を守るための基本的技術を習得する　3．看護におけるコミュニケーションについて理解し実践できる　4．日常生活の援助（運動・活動、休息・睡眠）の基本技術を習得できる　5．ヘルスアセスメントの目的、看護の役割を説明できる　6．系統的なフィジカルアセスメントの基本的技術を理解し、正確かつ安全・安楽に実施できる

評価の方法　（全角112文字）

定期試験60%、技術試験20%、提出記録物20%

テキスト　（全角168文字）

1．『ナーシング・グラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術』メディカ出版　2．『ナーシング・グラフィカ　基礎看護学②　ヘルスアセスメント』メディカ出版　3．『写真でわかる基礎看護技術　アドバンス』インターメディカ　4．『写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント　アドバンス』インターメディカ

参考図書　（全角112文字）

履修上の留意点　（全角168文字）

授業内容に関連した教科書及び参考書を十分に読んで動画の視聴等を活用しながら演習ノートを作成して臨む。課題として演習の振り返りレポート提出。技術は授業時間外でのセルフトレーニングで習得。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード)（全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）（全角198文字）	担当教員（全角30文字）
1	看護技術とは何か 効率的で安楽な動きを作り出す技術 環境を整える技術	科目ガイダンス 看護技術とは 安全・安楽の原則、活動・運動の意義 ボディメカニクス、環境整備（講義） 実習室ガイダンス、環境測定、リネン類の取り扱い（演習）	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
2	環境を整える技術	環境とは、環境測定（講義・演習） リネン類の取り扱い、ベッドメーキング（演習）	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
3	環境を整える技術	ベッドメーキング、シーツ交換（演習） ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
4	環境を整える技術 休息・睡眠を促す技術	ベッドメーキング、シーツ交換（演習） 運動・活動・休息・睡眠の意義、メカニズム、援助の実際（講義） ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子

5	休息・睡眠を促す技術 コミュニケーション技術	足浴（演習） ＜予習＞事前に提示された課題 ＜復習＞演習の振り返り コミュニケーションの概念、教育的支援（講義）	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
6	コミュニケーション技術	コミュニケーションの実際（演習） ＜復習＞演習の振り返り	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
7	ヘルスアセスメント	ヘルスアセスメントに必要な技術 ヘルスアセスメントとは何か,バイタルサインとは（講義） バイタルサインとは（演習）	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
8	フィジカルアセスメント バイタルサイン測定	バイタルサイン測定の方法と実際（演習） ＜予習＞事前に提示された課題 ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
9	フィジカルアセスメント 呼吸器系	呼吸器系のフィジカルアセスメント（講義・演習） ＜予習＞事前に提示された課題 ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
10	フィジカルアセスメント 心臓・血管系	心臓・血管系のフィジカルアセスメント（講義・演習） ＜予習＞事前に提示された課題 ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
11	フィジカルアセスメント 腹部（消化器系）	腹部のアセスメント（講義・演習） ＜予習＞事前に提示された課題 ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
12	フィジカルアセスメント 筋・骨格系および神経系	筋・骨格系および神経系のフィジカルアセスメント（講義・演習） ＜予習＞事前に提示された課題 ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
13	フィジカルアセスメント 頭頚部・感覚器系	頭頚部・感覚器・リンパ系のフィジカルアセスメント（講義・演習） ＜予習＞事前に提示された課題 ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
14	フィジカルアセスメント バイタルサイン測定	バイタルサイン測定（演習） ＜予習＞技術セルフトレーニング ＜復習＞技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
15	バイタルサイン測定	バイタルサイン測定（シミュレーション演習） ＜予習＞事前に提示された課題 ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子

学科	看護学科					ID	2512
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門科目						
授業科目の区分３	看護の基本						
科目名	チーム医療論				授業科目番号	2311090	
担当者氏名	加固　正子	本間　美知子	小山　歌子		実務経験のある教員等による授業科目	○	
授業方法	講義	単位	1単位		時間	15	
必選	必修	開講年次	1年		開講期	前期	
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 3-2 多職種と連携・協働する力						
	○ 3-3 保健医療福祉制度と看護の役割						
	○ 5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力						

授業の概要　（全角392文字）

患者を中心とした良質な「チーム医療」が実践できる基礎的な能力を養う。また、医療専門職が互いの特性を理解し、尊重し合ってコミュニケーションをとりながら協調的に医療を実践できる素養を身につける。
（加固正子/3回）チーム医療の概念を理解し、医療チームを構成する専門職の役割について理解し、看護職と多職種との関係を学ぶ。　（本間美知子/4回）対象や家族中心の多職種連携の考え方を学ぶ。臨床でのチーム医療から切れ目なく地域でのケアにつながることの重要性について学ぶ。また、チーム医療及び多職種との協働の中で看護師としてのメンバーシップ及びリーダーシップを理解する。　（小山歌子/1回）地域におけるチーム医療においての現状と課題について学ぶ。

授業の到達目標　（全角224文字）

保健医療分野での他職種連携の重要性を学び看護師の役割を説明することができる。保健医療現場におけるコミュニケーション技法について説明できると共に対象者を理解し、率先して問題解決を図ることができる。また、多職種連携場面における看護師の役割について主体的に考えることができる。

評価の方法　（全角112文字）

①授業中の学習態度10%：授業中の発言、態度を基に評価する。　②レポート課題50%：多職種連携場面における看護師の役割についてレポートにまとめる。書式等は授業中に指示する。　③小テスト40%

テキスト　（全角168文字）

随時資料を使用する

参考図書　（全角112文字）

『増補版チーム医療と看護 専門性と主体性への問い』（川島みどり著　看護の科学社　2016年）
『新しいチーム医療 改訂版』（田村由美編　看護の科学社　2018年）

履修上の留意点　（全角168文字）

本講義では保健医療専門職としての役割・機能・責務を理解し、医療従事者間の連携や協働によりチーム医療の理念を実現するため、授業においては学生の皆さんと意見交換しながら授業を進め、自ら考える主体的授業への参加を望みます。

備考　（全角56文字）

教員3人による授業であるため、個々教員と学生の情報共有と連携を重要視すること

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	患者を中心としたチーム医療 （患者中心の医療、チーム医療、医療専門職、役割と機能）	・患者中心の医療について ・医療の発展とチーム医療 ・医療専門職の役割と機能について 【事後学習】学修した専門用語について200字以内で説明できるよう整理する。	加固　正子
2	チーム医療における倫理的配慮 （倫理、チーム構成員、チームとコミュニケーション、インフォームドコンセント）	・チーム医療の倫理性 ・チーム構成員のあり方とコミュニケーション方法 ・チームとインフォームドコンセント 【事後学習】学修した専門用語について200字以内で説明できるよう整理する。	加固　正子
3	チーム医療における多職種コミュニケーション （看護師と医師、看護師と管理栄養士、看護師と薬剤師、場面、専門用語）	・看護師と医師間のコミュニケーション（医療指示受け） ・看護師と管理栄養士間のコミュニケーション（アレルギー食） ・看護師と薬剤師間のコミュニケーション（薬剤の形状の変更） 【事後学習】看護師以外の医療専門職を２つ選び、役割と責務についてレポートする。	加固　正子
4	チーム医療における患者―医療関係者 （役割、患者家族、患者と医療者）	・チーム医療における医療者、患者家族の役割 ・患者中心の医療のために必要なチーム医療の在り方など、チーム医療における患者と医療者との関係について学ぶ	本間　美知子

5	臨床におけるチーム医療例 （実践例、栄養サポートチーム、感染対策チーム）	・現実にチーム医療として機能している実践例について学ぶ。 栄養サポートチーム、及び感染対策チームの実践例 ・多職種と看護職のかかわりを実際の事例を基に具体的に学ぶ。 【事後学習】チーム医療で看護師がリーダーシップを発揮すべき例を整理する。	本間　美知子
6	チーム医療における看護職の役割と責任 （チーム医療、看護師、役割と機能）	・チーム医療の具体例を通して、そこで看護職が果たしている機能や役割について学ぶ。ディスカッションとグループ代表による発表を行う。 【事後学習】授業で学んだチーム医療の例以外に３つ調べる。	本間　美知子
7	在宅療養に向けた病院看護師の役割 （地域、在宅療養、支援、医療相談員、ケアマネージャー、ロールプレイ）	・病院のみでの看護だけでなく、地域を見据えて活動するための看護職の在り方、および在宅療養に向けた支援に関わるチームの構成員の役割を学ぶ。 ・患者、家族、医療相談員、ケアマネージャー等とのコミュニケーションの取り方を具体的事例を基にロールプレイを行う。 【事後学習】本日学んだ職種について復習する。	本間　美知子
8	地域におけるチーム医療の現状と課題 （地域、チーム医療、現状と課題、在宅医療、多職種連携、協働、人材確保）	地域におけるチーム医療の現状と課題を理解する。在宅医療の推進、多職種連携、協働、人材の確保について学ぶ。 【事前学習】在宅療養者を支援する職種と役割を調べておく。 【事後学習】関連資料や講義資料を基に理解を深める。	小山　歌子

学科	看護学科			ID	2672
授業科目の区分１	専門教育科目				
授業科目の区分２	専門科目				
授業科目の区分３	看護の基本				
科目名	基礎看護学実習Ⅰ			授業科目番号	2311070
担当者氏名	倉島　幸子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	1単位	時間	45
必選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度 ○ 3-2 多職種と連携・協働する力				

授業の概要　（全角392文字）

病院実習において、看護業務を見学し、患者ケアや多職種との連携から看護師の役割や責務について知り、これからの看護学学習への動機付けとなる入門実習となる。実習先の実習オリエンテーションでは、実習病院の運営方針と組織・機能、病棟の構造や設備、特徴、看護体制、安全対策、感染予防対策等から患者の療養環境及び生活の場を理解する。また、診療活動や看護活動、様ざまな保健医療従事者の活動の実際を知り、看護の役割について学ぶ。

授業の到達目標　（全角224文字）

1．看護活動および医療従事者の活動の実際を知り、看護師の役割や責務について理解する。
2．患者と関わり療養環境および入院生活による生活行動の変化を理解する。
3．実習病院の運営方針と組織・機能を知る。
4．将来の看護師像を描き看護学を学ぶことへの意欲を高める。

評価の方法　（全角112文字）

実習目標の到達度について、実習態度実習内容および実習記録、課題レポートを実習評価表で評価する。

テキスト　（全角168文字）

『はじめての看護実習 基礎からステップアップ看護コミュニケーション』（高橋清美編著　へるす出版　2014年）

参考図書　（全角112文字）

基礎看護学の授業で使用した教科書、資料を積極的に活用すること。

履修上の留意点　（全角168文字）

本実習に関連したスケジュールには全て出席することを原則とする。　実習要項を熟読して実習に臨むこと。
常に相手の立場を考え、人間尊重、人権擁護、秘密の保持、安全への配慮等、倫理面の配慮を十分行い実習すること。
実習共通要項に従った身だしなみ、準備・態度を実習参加の条件とする。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) (全角78文字)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） (全角198文字)	担当教員 (全角30文字)
1		1．実習期間：1週間 2．実習場所：病院 3．実習内容：実習要項参照	倉島　幸子 他
2			
3			
4			

学科	看護学科					ID	2652
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門科目						
授業科目の区分３	地域社会と看護						
科目名	地域包括ケア論				授業科目番号	2313010	
担当者氏名	飯吉　令枝	平澤　則子	本間　美知子		実務経験のある教員等による授業科目	○	
授業方法	講義	単位	1単位		時間	15	
必選	必修	開講年次	1年		開講期	前期	
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 1-1 幅広い教養と多様性を理解する力 ◎ 5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力						

授業の概要　（全角392文字）

臨床から地域まで、パーソンセンタードで対象を支援することの意義を理解し、地域包括ケアは全人的なケアを保証することであることを理解する。さらに、家族や近隣住民と触れ合い、地域で暮らす人々がどのように健康を考えて生活しているのかを知るためにフィールドワークを行い、考察する。地域包括ケアの概念を確実にし、様々な役割や機関でケアに関わる人を講師として協働の現状を学ぶ。

授業の到達目標　（全角224文字）

1．日本の在宅ケア・医療政策の動向をふまえて地域包括ケアの概念が説明できる。　2．病院・施設・在宅をつなぐ移行期ケアについて説明できる。　3．継続看護と看看連携について説明できる。　4．地域包括ケアにかかわる様々な機関で働く看護職の役割がわかり、地域包括ケアの課題についての考えを述べることができる。

評価の方法　（全角112文字）

定期試験60%　課題レポート40%　定期試験と課題レポートにより目標達成度を最終的に評価する。試験は講義に基づく内容から出題する。課題レポートについては講義の中で提示する。

テキスト　（全角168文字）

適宜、資料を配布する。

参考図書　（全角112文字）

適宜、参考文献を紹介する。

履修上の留意点　（全角168文字）

自分の家族など身近な人をイメージし、病気になってもその人らしい生活を送るために必要なことは何かを考えながら主体的に参加されることを期待します。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	健康の概念・地域看護・地域包括ケアの概念 （地域包括ケア・健康・地域看護）	地域包括ケアの概念について学ぶ。 地域包括ケアを展開していくうえで基盤となる健康の概念と地域看護の特性を学ぶ。 (事前学習）「健康とは？」について調べる。 (復習）配布資料を読む。	飯吉　令枝
2	地域包括ケアとは （在宅ケア・医療政策・動向）	日本の在宅ケア・医療政策の動向を学ぶ。 (予習）日本人の平均寿命、健康寿命、高齢化率について調べる。 (復習）医療政策の動向と地域包括ケアを結びつけて考える。	飯吉　令枝
3	地域包括ケアとは （移行期・継続看護・看看連携）	病院・施設・在宅をつなぐ移行期ケアについて学ぶ。 継続看護と看看連携について学ぶ。 (予習）「地域包括ケアとは」を自分の言葉で説明できるよう整理する。 (復習）配布資料を読む。	平澤　則子
4	生活者主体の看護 (事例検討)	事例検討（病弱な子ども、慢性疾患と共に生きる成人、認知症の高齢者）を通して、生活者主体の看護について考える。	平澤　則子

5	地域包括ケアの実際 （地域包括ケア病棟・退院支援連携室）	地域包括ケア病棟、退院連携室での看護活動の実際について話を聞き、病院での看護職の地域包括ケアにおける役割について学ぶ。	本間　美知子
6	地域包括ケアの実際 （高齢者総合ケアセンター（こぶし園））	高齢者総合ケアセンター(こぶし園）、こぶし訪問看護ステーションでの地域包括ケアの取り組みの実際について話を聞き、地域包括ケアの現状を理解する。 (予習）高齢者総合ケアセンター(こぶし園）の活動について調べる。	飯吉　令枝
7	地域包括ケアの実際 （地域包括支援センター）	地域包括支援センターでの看護活動の実際と地域包括ケアにおける看護職の役割について学ぶ。 （事前学習）両親、祖父母等から地域包括支援センターについて（内容、どこにあるか等）知っているか聞いてくる。 (課題）臨床から地域までつながるケアについて考えるとともに、地域包括ケアのこれからの課題について考えて、レポートを作成する。	飯吉　令枝
8	これからの地域包括ケア （臨床・地域、課題）	ディスカッションを通して臨床から地域までつながるケアについて考えるとともに、地域包括ケアのこれからの課題について考える。	本間　美知子 飯吉　令枝

学科	看護学科					ID	2742
授業科目の区分１	基礎教育科目						
授業科目の区分２	基礎教育科目						
授業科目の区分３	思考力養成						
科目名	情報活用法					授業科目番号	1101020
担当者氏名	張　坤						
授業方法	演習		単位	1単位		時間	30
必選	必修		開講年次	1年		開講期	後期

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	
	○ 1-1 幅広い教養と多様性を理解する力
	◎ 3-1 地域のネットワークを共有する力
	○ 4-2 看護を追究する基礎的研究能力

授業の概要　（全角392文字）

情報社会の倫理と法を学習し、インターネットを活用した情報メディアの特性と検索法、効率的な使い方について理解する。さらに、情報の価値とモラルや情報の収集、加工、廃棄などの情報のセキュリティ管理とリテラシーについて理解する。また、ソーシャルネットワークサービスの特徴や機能と活用の現状やリテラシーを学ぶとともに、ブログの作成のポイントと管理のポイント、ホームページの作成のポイントと管理の実際について学ぶ。

授業の到達目標　（全角224文字）

①情報社会の倫理や情報セキュリティ基礎を学ぶ;正しく安全に情報を運用する力を育成する。
②情報を使いやすく整理、管理し、必要に応じて適切に活用できる力を育成する。
③ソーシャルネットワークの仕組みなどの基礎知識を習得する。
④学生の情報収集・データ加工・適切な分析等の検証力をアップする。

評価の方法　（全角112文字）

学習態度10%；小テスト20%（1回）；グループ実習30%（2，3回程度）;パワーポイントによるグループ発表40%

テキスト　（全角168文字）

『考える 伝える 分かちあう 情報活用力』（noa出版　2017）

参考図書　（全角112文字）

特に指定しない

履修上の留意点　（全角168文字）

演習科目であるため、講義への出席率を確保しよう。

備考　（全角56文字）

養護教諭二種教育課程必修科目

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	オリエンテーション （情報活用力と情報検索）	授業の進め方、学習の目標と概要の紹介。情報を検索・選択のポイントを把握する。インターネットを用いた情報検索の実習を行う。 （予習）教科書第２章	張　坤
2	情報運用 （情報セキュリティの基礎）	情報セキュリティとは。情報セキュリティの重要性を理解させる。情報セキュリティの対策を学ぶ。 （復習）教科書第1、２章 （予習）教科書第３章	張　坤
3	数値分析Ⅰ （数値分析の基本とデータ加工）	データ数値化についての説明。質的データと量的データの集計・加工など、数値分析の基礎演習を行う。 （復習）教科書第３章 （予習）教科書第４章	張　坤
4	数値分析Ⅱ （データ分析の演習）	目的に沿った、数値データの加工やグラフ化など、数値分析の基本的な手順の実践演習を行う。 （復習）教科書第４章 （予習）教科書第５章	張　坤

5	データベース （データベースの作成）	データベースについての説明。データの整理・蓄積、抽出を効率よく行うために、データベース作成の演習を行う。 （復習）教科書第１－５章	張　坤
6	復習と小テスト	第3、4、5章の総合復習と小テストを行う。 （予習）教科書第6章	張　坤
7	ファイル・データ管理 （ファイルの性質と保全）	パソコンで情報を集めや管理などのためには、作成されたファイルの整理・管理方法についての演習を行う。 （復習）教科書第6章 （予習）教科書第7章	張　坤
8	インターネットコミュニケーションⅠ （情報モラルと個人責任）	情報社会の問題点の認識と社会に及ぼす影響を理解させる。インターネットコミュニケーションの基本ルールと原則を学ぶ。 （復習）教科書第7章 （予習）教科書第8章	張　坤
9	インターネットコミュニケーションⅡ （ソーシャルメディアと情報発信）	インストールの仕組みと検索サービスの仕組みを学ぶ。インターネットの利点と活用の際の注意点を理解させる。ソーシャルメディアの仕組みと情報発信のルールを学ぶ。 （復習）教科書第8章 （予習）教科書第9章	張　坤
10	文書表現 （文章作成と体裁）	レポートやビジネス文書の様々な文章作成のポイントを学ぶ。ブログやホームページの作成のポイントと管理のポイントを学ぶ。わかりやすい文書の作成を練習する。 （復習）教科書第9章 （予習）教科書第10章	張　坤
11	ビジュアル表現 （ビジュアル表現の基本）	ビジュアル表現の基本ルールと種類を学ぶ。課題によるビジュアル表現の実習を行う。 （復習）教科書第10章 （予習）教科書第11章	張　坤
12	プレゼンテーションⅠ （基本と表現手段）	プレゼンテーションの目的を理解させる。集めた情報を整理して「分かりやすく」伝えることの基本を学ぶ。 （復習）教科書第11章 （予習）教科書第12章	張　坤
13	プレゼンテーションⅡ、Ⅲ （資料作成の手順と発表）	プレゼンテーションの作成手順を学ぶ。プレゼンテーションの効果を高めるポイントを学ぶ。発表のポイントを学ぶ。グループ分け、演習課題の選択と議論を行う。 （復習）教科書第12.13章	張　坤
14	総合演習 （グループ演習）	レセプト情報に関連する情報サイトを用いて、演習課題を選択し、グループ議論の上で、アウトラインを作成する。パワーポイントを用いて、分かりやすく説明資料を作成する。	張　坤
15	グループ発表・まとめ	総合演習の流れと結果を分かりやすくまとめた内容を発表する。最後、これまでの学習状況などをまとめる。	張　坤

学科	看護学科					ID	2692
授業科目の区分１	基礎教育科目						
授業科目の区分２	基礎教育科目						
授業科目の区分３	思考力養成						
科目名	問題解決法					授業科目番号	1101040
担当者氏名	渡部　洋一郎						
授業方法	講義		単位	2単位		時間	30
必選	選択		開講年次	1年		開講期	後期

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	
	○ 1-1 幅広い教養と多様性を理解する力
	○ 4-1 看護学を探究する意欲
	◎ 4-2 看護を追究する基礎的研究能力

授業の概要　（全角392文字）

問題解決法は大学生活における学習場面でも、看護の実践の場面でも、社会生活にとっても必要な科学的技法である。その、科学的技法としての問題解決能力を養う。問題とは何かを考えること、問題を発見すること、解決するための手順、解決するために必要な情報を的確に収集すること、情報を整理すること、情報を分析することなどを学ぶとともに、問題解決に必要な様々なクリエイティブな思考法と発想法を学び、活用方法を修得する。

授業の到達目標　（全角224文字）

論理的に考え、課題を解決するとはどのような行為をさすのか。また、その解法に一定の規則はあるのか。本科目はこうした問いに答えることを授業の目標としている。そのため、論理的な思考に関する複数の初歩的な理論を学び、それを授業の中で実地に応用することで、その効果を確認することを目指す。

評価の方法　（全角112文字）

終講試験50%、授業時間内に実施する小課題40%、グループワーク参加態度10%

テキスト　（全角168文字）

毎回、使用プリントを適宜配布します。

参考図書　（全角112文字）

参考にすべき図書も授業時間内に提示しますが、特に購入の必要はありません。

履修上の留意点　（全角168文字）

小課題を実施する場合は、グループを形成し協働でそれにあたります。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	論理的思考とクリティカルシンキング （導入）	論理的な思考に関する文献を読み、導入としてその思考法の一端に触れます。また、クリティカルシンキングのやり方を実地に体験してみましょう。	渡部　洋一郎
2	批判的思考の実際 （データの読み解き方）	図表やグラフに表された数値の読み解きを行い、妥当なデータの解釈とは、どのような行為をさすのかを理解します。	渡部　洋一郎
3	OECDによるPISA調査 （非連続型テキスト）	2000年より、経済協力開発機構によって3年ごとに実施されている世界的規模の学力調査を対象に、その特徴を探ります。特に、日本の高校一年生が世界の学習者と比較したときに、どのような特徴を持っているのかを検討しましょう。	渡部　洋一郎
4	母集団における平均値の意味 （平均が良い方が上？）	前回の学習を踏まえ、アメリカやイギリス、ドイツ、フランスなどの国の学習者の平均値と日本の高校一年生の平均値とを比較します。結果は日本の方が圧倒的に上なのですが、そこにはどんな意味が隠されているのでしょう。	渡部　洋一郎

5	必要条件と十分条件 （判別の実際）	必要条件と十分条件について、簡単な識別法を使い例文を判別しましょう。簡単なコツを覚えれば、誰でも活用できます。	渡部　洋一郎
6	演繹的思考と帰納的思考 （長所と短所）	防御に優れた論法と攻撃に利のある論法、それぞれどのような利点と欠点があるのでしょうか。ここでは、その特徴について学びます。	渡部　洋一郎
7	文章題における理解と表現 （確率の文章題検討）	自分が理解していることをどのように表現すれば正確に相手に伝わるのでしょうか。また、ある表現は読み手にどのような理解をもたらすのでしょうか。実際の新聞コラムの内容を用いて検討してみましょう。	渡部　洋一郎
8	根拠と理由の違い （両者の差異）	自分が理解していることをどのように表現すれば正確に相手に伝わるのでしょうか。また、ある表現は読み手にどのような理解をもたらすのでしょうか。実際の新聞コラムの内容を用いて検討してみましょう。	渡部　洋一郎
9	限定と反証 （概念の理解）	限定と反証という耳慣れない言葉の意味について理解を深めます。この２つを理解することで、説得性のある主張を展開することができます。	渡部　洋一郎
10	トゥルミン・モデル （英国論理学の実際）	トゥルミン・モデルとは、S.E.Toulminによって考案された議論の論証モデルのことを言います。根拠から主張に至るまで６つの要素を配列するところにその特徴がありますが、まずは同モデルについて理解しましょう。	渡部　洋一郎
11	トゥルミン・モデル （諸分野への応用）	トゥルミン・モデルは、その精度や利便性の高さから、日常議論のみならず、社会学や法学、教育学への応用も盛んに行われています。この回は、その実態を学びます。	渡部　洋一郎
12	日常議論への実際の応用 （限定的な主張）	この回は、一般性及び汎用性のある主張ではなく、限定的でありながら説得性を持つ主張のあり方について、トゥルミン・モデルを使った演習を通して実地に確かめてみます。	渡部　洋一郎
13	日常議論への実際の応用 （反証を意識した反論）	最後に、反証を意識した反論について学びます。反証がある場合の反論とはどのようなものにならざるを得ないのか、検討してみましょう。	渡部　洋一郎
14	発想法としてのKJ法 （着想を得るコツ）	川喜田二郎によるKJ法と、梅棹忠夫によるこざね法を学びます。どちらもユニークな発想法として知られています。	渡部　洋一郎
15	総合的なまとめ	「問題解決法」で学んだ論理的思考や日常議論の方法、また、効果的な表現を意識した理解のあり方などについて、授業全体を振り返り、内容をまとめます。	渡部　洋一郎

学科	看護学科				ID	2812
授業科目の区分１	基礎教育科目					
授業科目の区分２	基礎教育科目					
授業科目の区分３	表現力養成					
科目名	英語Ⅱ				授業科目番号	1102020
担当者氏名	アレックス　ロクティオノフ					
授業方法	講義	単位	2単位		時間	30
必選	選択	開講年次	1年		開講期	後期

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	
	◎ 1-1 幅広い教養と多様性を理解する力
	○ 5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力
	○ 5-2 地域社会に貢献する態度

授業の概要　（全角392文字）

学生生活の学習の場でも、卒業後の職業人としても必要とされる、看護や医療の場面で活用できる英語の能力を獲得する。看護や医療における専門的な英語の語彙を身につけるとともに、リーディングでは看護や医療にまつわる記事などの平易な英文が読める能力を養う。また、ライティングでは、看護や医療の場面で活用できる能力を養い、リスニングとスピーキングでは、看護や医療に関する語彙の獲得を目指すとともに、看護や医療の現場で活用できる英会話の能力を養成する。

授業の到達目標　（全角224文字）

看護現場において外国人患者とのコミュニケーションがとれるようになる
基礎的な医療専門用語の習得

評価の方法　（全角112文字）

定期試験(ライティング、オーラル）：70%　　小テスト：20%　（先回授業の確認テスト）
学習態度：10%（授業中の発言、態度をもとに評価する。）

テキスト　（全角168文字）

「クリスティーンのやさしい看護英会話」　知念クリスティーン・上瀧真紀恵　医学書院

参考図書　（全角112文字）

履修上の留意点　（全角168文字）

学習の到達度を確認するため、授業開始時に前回の講義内容に関する小テストを実施する

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	ガイダンス コミュニケーション	英語Ⅱのガイダンス 授業中で使用する英会話 自身の英会話能力と到達目標の確認	アレックス ロクティオ ノフ
2	unit 1	急に英語で話しかけられた場合	アレックス ロクティオ ノフ
3	unit 2	自己紹介　質問と答え方	アレックス ロクティオ ノフ
4	unit 3	患者への質問	アレックス ロクティオ ノフ

5	unit 4	初診の患者への対応	アレックス ロクティオ ノフ
6	unit 5	道順の教え方	アレックス ロクティオ ノフ
7	unit 6	症状の尋ね方	アレックス ロクティオ ノフ
8	unit 7	症状の尋ね方 体の名称	アレックス ロクティオ ノフ
9	unit 8	病歴の尋ね方 病気の名称	アレックス ロクティオ ノフ
10	unit 9	薬の服用に関する表現	アレックス ロクティオ ノフ
11	unit 10	予約の受け方	アレックス ロクティオ ノフ
12	unit 11	手術に関する表現	アレックス ロクティオ ノフ
13	unit 12	入院患者への質問	アレックス ロクティオ ノフ
14	ロールプレイ	様々な医療現場での英会話	アレックス ロクティオ ノフ
15	全講義のまとめ	定期テストにむけて、Unit１から12の確認	アレックス ロクティオ ノフ

学科	看護学科					ID	2792
授業科目の区分１	基礎教育科目						
授業科目の区分２	基礎教育科目						
授業科目の区分３	表現力養成						
科目名	日本語Ⅲ					授業科目番号	1102050
担当者氏名	渡邉　有紀恵						
授業方法	講義		単位	1単位		時間	15
必選	選択		開講年次	1年		開講期	後期

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	
	○ 1-1 幅広い教養と多様性を理解する力
	◎ 3-2 多職種と連携・協働する力
	○ 4-2 看護を追究する基礎的研究能力

授業の概要　（全角392文字）

大学生活においても、社会生活においても、看護の場面においても、的確に情報を伝達し、論理的に議論を進める力が必要である。この科目では、効果的な討論を進めるために必要なポイントや姿勢を理解する。話し方のコツや聞き方のコツを学び、リーダーとして、またメンバーとして求められる役割について、心構えも併せて理解する。さらに、効率の良い討論のプロセスについて考え、実際の合意形成のプロセスを討論を通して体験する。

授業の到達目標　（全角224文字）

授業を通じて、自分の考えや思いを表現するための語彙・表現を磨き、議論する方法に関する知識を増やす。人間関係に配慮しながら、制限時間内に他者との兼ね合いの中で自分の考えを伝えたり、相手に質問をしたり、みんなでまとめるという複合的な作業の実践と反省を繰り返しながら、どのような形態の議論にも対応できる技術を修得する。

評価の方法　（全角112文字）

定期試験（筆記試験）40%、課題（予習ワーク、ポートフォリオ）30%、学習態度（議論への参加態度等）30%

テキスト　（全角168文字）

『大学生からのグループ・ディスカッション入門』中野美香著、ナカニシヤ出版、2018

参考図書　（全角112文字）

授業中に指示する。

履修上の留意点　（全角168文字）

授業前の予習（テキストを読みワークに記入）を必ず行ってから授業に参加すること。有意義な議論にするため、積極的な議論への参加を求める。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	・グループディスカッションのスキルと進め方 ・アイスブレイク	ガイダンス グループ・ディスカッションと普段のコミュニケーションの違いを考える。また、グループ・ディスカッションのステップを理解する。／アイスブレイクの要素を理解し、簡単なアイスブレイクの方法を練習する。	渡邉　有紀恵
2	・他者から見た自己の理解	相手から見た自分を理解し、適切に自分のことを相手に知らせる手段について考える。また、グループの中での自分の位置づけを考える。 ・第１回グループ・ディスカッション　　・ポートフォリオ作成 ・（予習）予習ワーク２（p.44）	渡邉　有紀恵
3	・相手を受け入れよう	相手が話しやすい聞き方と姿勢、自分の聞き方の癖、自分が話を聞いていることを相手に伝える行動について理解する。 ・第２回グループ・ディスカッション　　・ポートフォリオ作成 ・（予習）予習ワーク３（p.46）	渡邉　有紀恵
4	・司会をしよう ・グランドルール	司会者の役割について理解するとともに、司会者以外のメンバーの心構えについて学ぶ。／会議や話し合いをスムーズに進めるためにあらかじめ共有するグランドルールの例や活用について学ぶ。 ・第３回グループ・ディスカッション　　・ポートフォリオ作成 ・（予習）予習ワーク７（p.54）	渡邉　有紀恵

5	・テーマの分析	話し合いの準備のプロセスを理解するとともに、テーマの分析の方法、議論の３つの論題について理解する。 ・第４回グループ・ディスカッション　　・ポートフォリオ作成 ・（予習）予習ワーク８（p.56）	渡邉　有紀恵
6	・アイデアを広げて絞り込む	「テーマの分析」の後に行う「論点の洗い出し、整理、絞り込み」について学び、アイディアを広げる手段について理解する。 ・第５回グループ・ディスカッション　　・ポートフォリオ作成 ・（予習）予習ワーク９（p.58）	渡邉　有紀恵
7	・質問しよう	相互理解を深めるための質問について理解し、質疑応答の基本、回答の聞き方、回答の仕方を身につける。 ・第６回グループ・ディスカッション　　・ポートフォリオ作成 ・（予習）予習ワーク12（p.64）	渡邉　有紀恵
8	・振り返りをしよう （議論の評価）	議論に対する評価項目について学び、自己評価と他者評価とのギャップを比較する。／授業全体の振り返りをする。 ・第７回グループ・ディスカッション	渡邉　有紀恵

学科	看護学科					ID	2822
授業科目の区分１	基礎教育科目						
授業科目の区分２	基礎教育科目						
授業科目の区分３	人間力養成						
科目名	コミュニケーション論					授業科目番号	1103020
担当者氏名	五十嵐　紀子						
授業方法	講義		単位	2単位		時間	30
必選	必修		開講年次	1年		開講期	後期

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	
	◎ 1-1 幅広い教養と多様性を理解する力
	○ 1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力
	○ 1-3 他者の自己決定を擁護する力

授業の概要　（全角392文字）

自身を知ることと他者を知ることは表裏一体であり、人間尊重の精神が必要である。この科目では、人間を尊重し、他者を受容し、共感する、他者とともに生きることの意義を考える。そのためには、自己理解の方法を知り自己を客観的に見つめる機会を持つ。また、他者との適切な人間関係を形成し、信頼関係を確立するためには自己理解と他者理解が両輪となることを理解する。また、自己の良心と社会の規範やルールに従って自らを律して行動することができる態度を養成する。

授業の到達目標　（全角224文字）

１．コミュニケーションの理論を理解する　　２．身近なことや社会現象などに学んだ理論を当てはめ考察できる　　３．ステレオタイプとは何かを理解し、例を挙げて説明できる　　４．自分の中にあるステレオタイプへの気づきを得る　　５．看護実践において、コミュニケーション上重要となる視点を意識することができる

評価の方法　（全角112文字）

授業の振り返りコメント60%、レポート40%
※レポートは最後のグループワークを通しての学びについて

テキスト　（全角168文字）

よくわかるヘルスコミュニケーション、池田理知子・五十嵐紀子編、ミネルヴァ書房、2016年

参考図書　（全角112文字）

授業で適宜紹介する

履修上の留意点　（全角168文字）

ペアワーク、及びグループワークを通して学びを深めていきます。皆さんからの素朴な疑問、深い考察などを全体で共有したいと思いますので、積極的な発言を歓迎します。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	コミュニケーション学とは（コミュニケーションの定義、ヘルスコミュニケーション）	・オリエンテーション：授業計画と評価に関する説明 ・一般的なコミュニケーションの捉え方との差異 ・ヘルスコミュニケーションを学ぶ意義について （復習）テキストⅠ－１、４、５を読む	五十嵐　紀子
2	コミュニケーション能力とは何か（コミュニケーション能力）	・「コミュニケーション能力」重視の問題について ・「当たり前を疑う」視点の大切さ （予習）どんな時に「コミュニケーション能力」を意識するか具体的に考える （復習）テキストⅠ－７に関連した身近な例を探す	五十嵐　紀子
3	医療におけることば（臨床で交わされる言葉）	・「病」と自分との距離感について ・臨床における「ふさわしさ」について （予習）テキストⅤ－２を読む （復習）テキストⅡ－２を読む	五十嵐　紀子
4	医療におけることば（「病」の定義）	・「病」という言葉の捉え方について （予習）認知症、薬物依存症について （復習）テキストⅡ－７を読み、「健康か病かという二分法」について、さらに考える	五十嵐　紀子

5	非言語 （時間）	・時間の認識と他者理解 ・時間の認識のコミュニケーションに与える影響 （予習）テキストⅤ－１③、④を読む （復習）授業でやった内容を想起させるものの写真を撮ってくる	五十嵐　紀子
6	非言語 （空間）	・空間の認識が他者理解になぜ役立つのかを考える ・空間の認識のコミュニケーションに与える影響 （予習）テキストⅤ－１③、④を読む （復習）授業でやった内容を想起させるものの写真を撮ってくる	五十嵐　紀子
7	表象とステレオタイプ （表象、ステレオタイプ）	・ステレオタイプとは何か ・身近なステレオタイプについて ・グループワークで啓発や健康増進活動に用いられる表象分析を行う （予習）啓発や健康増進などのパンフレットやポスターを複数用意する	五十嵐　紀子
8	表象とステレオタイプ （表象、ステレオタイプ）	・グループワークの続き（発表準備） （復習）必要な情報、文献を調べる	五十嵐　紀子
9	表象とステレオタイプ （表象、ステレオタイプ）	・グループワークの続き（発表準備） ・発表 （復習）テキストⅥ－５を読み、日常に溢れるステレオタイプ化された表象について注目する	五十嵐　紀子
10	自己理解と他者理解 （自己理解、他者理解、自己ステレオタイプ、傾聴、共感）	・傾聴と共感のあり方について ・いくつかの事例について、自己ステレオタイプ化という視点で考察する （予習）テキストⅤ－７、Ⅶ－２を読む （復習）テキストⅨ－７を読む	五十嵐　紀子
11	異文化コミュニケーションと対人援助 （異文化、対人援助、マイノリティ）	・当事者研究の取り組み （予習）統合失調症について調べる （復習）関連するWebサイトや動画を閲覧する	五十嵐　紀子
12	異文化コミュニケーションと対人援助 （異文化、ジェンダー、多様性）	・ジェンダーマイノリティの問題 （予習）テキストⅣ－１、３を読む。LGBTについて調べる （復習）日常の中にあるジェンダーマイノリティの生きづらさに注目する	五十嵐　紀子
13	グループワーク	・テキストの1項目を選び、グループで発展的に考察するグループワーク （予習）興味のあるテキストの項目を挙げてくる （復習）グループワークで出た疑問点を調べたり考察したりする	五十嵐　紀子
14	グループワーク	・グループワークの続き （復習）発表に向けて必要な準備をする	五十嵐　紀子
15	グループワーク	・グループワーク発表 ・振り返り ・まとめ	五十嵐　紀子

学科	看護学科					ID	2782
授業科目の区分１	基礎教育科目						
授業科目の区分２	基礎教育科目						
授業科目の区分３	人間の理解						
科目名	健康スポーツⅡ					授業科目番号	1105040
担当者氏名	塩野谷　明						
授業方法	講義		単位	1単位		時間	15
必選	選択		開講年次	1年		開講期	後期

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	
	○ 1-1 幅広い教養と多様性を理解する力
	◎ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力
	○ 4-1 看護学を探究する意欲

授業の概要　（全角392文字）

室内で行うスポーツを実践し、スポーツが身体的、心理的、社会的側面に及ぼす影響について体験し考察する。具体的には、エアロビクスによる有酸素運動の体験をする。また、バレーボール競技を通して、スポーツにおけるチームワークの在り方から、スポーツの社会性について体験し考察する。さらに、筋肉トレーニングを体験する。また、有酸素運動と筋肉トレーニングの特徴を理解したうえで、グループワークとして、子どものトレーニングと高齢者のトレーニングの特徴について考え、具体的な運動メニューを提案する。

授業の到達目標　（全角224文字）

スポーツの身体、精神、社会的影響について、生理学、生化学、バイオメカニクスや運動に関する生理学、心理学、社会学を基盤に、健康について理解する。具体的には、身体的健康としてのPWC、RPEおよび代謝推定や精神的，社会的健康としてのYGテスト、エゴグラムの評価ができるようにする。また障がい者スポーツを体験し、ハンディキャップがどのような福祉工学的サポートから克服されているかを理解する。

評価の方法　（全角112文字）

最終試験80%、学習態度20%

テキスト　（全角168文字）

特に指定しない。

参考図書　（全角112文字）

特に指定しない。

履修上の留意点　（全角168文字）

与えられた課題作成を念頭にして、講義内容を入れながら実技を行っていくため、理由のない欠席は避ける。

備考　（全角56文字）

養護教諭二種教育課程必修科目

授業計画

回	テーマ(キーワード) (全角78文字)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） (全角198文字)	担当教員 (全角30文字)
1	運動とエネルギー代謝①	運動のエネルギー源となるATPの再合成のメカニズムに関係するATP-CP系、解糖系について学ぶとともに、スポーツとの関連性について理解させる。	塩野谷　明
2	精神的・社会的健康とスポーツ①	スポーツ実践と精神的、社会的スポーツ	塩野谷　明
3	運動とエネルギー代謝②	運動のエネルギー源となるATPの再合成のメカニズムに関係するクレブス回路、電子伝達系、ATP合成酵素について学ぶとともに、スポーツとの関連性について理解させる。	塩野谷　明
4	精神的・社会的健康とスポーツ②	スポーツ実践と精神的、社会的スポーツ	塩野谷　明

5	VO2maxとAnaerobic Threshold①	運動機能の評価指標となるVO2maxおよびAnaerobic Thresholdについてその算出方法までを理解し、エネルギー代謝をとおして生体が有するメカニズムの面白さについて理解させる。	塩野谷　明
6	障がい者スポーツ実践①	車いすテニス、車いすバトミントン、車いすバスケット①	塩野谷　明
7	VO2maxとAnaerobic Threshold②	運動機能の評価指標となるVO2maxおよびAnaerobic Thresholdについてその算出方法までを理解し、エネルギー代謝をとおして生体が有するメカニズムの面白さについて理解させる。	塩野谷　明
8	障がい者スポーツ実践②	車いすテニス、車いすバトミントン、車いすバスケット②	塩野谷　明

学科	看護学科					ID	2722
授業科目の区分１	基礎教育科目						
授業科目の区分２	基礎教育科目						
授業科目の区分３	人間の理解						
科目名	生命倫理学					授業科目番号	1105020
担当者氏名	郷堀　ヨゼフ						
授業方法	講義		単位	2単位		時間	30
必選	必修		開講年次	1年		開講期	後期

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	
	○ 1-1 幅広い教養と多様性を理解する力
	◎ 1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力
	○ 1-3 他者の自己決定を擁護する力

授業の概要　（全角392文字）

社会人として、看護職として生命の尊厳を守ることは重要なことである。生命倫理学では、そもそも倫理とは何かを学ぶ。そのうえで、生命倫理学の基礎的概念を学ぶ。具体的には、パターナリズムと人権、自己決定権、遺伝子治療、出生前診断と母体保護法、不妊治療と代理母、安楽死、脳死と臓器移植、宗教上の治療拒否などのテーマについて調べ学習を行い、グループで討議し、発表する。現代の医療の倫理的課題について、広い視野で問題を考察できるようになるための基礎的科目である。

授業の到達目標　（全角224文字）

この授業では、生命、公平や自由などの基本概念を押さえ、生命倫理学の扱う自己決定権やQOLとSOL等について議論を展開していく。同時に、看護現場で実際に起きた事例を通して倫理的課題について検討し、その文化的（例：日本人の死生観）・社会的背景について論じる。学習者が看護現場の抱える倫理の諸問題の内容を理解し、倫理的原則を踏まえてこの諸問題を解決する判断力を育むと同時に、現代医療の倫理的な問題に気づく感性を養うことを到達目標とする。

評価の方法　（全角112文字）

終講試験を60%、プレゼンテーションを20%、数回のリアクションペーパー（10行程度の小レポート）の提出状況を20%とする。

テキスト　（全角168文字）

購入テキストはなし。

参考図書　（全角112文字）

『看護学生のための医療倫理』（丸善出版、2012）等の参考図書を随時紹介し必要な資料をこちらで準備する。

履修上の留意点　（全角168文字）

学習者の主体的な学びを高めるために、複数の生命倫理的な問題についてプレゼンテーションを行い、ディスカッションを通してその理解を深めたいと考える。授業への積極的な参加を期待しており、アクティブラーニングを促す。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	イントロダクション	生命倫理とは何か。 バイオエシックス、医療倫理、生命倫理の整理。	郷堀　ヨゼフ
2	健康問題とは何か	基礎的概念を問う。健康と病気とは何か。疾病と病との違い。健康問題に取り組む医療と看護の特徴を踏まえて、現代医療の倫理的問題を整理する。	郷堀　ヨゼフ
3	生命倫理の歴史	ナチス犯罪やタスキーギ事件等を取り上げながら臨床の倫理確立のプロセスを追う。ニュールンベルク綱領（1947）、ヘルシンキ宣言（1964）、インフォームド・コンセント(IC)などにフォーカスする。	郷堀　ヨゼフ
4	看護倫理の基盤 （看護倫理綱領）	看護現場を意識しながら基本概念を押さえる。	郷堀　ヨゼフ

5	治療選択権	患者の権利に焦点を当て、パターナリズムやインフォームドコンセント等の概念について論じる。	郷堀　ヨゼフ
6	治療拒否権	同じく、患者の権利に焦点を当てながら、特に終末期医療・緩和ケアの事例を中心に延命措置の問題について考える。	郷堀　ヨゼフ
7	人生の旅：誕生（１）	生の始まりにまつわる生命倫理的な問題に焦点を当て、特に生殖技術と遺伝子技術（優生学）について考える。	郷堀　ヨゼフ
8	人生の旅：誕生（２）	生の始まりにまつわる生命倫理的な問題に焦点を当て、特に人工妊娠中絶について考える。その社会的・文化的背景も考慮しながら、歴史的な展開と現状の両方について論じる。	郷堀　ヨゼフ
9	プレゼンテーション	生の始まりに関する倫理的な問題を取り上げ、（グループ）プレゼンテーションを行い、全体でディスカッションを行う。	郷堀　ヨゼフ
10	人生の旅：死（１）	生の終わりにまつわる倫理問題に着眼し、脳死や移植医療の事例を挙げながら死の概念等を押さえる。さらに、脳死判定、死の三徴候、臓器移植について検討しながら、遷延性意識障害と脳死と臓器提供について議論する。	郷堀　ヨゼフ
11	人生の旅：死（２）	生の終わりにまつわる倫理問題に着眼し、がん治療、ターミナルケア、ビハーラ、スピリチュアルケア、ホスピスケアについて議論する。国内外の事例を挙げながら、延命治療等の倫理的諸問題について考える。	郷堀　ヨゼフ
12	人生の旅：死（３）	安楽死にフォーカスしながら、諸概念を整理した上で国内外の現状について紹介する。その中で、死ぬ権利、自殺幇助等を取り上げる。	郷堀　ヨゼフ
13	人生の旅：死（４）	安楽死にフォーカスしながら、安楽死と尊厳死の違いを取り上げ、検討する。	郷堀　ヨゼフ
14	プレゼンテーション	生の終わりに関する倫理的な問題を取り上げ、（グループ）プレゼンテーションを行い、全体でディスカッションを行う。	郷堀　ヨゼフ
15	まとめ、振り返り	全体の内容を振り返って、課題を整理する。	郷堀　ヨゼフ

学科	看護学科					ID	2762
授業科目の区分１	基礎教育科目						
授業科目の区分２	基礎教育科目						
授業科目の区分３	社会の理解						
科目名	自然環境論					授業科目番号	1106010
担当者氏名	濁川　明男						
授業方法	講義		単位	2単位		時間	30
必選	選択		開講年次	1年		開講期	後期

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 1-1 幅広い教養と多様性を理解する力
	○ 5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力

授業の概要　（全角392文字）

自然と共生するための、自然環境の保全、人間社会の在り方について地球環境問題に興味を持ち学ぶ。具体的には、食生活と増え続けるごみや廃棄物、食料自給率と環境、途上国と日本の水環境、地球温暖化、公害、エネルギー資源、大気汚染などの問題を理解し、人間は自然とどのように共生していくのか、世界レベルで考えることから始まり、地域のレベルまで具体的に掘り下げて考える。この講義を通して、卒業してからも環境問題に興味を持ち続けて、環境保全に積極的に関与できる人材を育成する。

授業の到達目標　（全角224文字）

長き地球の歴史の中で形成されてきた自然環境、人類誕生以来それがどのような変貌を遂げ、近代の経済発展の代償として深刻な環境問題が発生している現実を理解し、これからの持続可能な社会実現のために、世界は、日本は、私たちはどうあるべきなのかを考えることができる。

評価の方法　（全角112文字）

定期試験75%、小課題レポート20%、授業態度5%（授業中の発言、態度）

テキスト　（全角168文字）

参考図書　（全角112文字）

履修上の留意点　（全角168文字）

講義資料を随時配布するので必ずファイルし、講義内容を加筆しながら学習記録としてまとめあげてほしい。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	生命を支える自然環境の生い立ち	ガイダンス 地球誕生から生物の生存を可能にした自然環境の形成過程、並びにその過程の中での生命体の進化について理解し、生命体の組織・器官の分化の要因について考える。	濁川　明男
2	生命を支える自然環境の生い立ち	ガイダンス 地球誕生から生物の生存を可能にした自然環境の形成過程、並びにその過程の中での生命体の進化について理解し、生命体の組織・器官の分化の要因について考える。	濁川　明男
3	日本における人々の生活の変化と自然環境の変貌	縄文期から近代までの人々の生活の変化と自然環境の変貌、昭和期におけるエネルギー革命と森林の荒廃、ヨーロッパと日本の森林環境の差異とその要因について討議する。	濁川　明男
4	日本における人々の生活の変化と自然環境の変貌	縄文期から近代までの人々の生活の変化と自然環境の変貌、昭和期におけるエネルギー革命と森林の荒廃、ヨーロッパと日本の森林環境の差異とその要因について討議する。	濁川　明男

5	日本の経済発展と身近な自然環境の変貌	昭和30年代以降の近代化やエネルギー革命によって生じた生活様式の変化、石油化学製品の普及、農業の近代化がもたらした水辺環境の変化について理解する。特にゴミ問題に着目し、高度経済成長前と後との変化、現代のゴミの行方について理解し、ゴミの根本的な問題の所在について討議する。	濁川　明男
6	日本の経済発展と身近な自然環境の変貌	昭和30年代以降の近代化やエネルギー革命によって生じた生活様式の変化、石油化学製品の普及、農業の近代化がもたらした水辺環境の変化について理解する。特にゴミ問題に着目し、高度経済成長前と後との変化、現代のゴミの行方について理解し、ゴミの根本的な問題の所在について討議する。	濁川　明男
7	日本高度経済成長と公害問題	足尾銅山鉱毒事件にはじまる様々な公害の歴史、特に経済発展に伴ってもたらされた化学物質による人体被害や生態系への影響について理解する。	濁川　明男
8	日本高度経済成長と公害問題	足尾銅山鉱毒事件にはじまる様々な公害の歴史、特に経済発展に伴ってもたらされた化学物質による人体被害や生態系への影響について理解する。	濁川　明男
9	人類の存亡を左右するグルーバルな環境問題１	世界的な経済発展とその裏で発生してきている様々な環境問題、特に地球温暖化問題とその要因、大気汚染と酸性雨問題、オゾン層の破壊問題、様々な化学物質による身体の影響などについて理解する。特に地球温暖化については早急の対策が迫られながらも国際社会の歩調の乱れについて討議する。	濁川　明男
10	人類の存亡を左右するグルーバルな環境問題１	世界的な経済発展とその裏で発生してきている様々な環境問題、特に地球温暖化問題とその要因、大気汚染と酸性雨問題、オゾン層の破壊問題、様々な化学物質による身体の影響などについて理解する。特に地球温暖化については早急の対策が迫られながらも国際社会の歩調の乱れについて討議する。	濁川　明男
11	人類の存亡を左右するグルーバルな環境問題２	世界を震撼させた東北大震災に伴う原子炉事故、核エネルギーの原理と核エネルギーと利点と怖さについて理解し、日本のこれからのエネルギー課題について意見を交流する。	濁川　明男
12	人類の存亡を左右するグルーバルな環境問題２	世界を震撼させた東北大震災に伴う原子炉事故、核エネルギーの原理と核エネルギーと利点と怖さについて理解し、日本のこれからのエネルギー課題について意見を交流する。	濁川　明男
13	自然の生態系	自然の生態系の基本概念、海や森を例に自然生態系について理解し、私たちの身近な生活と自然環境に与える影響について討議する。	濁川　明男
14	自然の生態系	自然の生態系の基本概念、海や森を例に自然生態系について理解し、私たちの身近な生活と自然環境に与える影響について討議する。	濁川　明男
15	まとめとして－持続可能な社会実現のために－	課題レポート「持続可能な社会の実現に向けて私は」の意見発表会、持続可能な社会の実現に向けて、世界や日本、そして今我々がやれること、やらねばならないことについて議論を深める。	濁川　明男

学科	看護学科			ID	2732
授業科目の区分１	基礎教育科目				
授業科目の区分２	基礎教育科目				
授業科目の区分３	社会の理解				
科目名	日本国憲法			授業科目番号	1106020
担当者氏名	里見　佳香				
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30
必選	必修	開講年次	1年	開講期	後期

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 1-1 幅広い教養と多様性を理解する力
	◎ 1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力
	○ 1-3 他者の自己決定を擁護する力

授業の概要　（全角392文字）

日本国憲法の制定の過程を学び、また基本原理について理解を深める。具体的には、人権の保障、法の下の平等、信教の自由、表現の自由、生存権などについて理解を深める。特に、人権については、人権尊重、人権擁護をめぐる身近な問題を考える。具体的には、いじめ、外国人差別、障害者への偏見、部落差別、労働に関わる問題、女性労働者と育児、介護に関わる問題などである。さらに、法とは何か、日本国憲法と法律の役割を明確にし、法律に関する基礎的、基本的な知識を身につける。

授業の到達目標　（全角224文字）

・日本国憲法の成立経緯や構造等の基本的内容を説明できる。
・自らのもつ権利と義務について考えることができる。

評価の方法　（全角112文字）

期末試験（100%）により評価する。

テキスト　（全角168文字）

『目で見る憲法【第5版】』、初宿正典、大沢秀介、高橋正俊、常本照樹、高井裕之編著、有斐閣、2018年

参考図書　（全角112文字）

『資料で考える憲法』、谷口真由美編・里見佳香他著、法律文化社、2018年

履修上の留意点　（全角168文字）

本講義は日本国憲法の初学者を対象にしている。

備考　（全角56文字）

養護教諭2種教育課程必修科目

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	法とはなにか	法、社会規範、国法体系について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
2	日本国憲法の成立	大日本帝国憲法（明治憲法）から日本国憲法（予習）への変遷について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
3	日本国憲法の基本原理	基本的人権の保障、国民主権、平和主義について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
4	基本的人権１ （１）生命・自由・幸福追求権	生命・自由・幸福追求権について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香

5	基本的人権２ （２）法の下の平等	法の下の平等について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
6	基本的人権３ （３）自由権	自由権の基礎と内容について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
7	基本的人権４ （４）社会権	社会権の基礎と内容について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
8	基本的人権５ （５）参政権、国務請求権	参政権、国務請求権について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
9	統治機構１ （１）三権分立、法治国家のしくみ	三権分立について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
10	統治機構２ （２）立法（国会）	立法権（国会）について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
11	統治機構３ （３）行政（内閣）	行政権（内閣）について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
12	統治機構４ （４）司法（裁判所）	司法権（裁判所）について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
13	財政	租税法律主義、財政民主主義について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
14	地方自治１ （１）地方自治総論	地方自治の総論について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香
15	地方自治２ （２）条例、地方税	条例、地方税、住民投票について学ぶ。 （予習）次回講義の内容について下調べした結果をまとめておくこと	里見　佳香

学科	看護学科					ID	2802
授業科目の区分１	基礎教育科目						
授業科目の区分２	基礎教育科目						
授業科目の区分３	社会の理解						
科目名	福祉と保障					授業科目番号	1106030
担当者氏名	佐藤　和也						
授業方法	講義		単位	2単位		時間	30
必選	選択		開講年次	1年		開講期	後期

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	
	○ 1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力
	○ 1-3 他者の自己決定を擁護する力
	◎ 3-3 保健医療福祉制度と看護の役割

授業の概要　（全角392文字）

社会福祉とは何か、どうあるべきかを理解する。歴史的背景を踏まえた社会福祉の概念や対象・理念を学び、現代の社会福祉の現状と多様性を学ぶ。また、社会福祉と社会保障の概念を明らかにし、現代の社会保障の各種政策・制度を学習する。具体的には、少子高齢化に対する社会保障制度、社会的不平等に対する保証制度などである。また、それを踏まえ、現在のメインストリームである地域ケアにおけるこれからの自立生活支援の考え方を養う。

授業の到達目標　（全角224文字）

①私たちの生活がどのような仕組みで支えられているのかを理解する。
②卒業直後から授業の成果を活かせるよう、制度の理解だけでなく現代社会の動向と関連付けて理解する。
③看護職と様々な現場で協働する“ソーシャルワーク職”の基礎的な知識を学び、連携の必要性を理解する。

評価の方法　（全角112文字）

・演習参加姿勢　20%
・筆記試験　80%

テキスト　（全角168文字）

2020　系統看護学講座　専門基礎分野　社会保障社会福祉　医学書院

参考図書　（全角112文字）

都度紹介

履修上の留意点　（全角168文字）

筆記試験は、国家資格試験の問題様式にほぼ準じる。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	オリエンテーション 社会保障と社会保険	社会保障を学ぶ意義 予習：自分が90歳になった時の暮らしを想像する 復習：社会保障と社会保険の違いを確認する	佐藤　和也
2	社会保障制度の目的と機能	（第1章）社会保障制度と社会福祉 予習：日本の人口の変化を確認する 復習：社会保障の全体像を確認する	佐藤　和也
3	社会福祉の法制度	（第1章）社会保障制度と社会福祉 予習：住んでいる地区の民生委員を確認する 復習：社会福祉六法を確認する	佐藤　和也
4	現代社会の変化	（第2章）現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向 予習：親戚の家族構成を確認する 復習：日本の2025年問題、2040年問題を確認する	佐藤　和也

5	医療保障制度Ⅰ	（第3章）医療保障 予習：自分の医療保険被扶養者証を確認する 復習：医療保障制度の種類と概要を確認する	佐藤　和也
6	医療保障制度Ⅱ	（第3章）医療保障 予習：住んでいる地域の医療機関を確認する 復習：保険診療の仕組みを確認する	佐藤　和也
7	介護保障制度Ⅰ	（第4章）介護保障 予習：（可能なら）65歳以上の身内の人の介護保険証を見せてもらう 復習：介護保険制度の概要を確認する	佐藤　和也
8	介護保障制度Ⅱ	（第4章）介護保障 予習：住んでいる地域の介護保険施設・事業所を確認する 復習：介護保険のサービスを確認する	佐藤　和也
9	年金保険 社会手当 労働保険	（第5章）所得保障 予習：（可能なら）身内の人の「年金」の種類を教えてもらう 復習：所得補償制度の概要を確認する	佐藤　和也
10	生活保護 低所得者対策	（第6章）公的扶助 予習：「朝日訴訟」を調べる 復習：生活保護を取り巻く最近の動向を確認する	佐藤　和也
11	高齢者福祉 障害者福祉	（第7章）社会福祉の分野とサービス 予習:「ノーマライゼーション」を確認する 復習：高齢者施策を確認する	佐藤　和也
12	障害者福祉 児童家庭福祉	（第7章）社会福祉の分野とサービス 予習：虐待（高齢・障害・児童）事件を調べる 復習：障害者へのサービス内容を確認する	佐藤　和也
13	社会福祉実践	（第8章）社会福祉実践と医療・看護　　演習 予習：社会福祉援助技術を知る 復習：自己覚知を深める	佐藤　和也
14	社会福祉実践 医療・看護・福祉の連携	（第8章）社会福祉実践と医療・看護 予習：地域包括ケアシステムを調べる 復習：連携を支えるコミュニケーションの大切さを確認する	佐藤　和也
15	社会福祉の歴史	（第9章）社会福祉の歴史　　「当事者」とはだれか 予習：テキストを読む 復習：「生存権」を考察する	佐藤　和也

学科	看護学科			ID	2772
授業科目の区分１	専門教育科目				
授業科目の区分２	専門基礎科目				
授業科目の区分３	人体の構造と機能				
科目名	人体の構造と機能Ⅲ			授業科目番号	2208030
担当者氏名	浅見　直			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15
必選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度				
	○ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力				
	○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

授業の概要　（全角392文字）

内分泌系、免疫系、生殖器系、感覚系、皮膚の構造と機能を学ぶ。解剖見学実習を行い、実習後、解剖生理学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで学んだ内容との統合を図る。解剖実習は、新潟大学医歯学部にて実施する。この実習を通して、知識の修得統合とともに、人間の尊厳について考える。

授業の到達目標　（全角224文字）

解剖学の基礎知識に基づき、栄養の消化と吸収、呼吸と血液の働きについて必要であれば図示し、説明できる。また実際の人体解剖を見学し、各臓器の配置について位置関係を説明できる。

評価の方法　（全角112文字）

成績評価は定期試験80%、学習態度20%の割合で行う。

テキスト　（全角168文字）

系統看護学講座、解剖生理学人体の構造と機能I

参考図書　（全角112文字）

履修上の留意点　（全角168文字）

教科書を必ず持参する。
８回の講義とは別に解剖見学実習を行う。

備考　（全角56文字）

私語、パソコン、スマホの操作、授業中の他科目の勉強は講義に集中できなくなるので絶対にやらないこと。

授業計画

回	テーマ(キーワード)（全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）（全角198文字）	担当教員（全角30文字）
1	身体の支持と運動：骨の形態と筋肉	人体の骨格とそれを構成する骨および筋肉について総合的に学習する。学生は人体の全体図を見て、各部位の骨と筋肉についてイメージできるように予習する。復習は授業で示した主な骨、筋肉とそれらを結びつける靭帯について説明できることを目標として行う。	浅見　直
2	身体の支持と運動：上下肢の骨格と筋	上肢と下肢の長管骨を中心として学習する。また筋肉の進展や屈曲の意味についても学習する。学生は上下肢の骨と関節の名称について予習する。復習はこれら総合的に結び付け、伸展と屈曲に際して働く関節と筋肉について説明できることを目標として行う。	浅見　直
3	情報の受容と処理：神経系の構造と機能	ヒトの中枢神経の構造と、中枢から末梢までの神経伝達について学習する。学生は大脳、脊髄の構造を理解できるように予習しておく。復習は大脳、脊髄、末梢神経の興奮伝達について図をまじえて説明できることを目標として行う。	浅見　直
4	情報の受容と処理：脊髄の構造と機能	脊髄の全体構造と断面より、神経伝道路について学習する。学生は脊髄の全体図と断面図をみて、各部の名称を予習する。復習は学生は大脳運動量から発せられた興奮が末梢の筋肉までどのようにして伝わっていくのか図示できることを目標として行う。	浅見　直

5	身体機能の防御と適応：皮膚の構造と機能、代謝と運動	防御機構としての皮膚とその構造、機能などについて学習する。学生は皮膚の表面図と断面図を理解し、各部の名称を予習する。復習は皮膚のどの髄がどのようにして生体防御するのか、図も交えて説明できることを目標として行う。	浅見　直
6	感覚器（眼、耳、内耳など）	眼、耳、内耳などの構造、機能などについて学習する。学生はこれらの解剖図を理解し、各部の名称を予習する。	浅見　直
7	生殖と発生のメカニズム：男性と女性の生殖器(１)、月経周期	男性と女性の生殖器の構造について学習する。学生は男性と女性生殖器の外観と内部構造、さらに精巣と卵巣を予習しておく。復習は精子と卵子がどのようにして成熟していくのか、説明できることを目標として行う。	浅見　直
8	生殖と発生のメカニズム：男性と女性の生殖器(２)、内胚葉、中胚葉、外肺葉	男性と女性の生殖器について機能について学習する。学生は男性と女性生殖器の機能と発生における胚葉を予習しておく。復習はヒトの妊娠、着床、発生などを説明できることを目標として行う。	浅見　直

学科	看護学科					ID	2682
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門基礎科目						
授業科目の区分３	人体の構造と機能						
科目名	栄養学				授業科目番号	2208040	
担当者氏名	渡邊　令子						
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30		
必選	必修	開講年次	1年	開講期	後期		

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	
	◎ 2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度
	○ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力
	○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力

授業の概要　（全角392文字）

栄養素とその働き、食物の摂取と消化吸収を学び、生命現象の意義について生化学的側面からとらえ、生体内のエネルギー獲得の仕組みと生体の恒常性の維持に関連して、糖質・たんぱく質・脂質などの代謝を学ぶ。また、栄養評価や、栄養指導、保健指導などの方法を学ぶ。さらに、ライフステージ別の栄養摂取課題、健康づくりについて学ぶ。看護職として臨床や地域の現場で栄養管理や栄養指導ができるための基礎的知識を得るための科目である。

授業の到達目標　（全角224文字）

1. 生体と食べ物との関係を専門用語を用いて説明できる。
2. エネルギー産生栄養素と微量栄養素の栄養学的機能について説明できる。
3. 健康の保持・増進や疾病・障害の予防に対する栄養の関わりについて説明できる。
4. ライフステージ別ならびに主な疾病に対する栄養管理の基本について理解する。

評価の方法　（全角112文字）

学習態度（意欲、積極性）：10%、小テスト：20%、定期試験：70%

テキスト　（全角168文字）

『系統看護学講座　栄養学　人体の構造と機能③』、小野章史他、医学書院、2020年

参考図書　（全角112文字）

・『栄養科学イラストレイテッド　基礎栄養学 第4版』、田地陽一編、羊土社、2020年
・『健康・栄養科学シリーズ　応用栄養学 改訂第6版』、渡邊・伊藤・瀧本編、南江堂、2020年

履修上の留意点　（全角168文字）

・配布プリントは、ファイルに綴じること。
・毎回の講義終了後の復習を必ず行うこと。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	栄養学とは （栄養、栄養素、食べ物、食品、食事）	ガイダンス（復習や小テスト等について） 先ず、栄養の概念について理解を深める。そのうえで、保健医療や看護からみた食事や栄養補給の意義について学習する。 （テキスト第1章を参照）	渡邊　令子
2	栄養管理（ケア・マネジメント）とは （栄養アセスメント、栄養診断、栄養ケアプラン、モニタリング）	健康・栄養状態の評価（栄養アセスメント）・判定の方法、それに基づいた栄養ケア計画、実施、モニタリングと評価という栄養管理の基本について学習する。 （テキスト第6・7章を参照）	渡邊　令子
3	食べ物と摂食行動 （食品群と栄養素、生体リズムと食物の摂食調節）	食品には、各種栄養素や水分の他に、色素や香味成分をはじめ多種多様な成分が含まれていて、これらを調理加工したものを一般的には食事として経口摂取している。食事のリズムとタイミングについて学習し、「なぜ、規則正しい食事が健康増進や肥満および生活習慣病予防に重要なのか」について理解する。	渡邊　令子
4	食べ物（栄養素）の消化・吸収 （消化酵素、管腔内消化と膜消化、栄養素の吸収機構、腸内細菌叢）	管腔内消化と膜消化・吸収の2つのステージからなる消化・吸収過程の概要（消化液・消化酵素の種類とその性質など）、さらに栄養素別の消化・吸収過程について学習する。	渡邊　令子

5	エネルギー産生栄養素の体内代謝（Ⅰ） （たんぱく質・アミノ酸、炭水化物と糖質と食物繊維）	たんぱく質はエネルギー産生栄養素であるが、糖質や脂質と基本的に異なる栄養素であることを理解し、たんぱく質とアミノ酸の体内代謝について、食後と食間期の違いや臓器差について学習する。 炭水化物は糖質と食物繊維に分けられ、糖質が消化・吸収された後、グルコースとして血液中に存在して各組織細胞に取り込まれ、エネルギー（ATP)が生成されることを学習し、血糖調節の重要性を理解する。	渡邊　令子
6	エネルギー産生栄養素の体内代謝（Ⅱ） （脂質・脂肪酸、リポたんぱく質）	水に不溶性の栄養素である脂質と脂肪酸の種類について学習し、脂質の臓器間輸送の役割を担っているリポたんぱく質や、エネルギー源としての脂肪酸の代謝について理解する。	渡邊　令子
7	ビタミン・ミネラルの生理機能と代謝 （欠乏症、過剰症）	体内代謝や生理機能の調節物質としての微量栄養素に関して、ビタミン（13種類）とミネラル（13種類）の各栄養素の生理機能と欠乏症や過剰症について、学習する。	渡邊　令子
8	エネルギー代謝 （エネルギー産生栄養素の生理的燃焼値、基礎代謝、安静時代謝、活動代謝）	栄養において、エネルギーと水の供給は第一に優先される。食べ物の摂取によるエネルギー摂取量と生命維持や日常生活活動によるエネルギー消費量の収支が釣り合えば体重変動はみられない。食品の生理的燃焼値を含め、エネルギー代謝の重要性について学習する。	渡邊　令子
9	ライフステージと栄養（Ⅰ） （妊娠・授乳期、乳児期）	妊娠・授乳期、すなわち母性栄養は胎児栄養を含むという特殊性がある。乳児期は、生涯でもっとも急速に成長する時期であり、また前半の乳汁栄養から離乳食へ移行する時期でもある。これら各時期の栄養ケアの重要性について学習する。	渡邊　令子
10	ライフステージと栄養（Ⅱ） （幼児期、学童期、思春期）	幼児期及び学童期という成長期の生理的特徴と栄養ケアのあり方について、学習する。また、学童期の後半から始まる第2発育急進期である思春期の特徴と栄養学的課題について学習する。	渡邊　令子
11	ライフステージと栄養（Ⅲ） （成人期、高齢期）	成人期といっても思春期以降から実年期（50～64歳）まで、高齢期もまた65歳以上と非常に年齢幅が広いうえ、高齢になるほど個人差が大きくなる。それゆえ、疾病や健康障害における栄養学的課題も変化し、多様である。それらの課題に対する栄養ケアのあり方について学習する。	渡邊　令子
12	疾病と栄養（Ⅰ） （栄養補給法、病院食）	傷病者の病態や栄養状態は、当然のことながら一人ひとり異なる。医療現場では、医療スタッフが各専門性を発揮してチームとして傷病者の栄養管理に取り組むことが求められており、看護師も臨床栄養の基本を理解しておくことが必要である。栄養補給法、病院食など基本について学習する。 （テキスト第9章を参照）	渡邊　令子
13	疾病と栄養（Ⅱ） （代表的な疾患別食事療法）	肥満、高血圧、脂質異常症、糖尿病など生活習慣病の食事療法の基本、および消化器疾患の栄養療法の基本について学習する。 （テキスト第9章を参照）	渡邊　令子
14	疾病と栄養（Ⅲ） （代表的な疾患別食事療法、低栄養や咀嚼・嚥下障害への対応）	腎臓病、肝疾患の栄養療法の基本、低栄養や咀嚼・嚥下障害への対応などについて、学習する。 （テキスト第9章を参照）	渡邊　令子
15	食事摂取基準 （日本人の食事摂取基準2020年版）	日本人の食事摂取基準は、健康増進法（平成14年法律第103号）に基づき、国民の健康の保持・増進、生活習慣病の予防を目的とし、エネルギー及び各栄養素の摂取量の基準を定めたもので、5年毎に改定される。2020年版は、2020年度から2024年度まで用いられる。生活習慣病の重症化予防やフレイル予防と各栄養素との関連について示されているので、概要について学習する。	渡邊　令子

学科	看護学科				ID	2752
授業科目の区分１	専門教育科目					
授業科目の区分２	専門基礎科目					
授業科目の区分３	健康と社会のシステム					
科目名	保健医療福祉行政論			授業科目番号	2210020	
担当者氏名	宮川　公子			実務経験のある教員等による授業科目	○	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30	
必選	必修	開講年次	1年	開講期	後期	

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	
	○ 3-3 保健医療福祉制度と看護の役割
	◎ 5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力
	○ 5-2 地域社会に貢献する態度

授業の概要　（全角392文字）

保健医療福祉行政論は、公衆衛生看護を実践するための基礎となるとともに、地域で包括的に住民をケアするための基礎となる科目でもあり、保健師にとっても看護師にとっても必要な科目である。そこで、地域住民がより良い暮らしを営むことを支援する基盤となる保健医療福祉の歴史を理解することから始まり、制度と行政の仕組みを理解する。また、現在の日本の保健医療福祉行政の現状を知り、評価と課題を抽出し、対策を考える。

授業の到達目標　（全角224文字）

・保健医療福祉制度の変遷を説明できる。
・保健医療福祉行政・財政の理念と仕組み、社会保障制度と地域保健に関する公的機関について説明できる。
・保健医療福祉計画の経過と評価についてプロセスを説明できる。
・日本の保健医療福祉行政の現状から課題を抽出し、対策を考察できる。

評価の方法　（全角112文字）

授業貢献度(授業中の発言など）10%、筆記試験90%

テキスト　（全角168文字）

標準保健師講座　別巻１　保健医療福祉行政論　医学書院、国民衛生の動向2019-2020　適宜ハンドアウト配布

参考図書　（全角112文字）

保健医療福祉行政論（メヂカルフレンド社）

履修上の留意点　（全角168文字）

保健医療福祉行政を理解することは、保健師だけでなく、看護師にも必要不可欠である。特に、地域で活躍するためには行政を理解することが求められる重要な科目である。

備考　（全角56文字）

保健師教育課程必修科目

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	保健医療福祉行政とは （日本国憲法第25条・健康・文化的生活・公衆衛生）	ガイダンス 保健医療福祉行政の根拠と、公衆衛生、保健医療福祉行政の役割について2回に分けて学ぶ。具体的には、憲法で定められている「健康で文化的な生活」の意味をよく理解し、その権利を保障するための公衆衛生について、今日的に捉える。 （予習）教科書P.2～10を読む。	宮川　公子
2	保健医療福祉行政とは （プライマリーヘルスケア・ヘルスプロモーション・健康日本21）	1回目に続いて、保健医療福祉行政の根拠と、公衆衛生、保健医療福祉行政の役割を学ぶ。具体的には、健康格差の是正に向けたWHOおよび日本の保健医療福祉行政の取り組みについて概観する。 （予習）教科書P.10～16を読む。（復習）WHOと日本の取り組みについてノートにまとめる。	宮川　公子
3	公衆衛生政策の基盤形成 （イギリスの公衆衛生・日本の戦前戦後の公衆衛生）	保健医療福祉制度の変遷について、3回に分けて学ぶ。具体的には、イギリスの近代公衆衛生の始まりから日本の施策の変遷までの歴史を通して、公衆衛生の本質を講義形式で学ぶ。また、日本の近代公衆衛生の歴史について、現在につながる制度について学ぶ。 （予習）教科書P.18～30を読む。（復習）講義内容をノートにまとめる。	宮川　公子
4	日本の保健医療福祉施策の変遷 （地域保健・健康日本21　健やか親子21・歯科保健高齢者保健）	保健医療福祉制度の変遷について、3回目に続き、昭和50年以降から現在までの日本の法律や制度を少子高齢化と関連付けて講義形式で学ぶ。 （予習）教科書P.31～41を読む。（復習）講義内容をノートにまとめる。	宮川　公子

5	日本の保健医療福祉施策の変遷 （がん対策・精神障害者保健・自殺対策・感染症対策・災害時医療・難病対策）	保健医療福祉制度の変遷について、4回目に続き講義形式で学ぶ。具体的には、がん対策、障害者保健対策、自殺対策、感染症対策、災害時保健対策、難病対策について現代につながる法律や制度を学ぶ。 （予習）教科書P.42～52を読む。（復習）講義内容をノートにまとめる。	宮川　公子
6	国、都道府県、市町村の行政と保健師 （行政・地方自治・保健師）	国、都道府県、市区町村の行政と財政の仕組みについて2回に分けて学ぶ。具体的には、行政の定義、国と地方の役割分担を踏まえて、一般公衆衛生行政、労働衛生行政、環境衛生行政、学校保健行政の仕組みと法令・制度を講義形式で学ぶ。また、保健師の配置や活動体制や基本的な方向性を講義形式で学ぶ。 （予習）教科書P.54～73を読む。（復習）講義内容をノートにまとめる。	宮川　公子
7	保健医療福祉の財政と公衆衛生の国際的活動 （財政・予算編成・国際協力）	国、都道府県、市区町村の行政と財政の仕組みについて6回目に続き学ぶ。具体的には、国と地方公共団体の財政の仕組みと予算編成と給付の仕組みについて講義形式で学ぶ。また、保健医療分野の主な国際協力について活動を学ぶ。 （予習）教科書P.74～86を読む。（復習）講義内容をノートにまとめる。また、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄで講義内容に関するトピックスを検索し、理解を深める。	宮川　公子
8	社会保障制度の理念と仕組みと医療体制 （社会保障・医療保険制度・社会保障制度改革）	社会保障制度（社会保障制度の理念と仕組み、医療提供体制、介護保険制度、社会保障・社会福祉の制度）について3回に分けて学ぶ。1回目は、社会保障の目的、制度体系、医療提供体制の概要や医療計画、医療保障などについて講義形式で学ぶ。 （予習）教科書P.88～113を読む。（復習）講義内容をノートにまとめる。また、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄで講義内容に関するﾄﾋﾟｯｸｽを検索し、理解を深める。	宮川　公子
9	介護保険制度と社会福祉の制度 （介護保険・地域包括支援センター・年金保険・雇用保険・公的扶助・高齢者福祉・障害者福祉）	8回目に続き社会保障制度について学ぶ。具体的には、介護保険制度、地域包括支援センターの役割、介護保険事業における保健師の役割について学ぶ。 （予習）P.114～125を読む。（復習）講義内容をノートにまとめる。また、インターネットで講義内容に関するトピックスを検索し、理解を深める。	宮川　公子
10	社会保障・社会福祉の制度 （年金保険・雇用保険・公的扶助・高齢者福祉・障害者福祉）	9回目に続き、社会保障と社会福祉の制度について学ぶ。具体的には、年金保険、公的扶助、児童福祉、高齢者福祉、障害者福祉、成年後見制度について理解する。 （予習）P.126～148を読む。（復習）講義内容をノートにまとめる。またインターネットで講義内容に関するトピックスを検索し、理解を深める。	宮川　公子
11	地域保健の体系 （都道府県・市町村・政令指定都市・役割分担）	地域保健に関する公的機関と地方公共団体の保健医療福祉計画について、2回に分けて学ぶ。具体的には、都道府県と市町村の地域保健体系の役割分担と連携について講義形式で学ぶ。また、県型保健所、市型保健所、市町村保健センターの業務について講義形式で学ぶ。 （予習）教科書P.150～168を読む。（復習）講義内容をノートにまとめる。	宮川　公子
12	地域保健の体系 （地域・職域連携）	11回目に続き、地域保健に関する公的機関と地方公共団体の保健医療福祉計画について学ぶ。具体的には、地域・職域連携、学校保健との連携、NPO/ボランティアとの連携について講義形式で学習する。また、インターネットを使用し、新潟県、長岡市の地域保健体系を調べ、まとめる。 （予習）教科書P.169～173を読む。（復習）講義内容をノートにまとめる。	宮川　公子
13	地方公共団体の保健医療福祉計画 （市町村総合計画・保健医療福祉計画）	保健計画の策定プロセスと計画推進と評価について2回に分けて学ぶ。具体的には、地方公共団体の保健医療医福祉計画が基本構想を軸として計画策定されることを理解し、現在までの大まかな変遷や対象別保健福祉計画について講義形式で学ぶ。 （予習）教科書P.176～185を読む。（復習）講義内容をノートにまとめる。	宮川　公子
14	地方公共団体の保健医療福祉計画 （策定・コンセンサス・ニーズ・住民の参画・エンパワメント）	13回目に続き、保健計画の策定プロセスと計画推進と評価について学ぶ。具体的には、保健計画策定の各段階のポイントや住民参画の意義、エンパワメントについて講義形式で学ぶ。 （予習）教科書P.186～209を読む。（復習）講義内容をノートにまとめる。	宮川　公子
15	保健医療福祉行政に関する統計図・表	「国民衛生の動向」に記載されている統計表・図の読み方について学ぶ。教科書の内容と密接に関係する統計資料を、実際の数値やグラフで理解し、教科書の内容を納得のあるものにする。	宮川　公子

学科	看護学科					ID	2702
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門科目						
授業科目の区分３	看護の基本						
科目名	基礎看護技術演習Ⅱ				授業科目番号	2311040	
担当者氏名	倉島　幸子	大橋　洋子	大﨑　美奈子		実務経験のある教員等による授業科目	○	
授業方法	演習	単位	2単位		時間	60	
必選	必修	開講年次	1年		開講期	後期	
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度						
	○ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力						
	○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力						

授業の概要　（全角392文字）

健康障害のある人への看護技術を学ぶ。感染予防、病床環境の調整、体位と移動、栄養と食事、排泄、衣生活、身体の清潔について具体的に学ぶ。食事の援助では、経鼻カテーテル法、高カロリー輸液について、排泄では浣腸、ストーマケア、導尿を含めて学習する。演習を通して、看護技術について、人間の尊厳と関連して捉えられるように授業を進める。

授業の到達目標　（全角224文字）

1．健康障害のある人に対する看護基本技術（環境調整・感染予防・体位と移動・食事・排泄・清潔と衣生活）を習得できる。
2．科学的根拠に基づき安全・安楽に看護技術を提供する方法を習得できる。　3．看護技術を身につけるために必要な態度・学習方法を自ら考えて行動できる。　4．実施した看護技術を振り返り、安全性、有効性の視点からよりよい方法を探究することができる。

評価の方法　（全角112文字）

定期試験60%、技術試験20%、提出記録物20%

テキスト　（全角168文字）

『ナーシング・グラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術』（志自岐康子編　メディカ出版　2017年）
『写真でわかる基礎看護技術　アドバンス』（吉田みつ子、本庄恵子監修　インターメディカ　2020年）

参考図書　（全角112文字）

履修上の留意点　（全角168文字）

・予習として授業計画に対応するテキストのページを熟読し理解しておくこと。理解できない箇所は授業中に確認し明確に理解できるようにする。復習としてテキスト、講義資料、参考書を用い学習内容を整理し確実な知識にする。
・実践可能な技術を修得するために時間外に技術の自主練習を計画的に行う。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	看護実践のための技術 感染予防の技術	・科目ガイダンス（授業計画と評価） ・看護実践のための技術とは何か、健康障害による日常生活行動への影響と必要な援助技術　看護技術の科学的根拠 ・感染予防の基礎知識　　感染経路別予防策、洗浄・消毒・滅菌、感染性廃棄物の取り扱い （復習）看護技術の目的・特徴、根拠に基づいた援助技術とは何か	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
2	感染予防のための技術演習	［演習］ ・手指衛生（日常的手洗い、衛生学的手洗い、手指消毒） ・個人防護策（マスク、エプロンの着脱、手袋の着脱）、滅菌物の取り扱い （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
3	効率的で安楽な動きを作り出す技術	・安楽な体位とは、体位の種類と身体への影響、体位変換、ポジショニング　　・安全対策 ［演習］体位変換：仰臥位→側臥位、側臥位→ファウーラー位、仰臥位→端座位　　仰臥位からの水平移動、上下移動 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
4	活動・運動の援助技術	・活動・運動の意義、生理的メカニズム、体位変化とバイタルサイン、同一体位と血圧 ［演習］車椅子への移乗と移送、ストレッチャーによる移送、歩行補助具の使い方 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子

5	衣生活を援助する技術 身体の清潔を援助する技術	・衣服を用いることの意義、熱産生と熱放散、被服気候 ・看護における清潔の意義、皮膚・粘膜の生理的メカニズム、清潔を保つケア（入浴、部分浴、清拭、洗髪、陰部洗浄、口腔ケア） ［演習］清拭 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
6	身体の清潔を援助する技術	［演習］寝衣交換、足浴 ［演習］陰部洗浄 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
7	身体の清潔を援助する技術	［演習］清拭 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
8	身体の清潔を援助する技術	［演習］洗髪 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
9	食事・栄養摂取を促す技術	・食事・栄養の意義、食事に関する生理学的メカニズム、栄養状態、体液・電解質バランスの査定、経管栄養法・高カロリー輸液 ［演習］口腔ケア （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
10	食事・栄養摂取を促す技術	［演習］食事の援助 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
11	食事・栄養摂取を促す技術	［演習］食事の援助、シミュレーション演習 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
12	排泄を促す援助技術	・排泄の意義、排尿・排便の生理的メカニズム、排尿・排便障害の種類、自然排尿排便の援助 ［演習］尿器・便器の使い方、おむつ交換 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
13	排泄を促す援助技術	［演習］導尿 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
14	排泄を促す援助技術	［演習］浣腸、摘便 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
15	指圧・マッサージ ストーマ造設患者のケア	［講義/演習］ 指圧・マッサージ ［講義/演習］ ストーマ造設患者のケア、ストーマのパウチ交換 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子

学科	看護学科					ID	2712
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門科目						
授業科目の区分３	地域社会と看護						
科目名	公衆衛生看護学概論				授業科目番号	2313060	
担当者氏名	飯吉　令枝	平澤　則子	小山　歌子		実務経験のある教員等による授業科目	○	
授業方法	講義	単位	2単位		時間	30	
必選	選択	開講年次	1年		開講期	後期	

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 3-2 多職種と連携・協働する力
	◎ 3-3 保健医療福祉制度と看護の役割
	○ 5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力

授業の概要　（全角392文字）

本人・家族や集団、組織を含む地域を基盤とした看護活動の考え方、公的ヘルスケアサービスの中で機能する看護のあり方を学ぶ。また、予防的介入を基盤とした公衆衛生看護活動を具体的に学び、人々の健康に貢献するために看護がどのように機能することが求められているかを考える。
（飯吉令枝/5回）導入の講義を行う。
（小山歌子/5回）公的ヘルスケアサービスに関する講義を行う。
（平澤則子/5回）具体的な公衆衛生看護活動についての講義を行う。

授業の到達目標　（全角224文字）

1. 公衆衛生看護の理念と基盤となる概念を説明できる。
2. 公衆衛生看護の対象・場と健康課題について説明できる。
3. 公衆衛生看護活動について地域診断、計画策定から施策化、評価まで説明できる。
4. 公衆衛生看護が公的ヘルスサービスの中でどのように機能するのかを考察できる。

評価の方法　（全角112文字）

定期試験90%(期末試験として、目標到達度を最終的に評価する)、学習態度10%（毎回のコメントシート、グループワークの参加状況をもとに評価する）

テキスト　（全角168文字）

『最新　公衆衛生看護学　第3版　2020年版　総論』（宮﨑美砂子、北山三津子　他著　日本看護協会出版会　2020年）

参考図書　（全角112文字）

適宜、ハンドアウトを配布する。　適宜、参考文献を紹介する。

履修上の留意点　（全角168文字）

自分の日常生活を通して、地域にどんな人々が暮らしているのか、どんな健康問題があるのか、それらの健康問題がどのように解決されているのかについて関心を持ちながら主体的に参加されることを期待します。

備考　（全角56文字）

保健師教育課程必修科目　　保健師だけでなく、看護師を目指す学生も選択を推奨します。

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	公衆衛生と公衆衛生看護の理念 （公衆衛生看護の定義・活動目標）	ガイダンス 公衆衛生と公衆衛生看護の理念を学ぶ。 （予習）地域包括ケア論で学習した内容を復習しておく。 （復習）公衆衛生看護の定義・活動目標を整理する。 （課題）公衆衛生看護の基盤となる概念（1つ）について調べる。	飯吉　令枝
2	公衆衛生看護の歴史的背景 （保健師活動の歴史・保健師免許制度）	公衆衛生看護の歴史と保健福祉制度における保健師の位置づけを学ぶ。 （予習）保健医療福祉行政論のテキストで、日本の保健医療福祉施策の変遷について調べる。 （復習）保健師活動と社会の要請や住民の生活実態の変化と結びつけて整理する。	飯吉　令枝
3	公衆衛生看護の基盤となる概念 （プライマリーヘルスケア・ヘルスプロモーション・アドボカシー・エンパワーメント・ノーマライゼーション）	公衆衛生看護の基盤となる概念について各自が課題を持ち寄り、グループ討議・発表を行う。 （予習）公衆衛生看護の基盤となる概念（1つ）について、グループでまとめる。 （復習）自分が調べた概念以外について、資料をもとに理解を深める。	飯吉　令枝
4	公衆衛生看護の対象① （ライフステージ・個人・家族・集団・組織）	ライフステージ、健康レベル、地域特性に応じた公衆衛生看護活動について学ぶ。さらに個人、家族、集団、組織の特性を学ぶ。 （予習）自分の住んでいる市町村の保健センター、保健所がどこにあるか、市町村の広報の保健に関する情報にはどのようなものがあるか調べる。 （復習）公衆衛生看護のさまざまな対象とその特徴について整理する。	飯吉　令枝

5	公衆衛生看護の対象② （地区活動・対象集団）	地区活動の基本と対象のとらえ方を学ぶ。 （予習）テキストp108～111を読む。 （復習）テキストp111～121を読む。	飯吉　令枝
6	ヘルスケアシステム （衛生行政、医療提供体制、社会福祉行政）	ヘルスケアシステムの基盤となる保健医療福祉行政を理解する。 （予習）教科書p74～91を読む。 （復習）衛生行政、医療提供体制、社会福祉行政を整理する。 （課題）公衆衛生看護の場とそれぞれの場で活動する保健師の実際活動（1つ）について調べる。	小山　歌子
7	公衆衛生看護の場① （公衆衛生看護の場、保健師活動）	公衆衛生看護の場とそれぞれの場で活動する保健師の実際活動について、各自が課題を持ち寄り、グループ討議・発表を行う。 （復習）自分が調べた公衆衛生看護の場と保健師の実際活動以外について、整理し理解を深める。	小山　歌子
8	公衆衛生看護の場② （保健所、市町村）	保健所、市町村保健分野における保健師活動の特徴を講義資料やDVD視聴により理解する。 （予習）教科書p94～97を読む。 （復習）講義資料やDVD視聴内容を整理し理解を深める。	小山　歌子
9	公衆衛生看護の場③ （事業所、学校、地域包括支援センター）	事業所、学校、地域包括支援センターにおける看護職（保健師）の活動の特徴を講義資料やDVD視聴により理解する。 （予習）地域包括支援センターの看護職（保健師）の実際活動に関する事前配布資料を読む。 （復習）講義資料やDVD視聴内容を整理し理解を深める。	小山　歌子
10	公衆衛生看護活動の実際 （ヘルスプロモーション、予防的視点、多職種連携、住民との協働）	行政保健師の活動報告を聞き、保健師活動について理解を深める。 （予習）6回から9回までの復習をする。 （復習）活動報告の内容を整理し理解を深める。	小山　歌子
11	保健指導に関する理論 （セルフケア不足理論　ヘルスリティラシー理論）	公衆衛生看護活動の基盤となる保健指導の考え方を理解する。 （予習）自分の食生活の問題を1つ取り上げ、理論を活用して問題の構造を考えてくる。 （復習）保健指導の考え方を理解する。 （課題）理論を活用して、自分の食生活の問題を解決する方法を考える。	平澤　則子
12	公衆衛生看護の倫理 （看護者の倫理綱領　公衆衛生の倫理　法と制度　公衆衛生看護の実践における課題　4ステップモデル）	公衆衛生看護活動の基盤となる倫理と倫理的実践における原則を理解する。 （予習）配布資料により看護者の倫理綱領について学習する。 （復習）テキスト事例１の倫理的課題について4ステップモデルを活用して解決策を考える。	平澤　則子
13	公衆衛生看護の活動方法 （家庭訪問　健康相談　地区組織活動）	公衆衛生看護の方法としての家庭訪問、健康相談、健康教育、地区組織活動を理解する。 （予習）自分の住んでいる市町村の保健センター、保健所が行っている家庭訪問や健康相談などの活動を調べる。 （復習）保健指導としての家庭訪問と健康相談の違いを整理する。	平澤　則子
14	公衆衛生看護の展開方法 （地区診断　地区活動計画）	公衆衛生看護の展開方法としての地区診断と地区活動計画を理解する。 （予習）自分の住んでいる市町村における子どもと家族のQOL向上をめざした施策を調べる。 （復習）配布資料により健康課題と地区活動計画を考える。	平澤　則子
15	公衆衛生看護の活動方法 （地域ケアシステム　健康な地域づくり　施策化）	地域ケアシステムづくり、健康な地域づくりと施策化について理解する。 （予習）住民の声を起点とした地区活動計画を立案する。 （復習）本人・家族や集団、組織を含む地域を基盤とした看護活動の考え方、公的ヘルスケアサービスの中で機能する看護について整理する。	平澤　則子

学科	看護学科					ID	2472
授業科目の区分１	基礎教育科目						
授業科目の区分２	基礎教育科目						
授業科目の区分３	社会力養成						
科目名	キャリアデザインⅡ					授業科目番号	1104020
担当者氏名	田邊　要補					実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義		単位	1単位		時間	15
必選	選択		開講年次	2年		開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 1-1 幅広い教養と多様性を理解する力 ○ 3-3 保健医療福祉制度と看護の役割 ◎ 4-1 看護学を探究する意欲						

授業の概要　（全角392文字）

看護職として自律的に自分のキャリアを選択し自分の働き甲斐、生き甲斐を自ら見つけていけるようなキャリア形成支援を目的とする。様々な看護の仕事の場やそれぞれの特徴を理解する。それぞれの場で活躍している看護職を講師として、シリーズで講義を行う。具体的には、臨床の場、在宅の場、地域の場、福祉の場、行政の場、教育の場、その他出版社などの場で活躍する看護職から、それぞれの仕事の特徴、やり甲斐などの具体的なことの講義を受ける。さらに、講義を通して、職業人として必要なマナーに関する基礎的な知識も習得する。

授業の到達目標　（全角224文字）

1. その人の歩んできた道について思いをはせ、表現することができる。
2. 様々な看護の場やそれぞれの特徴を説明することができる。
3. 専門職業人として必要な要素を説明することができる。
4. 看護の道を歩んでいく上での、いろいろな可能性について具体的に述べることができる。

評価の方法　（全角112文字）

レポート 35%、グループワーク 20%、毎回のコメントシート 35%、授業参加度 10%

テキスト　（全角168文字）

特に指定しない。

参考図書　（全角112文字）

特に指定しない。

履修上の留意点　（全角168文字）

キャリアデザインⅡは、1年次のキャリアデザインⅠから4年次のキャリアデザインⅢへと続く中間にあたる科目である。看護職としてのキャリア形成のためにも、連続して受講することが望ましい。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	看護職を通しての様々な道 大学教員	看護職を通しての様々な道があることを理解する。 教育の場である、大学教員および大学教員としての役割りを理解する。 （予習）自分のなりたい看護職について調べてくる。 （復習）授業中に学んだ内容を整理する。	田邊　要補
2	臨床の場	臨床の場である、病院および病院の看護部長としての役割りを理解する。 看護部長として、仕事上心がけていることを理解する。 （予習）病院および看護部長の役割りについて各自で調べてくる。 （復習）授業中に学んだ内容を整理する。	田邊　要補
3	行政の場	行政の場である、保健所および保健所の保健師としての役割りを理解する。 保健師として、仕事上心がけていることを理解する。 （予習）保健所および保健師の役割りについて各自で調べてくる。 （復習）授業中に学んだ内容を整理する。	田邊　要補
4	開業助産師	助産師、開業助産師および開業助産師としての役割りを理解する。 開業助産師として、仕事上心がけていることを理解する。 （予習）助産師、開業助産師および開業助産師の役割りについて各自で調べてくる。 （復習）授業中に学んだ内容を整理する。	田邊　要補

5	養護教諭	教育の場である、養護教諭および養護教諭としての役割りを理解する。 養護教諭として、仕事上心がけていることを理解する。 （予習）養護教諭および養護教諭の役割りについて各自で調べてくる。 （復習）授業中に学んだ内容を整理する。	田邊　要補
6	在宅の場	在宅の場である、訪問看護ステーションおよび訪問看護ステーションの管理者としての役割りを理解する。 訪問看護師として、仕事上心がけていることを理解する。 （予習）訪問看護ステーションおよび訪問看護師の役割りについて各自で調べてくる。 （復習）授業中に学んだ内容を整理する。	田邊　要補
7	施設の場	施設の場のひとつである、重症心身障害児施設および重症心身障害児施設の看護係長としての役割りを理解する。 看護係長として、仕事上心がけていることを理解する。 （予習）重症心身障害児施設および重症心身障害児施設の看護師の役割りについて各自で調べてくる。 （復習）授業中に学んだ内容を整理する。	田邊　要補
8	専門職業人に必要な要素	専門職業人として、どういうことを身に付けておかなければならないのかについて理解する。 （予習）第1回から第7回までの講義内容を振り返る。 （復習）話し合った内容を振り返り、自分なりに専門職業人として必要な要素をまとめる。	田邊　要補

学科	看護学科					ID	2832
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門基礎科目						
授業科目の区分３	人体の構造と機能						
科目名	感染免疫学					授業科目番号	2209010
担当者氏名	笠井　大輔						
授業方法	講義		単位	2単位	時間		30
必選	必修		開講年次	2年	開講期		前期

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	
	◎ 2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度
	○ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力
	○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力

授業の概要　（全角392文字）

微生物が引き起こす感染症発症のメカニズム、症状、伝播、生体防御機構について理解する。また、人間の防御機能の障害が起こす現象や、感染症と人間社会の関係、感染予防対策などを理解する。各論においては、細菌、真菌、原虫・寄生虫学、ウイルス等の形態、病原性、疫学、臨床症状、治療及び予防対策について学ぶ。

授業の到達目標　（全角224文字）

１）微生物の種類と性質について説明できる。２）感染に対する生態の防御機構、予防について説明できる。３）感染症の検査、診断、治療について説明できる。４）感染症の現状と対策について説明できる。５）主な病原微生物とその感染症について説明できる。

評価の方法　（全角112文字）

授業態度10%、授業中の発言、態度をもとに評価する。
筆記試験90%

テキスト　（全角168文字）

系統看護学講座　専門基礎　疾病のなりたちと回復の促進４　微生物学　南嶋洋一他　医学書院

参考図書　（全角112文字）

練成ゼミ　看護学生用教科書研究　微生物学　監修：看護師国試対策委員会　メディカルレビュー社

履修上の留意点　（全角168文字）

感染症に対する正しい対応を理解するために、微生物の種類や特性、生理学的性質に関する知識を習得する。さらに感染に対する生態の防御機構や治療に関する理解を深めることを希望する。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	微生物の種類と特徴	テキストの第１章を中心に微生物の種類や特徴、近代微生物学に関する理解を深める。 （予習）テキストP4～P11を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
2	細菌の性質	テキストの第２章を中心に細菌の特徴や生理学的諸性質に関する理解を深める。 （予習）テキストP14～P39を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
3	真菌の性質	テキストの第３章を中心に真菌の形態や特徴、生理学的諸性質に関する理解を深める。 （予習）テキストP40～P49を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
4	原虫・ウイルスの性質	テキストの第４章並びに第５章を中心に原虫の基本構造やウイルスの特徴、性質に関する理解を深める。 （予習）テキストP50～P69を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔

5	感染と感染症、感染の機構	テキストの第６章を中心に感染の機構についての理解を深める。 （予習）テキストP70～P95を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
6	感染に対する生態防御機構、自然免疫と獲得免疫のしくみ	テキストの第７章を中心に感染に対する生態防御機構、特に自然免疫と獲得免疫のしくみについて理解を深める。 （予習）テキストP96～P110を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
7	感染に対する生態防御機構、粘膜免疫のしくみと感染の徴候と症状	テキストの第７章を中心に感染に対する生態防御機構、特に抗原特異的免疫やワクチン接種、粘膜免疫、感染の徴候と症状に関する理解を深める。 （予習）テキストP112～P133を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
8	感染源・感染経路	テキストの第８章を中心に感染源や感染経路に関する理解を深める。 （予習）テキストP134～P143を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
9	滅菌と消毒	テキストの第９章を中心に感染症予防のための滅菌や消毒に関する理解を深める。 （予習）テキストP144～P149を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
10	感染症の検査・診断・治療	テキストの第10章を中心に病原体の検出や生体反応からの診断に関する各種手法についての理解を深める。 （予習）テキストP156～P169を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
11	感染症の治療、感染症の現状と対策	テキストの第11章と第12章を中心に感染症の治療、感染症の現状と対策に関する理解を深める。 （予習）テキストP170～P217を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
12	病原細菌と細菌感染症	テキストの第13章を中心に病原細菌と細菌感染症に関する主要な点を学び、それらの特徴を理解する。 （予習）テキスト第13章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
13	病原真菌と真菌感染症 病原原虫と原虫感染症	テキストの第14章と第15章を中心に病原真菌や病原原虫に関する特徴と、それらによる感染症の症状に関して主要な点を学ぶ。 （予習）テキスト第14章と第15章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
14	病原ウイルスとウイルス感染症	テキストの第16章を中心に病原ウイルスとウイルス感染症に関する主要な点を学び、それらの特徴を理解する。 （予習）テキスト第16章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
15	まとめ	授業全体について振り返り、内容をまとめる。	笠井　大輔

学科	看護学科					ID	2842
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門基礎科目						
授業科目の区分３	疾病の成り立ちと回復の促進						
科目名	薬理学				授業科目番号	2209080	
担当者氏名	佐合　絵里				実務経験のある教員等による授業科目	○	
授業方法	講義	単位	1単位		時間	15	
必選	必修	開講年次	2年		開講期	前期	
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度						
	○ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力						
	○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力						

授業の概要　（全角392文字）

薬理に関する基礎的な知識を習得するとともに、基本的な薬物について臨床での活用と関連させて学ぶ。総論として、薬物療法の目的、薬理作用、薬物動態、中毒などを学び、各論として医薬品を系統別に分け、疾病の病態と合わせて治療薬の作用機序、使用方法、副作用相互作用、看護上の留意点について学ぶ。

授業の到達目標　（全角224文字）

薬物の体内動態を知り、主な疾患の代表的な薬剤の作用、副作用を理解する。薬剤の有害事象と適正使用が分かる。

評価の方法　（全角112文字）

定期試験90%　学習態度10%

テキスト　（全角168文字）

系統看護学講座　疾病のなりたちと回復の促進〔3〕薬理学(第14版)　　吉岡充弘ら共著　医学書院　2530円
今日の治療薬2020　浦部晶夫/島田和幸/川合眞一編集　南江堂

参考図書　（全角112文字）

履修上の留意点　（全角168文字）

解剖生理学・生化学が基礎となります。これらの授業、教科書等を参考にしてください。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード)（全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）（全角198文字）	担当教員（全角30文字）
1	薬理学総論(薬が効くしくみ・薬の分類)	テキスト第1章　薬物による病気の治療　第2章　薬が作用するしくみ・薬の体内挙動・薬物相互作用・薬物使用の有益性と危険性・薬と法律	佐合　絵里
2	循環器系に作用する薬物（循環器の疾患・薬の作用と副作用）	テキスト第９章　降圧薬・心不全治療薬・利尿薬・脂質異常症治療薬・血液凝固系、線溶系に作用する薬物	佐合　絵里
3	呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物（各疾患と薬が効くしくみ）	テキスト第１０章　呼吸器系に作用する薬物・消化器系に作用する薬物	佐合　絵里
4	抗感染症薬（菌を殺す薬のしくみ・適正使用）	テキスト第３章　感染症治療に関する基礎知識・抗菌薬・感染症の治療における問題点	佐合　絵里

5	抗アレルギー薬・抗炎症薬（アレルギー、炎症のメカニズム・薬が効くしくみ）	テキスト第6章　抗ヒスタミン薬と抗アレルギー薬・炎症と抗炎症薬・関節リウマチ治療薬・痛風、高尿酸血症治療薬	佐合　絵里
6	抗がん薬（がんに問する薬の作用のしくみ）	テキスト第4章　がん治療に関する基礎知識・抗がん剤薬各論	佐合　絵里
7	中枢神経系作用する薬物（中枢神経系疾患・薬が効くしくみ）	テキスト第８章　中枢神経系のはたらきと薬物・催眠薬、抗不安薬・抗精神病薬・抗うつ薬、気分安定薬・麻薬性鎮痛薬	佐合　絵里
8	まとめ(患者と薬の関わり・高齢者の薬の効き方)	資料プリントを使用　多職種チームによる服薬指導の重要性・高齢者とポリファーマシーの関係	佐合　絵里

学科	看護学科					ID	2852
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門基礎科目						
授業科目の区分３	疾病の成り立ちと回復の促進						
科目名	疾病治療論Ⅰ（循環器）				授業科目番号	2209020	
担当者氏名	伊藤　正洋				実務経験のある教員等による授業科目	○	
授業方法	講義	単位	1単位		時間	15	
必選	必修	開講年次	2年		開講期	前期	
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度						
	○ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力						
	○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力						

授業の概要　（全角392文字）

人間の健康を傷害する主な疾患を系統的に取り上げ、病因・病態・診断法・治療法、予後について学習し、看護実践に結び付けるための基礎知識とする。
ここでは、循環器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。具体的には、心不全・虚血性疾患、高血圧、不整脈、弁膜症、心筋・心膜疾患、先天性疾患、挫滅症候群などである。治療方法として、薬物療法および手術療法を含む治療例について学ぶ。

授業の到達目標　（全角224文字）

循環器疾患に関する病態、検査、診断、治療法を正しく理解し、述べることができる。
循環器疾患に関する最新の正しい情報を、医療関係者ではない人も理解できるように説明することができる。
将来医療関係者となる時のために、疾患に関する疑問点を自ら調べる方法、考える習慣を身につけ、実践することができる。

評価の方法　（全角112文字）

定期試験60%、授業時間内に実施する小テスト30%、学習態度10%　授業中の発言、態度をもとに評価する。

テキスト　（全角168文字）

スライド等を使用する。

参考図書　（全角112文字）

系統看護学講座　循環器　成人看護学3、吉田俊子　他、医学書院、2019年
病気がみえる　循環器、永井利幸　他、Medic Media、2017年

履修上の留意点　（全角168文字）

予習をして講義に臨むことが望ましい。復習を行い、疑問点、問題点を早期に解決しながら受講していくことが望ましい。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	循環器総論、検査総論（心臓、大血管、心電図、胸部X線、心エコー、心不全）	ガイダンス。循環器の解剖、生理、主要症候を理解する。心不全について理解する。循環器の基本的検査を理解する。 （予習）循環器系（心臓、大血管）の構造と機能に関して、1年時学習内容の確認をする。	伊藤　正洋
2	虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症、急性冠症候群）	心筋梗塞、狭心症などの虚血性心疾患の病態、診断法、治療法を理解する。 （予習）虚血性心疾患について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤　正洋
3	不整脈（徐脈性不整脈、頻脈性不整脈）	基本的な不整脈を病態、診断法、治療法を理解する。 基本的な不整脈のモニター心電図を読むことができる。 （予習）心電図の基本と不整脈について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤　正洋
4	心臓弁膜症、感染性心内膜炎、心臓腫瘍（大動脈弁疾患、僧帽弁疾患、感染性心内膜炎、心臓粘液腫）	心臓弁膜症、感染性心内膜炎、心臓腫瘍の病態、診断法、治療法を理解する。 （予習）心臓弁膜症、感染性心内膜炎、心臓腫瘍について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤　正洋

5	心筋疾患、心膜疾患（拡張型心筋症、肥大型心筋症、心外膜炎、心タンポナーデ）	心筋症、心膜疾患の病態、診断法、治療法を理解する。 （予習）心筋症、心膜疾患について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤　正洋
6	大動脈疾患、末梢動脈疾患、静脈・リンパ管疾患（大動脈瘤、大動脈解離、閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤、深部静脈血栓症）	大動脈疾患、末梢動脈疾患、静脈・リンパ管疾患の病態、診断法、治療法を理解する。 （予習）大動脈疾患、末梢動脈疾患、静脈・リンパ管疾患について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤　正洋
7	血圧異常、診察法（本態性高血圧、二次性血圧、血圧測定、聴診法）	高血圧の病態、診断法、治療法を理解する。 循環器疾患を意識した身体診察を理解する。 （予習）高血圧、診察法について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤　正洋
8	先天性心疾患（心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、心内膜症欠損症、動脈管開存症）	先天性心疾患の病態、診断法、治療法を理解する。 （予習）先天性心疾患について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤　正洋

学科	看護学科					ID	2862
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門基礎科目						
授業科目の区分３	疾病の成り立ちと回復の促進						
科目名	疾病治療論Ⅱ（呼吸器・消化器）				授業科目番号	2209030	
担当者氏名	佐藤　和弘	富所　隆			実務経験のある教員等による授業科目	○	
授業方法	講義	単位	1単位		時間	15	
必選	必修	開講年次	2年		開講期	前期	
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度						
	○ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力						
	○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力						

授業の概要　（全角392文字）

呼吸器疾患、消化器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。
（佐藤和弘/4回）呼吸不全、呼吸器感染症、肺循環器障害、気胸、腫瘍などについて学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。治療法については、手術療法の例を含む。
（富所隆/4回）消化器疾患の病因から治療までを学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。治療については、手術療法を含む。

授業の到達目標　（全角224文字）

〔呼吸器〕呼吸器の解剖（胸郭、気道、胸腔、肺実質）の理解及び病態生理が理解できる。代表的な呼吸器感染症、結核、びまん性肺疾患、自己免疫疾患、肺腫瘍、肺血栓塞栓症、肺血管異常、気胸を含めた胸膜疾患を習得する。呼吸器疾患の自覚症状と診察の方法及び診断治療手技について習得する。　〔消化器〕消化器系臓器の解剖・生理・病理などの基礎知識を理解し、消化器疾患の原因・症状・検査・治療についての知識を深める。

評価の方法　（全角112文字）

〔呼吸器〕授業時の課題30%、試験70%
〔消化器〕筆記試験100%

テキスト　（全角168文字）

〔呼吸器〕系統看護学講座　専門分野Ⅱ　呼吸器　医学書院　2019年
〔消化器〕系統看護学講座　専門分野Ⅱ　消化器　医学書院　2019年

参考図書　（全角112文字）

〔呼吸器〕福井次矢ら、ハリソン内科学　第五版

履修上の留意点　（全角168文字）

〔呼吸器〕事前に配布資料をお渡しします。テキストとともに予習してください。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード)（全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）（全角198文字）	担当教員（全角30文字）
1	呼吸器の解剖と機能	事前に配布資料をお渡しします。テキストとともに予習してください。レポートを提出していただきます。	佐藤　和弘
2	呼吸器疾患をもつ患者さんの診察、検査、治療手技	事前に配布資料をお渡しします。テキストとともに予習してください。レポートを提出していただきます。	佐藤　和弘
3	呼吸器感染症、びまん性肺疾患、気道疾患	事前に配布資料をお渡しします。テキストとともに予習してください。レポートを提出していただきます。	佐藤　和弘
4	肺血栓塞栓症、胸膜疾患、肺腫瘍	事前に配布資料をお渡しします。テキストとともに予習してください。レポートを提出していただきます。	佐藤　和弘

5	消化器の基礎知識	①消化管の解剖について ②消化・吸収・栄養についての基礎知識 ③内視鏡検査	富所　隆
6	消化管疾患－1	①消化性潰瘍 ②食道疾患（食道がん・逆流性食道炎） ③胃がん	富所　隆
7	消化管疾患－2	①大腸・直腸がん ②炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病） ③その他の大腸疾患	富所　隆
8	肝・担・膵疾患	①肝炎・肝硬変・肝炎ウィルス ②肝がん ③胆石 ④胆管がん・膵がん	富所　隆

学科	看護学科					ID	2872
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門基礎科目						
授業科目の区分３	疾病の成り立ちと回復の促進						
科目名	疾病治療論Ⅲ(内分泌・腎・代謝・婦人科)				授業科目番号	2209040	
担当者氏名	福居　和人	丸山　晋司			実務経験のある教員等による授業科目	○	
授業方法	講義	単位	1単位		時間	15	
必選	必修	開講年次	2年		開講期	前期	
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度						
	○ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力						
	○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力						

授業の概要　（全角392文字）

代謝、内分泌疾患、腎疾患、および産婦人科疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。
（福居和人/4回）間脳・下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、メタボリック・シンドローム、糖尿病などである。
（丸山晋司/4回）生殖器・婦人科疾患および泌尿器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。具体的には、子宮がんを含む女性生殖器疾患、不妊症、性感染症、性分化疾患などである。なお、周産期疾患を含め女性特有の疾患について学ぶ。また、主な腎疾患と腎機能障害に対する透析療法、腎移植などの治療法を学ぶ。

授業の到達目標　（全角224文字）

〔内分泌・代謝〕主な内分泌疾患として甲状腺疾患・副腎疾患、および糖代謝（糖尿病）・脂質代謝・尿酸代謝異常を来す疾患についての概要を理解することができる。各疾患の治療方針がわかる。糖尿病の治療目標を理解し、簡単な療養指導を行うことができる。　〔婦人科・腎〕子宮がんを含む女性生殖器疾患、不妊症、性感染症、性分化異常疾患などについて疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について基礎的な知識を学ぶ。

評価の方法　（全角112文字）

〔内分泌・代謝〕筆記試験（選択問題）100%
〔婦人科・腎〕考査試験による評価100%

テキスト　（全角168文字）

〔内分泌・代謝〕病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌／医療情報科学研究所（Medic Media）2019年　第5版
〔婦人科・腎〕系統看護学講座　専門Ⅱ　女性生殖器

参考図書　（全角112文字）

〔内分泌・代謝〕糖尿病治療ガイド2018-2019　日本糖尿病学会編

履修上の留意点　（全角168文字）

〔内分泌・代謝〕各回内容に応じたプリントを配布し、学習到達目標の達成を確認する。内分泌疾患や代謝異常における疾病治療は長期にわたるうえ、根本的に治癒しないことから、患者心理にも配慮した理解が求められる。
〔婦人科・腎〕膨大な量であるので、実施の臨床でよく見かける疾患を中心に理解を深める。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	女性生殖器の構造と機能　症状とその病態生理	上記テキストに沿って講義する。	丸山　晋司
2	診察・検査と治療・処置　疾患の理解（性分化疾患～腟の疾患）	上記テキストに沿って講義する。	丸山　晋司
3	疾患の理解（子宮の疾患～乳房の疾患）	上記テキストに沿って講義する。	丸山　晋司
4	疾患の理解（機能性疾患）	上記テキストに沿って講義する。	丸山　晋司

5	内分泌疾患の理解 内分泌とは 内分泌臓器について	内分泌と外分泌の違い、体内で相互に機能を調節するための「ホルモン」の働きについて学習する。下垂体・甲状腺・副腎など内分泌臓器の位置・形態について学び、異常を来す疾患の特徴について理解する。	福居　和人
6	内分泌疾患各論 甲状腺疾患の診断治療 副腎疾患の診断治療	甲状腺機能異常および副腎皮質機能異常について、機能低下した場合、機能亢進した場合の具体的な症状と検査、治療方針について学習する。	福居　和人
7	代謝性疾患の理解 糖尿病とは 糖尿病の診断 脂質異常症の診断 高尿酸血症の診断	糖代謝、脂質代謝、尿酸代謝の仕組みを理解する。それぞれ、糖尿病・脂質異常症・高尿酸血症と診断する基準、治療方針がわかる。長期的に発生する合併症を理解できる。	福居　和人
8	代謝性疾患の療養指導 食事指導、 運動指導、 服薬指導、 生活指導の実際	食事療法の意義と目的を理解し、適切な指示カロリーを計算することができる。運動療法の意義を目的を理解し、運動してはいけない場合がわかる。適切な療養を守るために、看護師として必要な役割を理解することができる。	福居　和人

学科	看護学科					ID	2882
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門基礎科目						
授業科目の区分３	健康と社会のシステム						
科目名	公衆衛生学				授業科目番号	2210030	
担当者氏名	宮川　公子				実務経験のある教員等による授業科目	○	
授業方法	講義	単位	1単位		時間	30	
必選	必修	開講年次	2年		開講期	前期	

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力
	○ 5-2 地域社会に貢献する態度

授業の概要　（全角392文字）

集団レベルでの健康増進と疾病の予防について公衆衛生学的な考え方を身につける。人々が関わる社会状況、生活環境、保健医療制度ならびに事業、社会保障および社会福祉など、医学・医療が社会とかかわる領域に幅広くまたがる公衆衛生の概念を理解する。そのうえで、公衆衛生の歴史、現代日本の公衆衛生のシステムと政策などを学ぶ。さらに、公衆衛生活動のあらましを理解するとともに、在宅医療、地域保健、途上国などの現場の活動を学ぶ。

授業の到達目標　（全角224文字）

・公衆衛生の概念と公衆衛生活動に必要な保健統計、疫学の方法を説明できる。　・疾病リスクと疾病予防の考え方、健康管理の活動、健康増進に関連するライフスタイルを説明できる。　・主な疾病の予防対策について説明できる。（感染症、生活習慣病、がん、腎疾患、事故・自殺等）　・環境保健について概要を説明できる。　・学校保健について概要を説明できる。
・産業保健について概要を説明できる。　・国際保健医療の現状について説明できる。

評価の方法　（全角112文字）

授業貢献度10%、筆記試験90%

テキスト　（全角168文字）

シンプル衛生公衆衛生学　2020　南江堂、国民衛生の動向2019-2020

参考図書　（全角112文字）

適宜ハンドアウト配布

履修上の留意点　（全角168文字）

母子保健、高齢者保健、精神保健については各看護学概論で学ぶので、公衆衛生学と統合すること。1年次に学んだ保健医療福祉行政論と知識を統合すること。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	衛生学・公衆衛生学序論 （健康の定義・健康問題・生命倫理）	衛生学、公衆衛生学とはどのような学問かについて、また科目の学習の進め方についてガイダンスする。 公衆衛生の歴史、公衆衛生活動、生命倫理について講義形式で学ぶ。 （予習）テキスト第1章1-1から1-6までを読む。 （復習）WHOの健康の定義についてどのような評価、批判がなされているかを調べる。	宮川　公子
2	健康水準と健康指標 （罹患率・有病率・受療率・粗死亡率・年齢調整死亡率・乳児死亡率・平均余命と平均寿命・死因別死亡率・人口構成・出生率）	集団の健康水準の測定と健康指標、人口統計について学習する。集団の健康の程度を知る健康指標にはどのようなものがあるか、テキストだけでなく、国民衛生の動向を活用し具体的に理解する。 （予習）テキスト第2章2-1から2-2を読む。 （復習）国民衛生の動向を読み、理解する。	宮川　公子
3	疫学の基本 （疫学調査・疾病量・疫学研究）	疫学の基本について講義形式で学習する。疫学とは何か、疫学調査の手順と留意事項、疾病量の把握について講義形式で理解する。また、疫学研究の様々なタイプの特徴、統計学的な因果関係を理解する。 （予習）テキスト第3章を読む。 （復習）講義内容をテキストを読んでよく復習し、完全に理解できるように努める。	宮川　公子
4	疾病の自然史と予防の段階・健康管理 （リスク要因・予防手段・健康管理・集団検診）	疾病予防の段階と予防手段、健康管理活動について、講義形式で学習する。一次予防、二次予防、三次予防のそれぞれの段階に適した予防手段、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチについて学習する。また、健康管理について活動の構成と集団検診のスクリーニングの考え方について学習する。 (予習)テキスト第4章4-1から4-2を読む。(復習)講義内容をまとめる。	宮川　公子

5	健康増進とライフスタイル （食事・運動・活動・休養・余暇・趣味・飲酒・喫煙と健康）	健康増進の取り組みについて、講義形式で学習する。健康増進に関連するライフスタイルと現状を理解し、日本の公衆衛生の取り組みを知る。また、健康日本21の第2次計画についてどうすれば達成できるかについて、考える。 （予習）テキスト第4章4-3から4-4を読む。 （復習）国民衛生の動向も参考に、講義内容をまとめる。	宮川　公子
6	感染症の予防対策 （疫学・予防接種・予防対策）	感染症の予防対策について、講義形式で学習する。感染症の成り立ちを概観し、予防対策について、原則、流行防止の対策、経路対策、宿主への対策等を理解する。さらに、国内の動向と予防接種について理解する。 （予習）テキスト第5章5-1を読む。 （復習）インターネットの国立感染研究所や厚生労働省、WHOなどを検索し動向を調べる。	宮川　公子
7	循環器病の予防対策 （疫学・予防対策）	循環器病の予防対策について、講義形式で学習する。高血圧疾患、心疾患、脳血管疾患についてその特徴と疫学、予防対策を学習する。 （予習）テキスト第5章5-2を読む。 （復習）国民衛生の動向も参考に、講義内容をまとめる。	宮川　公子
8	糖尿病、脂質異常症、痛風、メタボリックシンドロームの予防対策 （疫学・予防対策）	糖尿病、脂質異常症、痛風、メタボリックシンドロームの予防対策について、講義形式で学習する。糖尿病、脂質異常症、痛風、メタボリックシンドロームについてその特徴と疫学、予防対策を学習する。 （予習）テキスト第5章5-3を読む。 （復習）国民衛生の動向も参考に、講義内容をまとめる。	宮川　公子
9	がん、腎疾患、アレルギー疾患、事故、自殺の予防対策 （疫学・予防対策）	がん、腎疾患、アレルギー疾患、事故、自殺の予防対策について、講義形式で学習する。それぞれの疾患や現状の特徴と疫学、予防対策を学習する。 （予習）テキスト第5章5-4から5-7を読む。 （復習）国民衛生の動向も参考に、講義内容をまとめる。	宮川　公子
10	環境保健 （地球環境問題・地球生態系・環境の評価）	私達の生活や健康に影響を与え、疾病の原因ともなりうる環境要因について、3回に分けて講義形式で学習する。1回目は、生活レベルから地球レベルまでの環境を概観し、環境の把握方法と評価方法を理解する。 （予習）テキスト第6章6-1から6-2を読む。 （復習）国民衛生の動向も参考に、講義内容をまとめる。	宮川　公子
11	環境保健 （物理的要因・化学的要因・生物学的要因）	健康と環境、環境対策について講義形式で学習する。2回目は、物理的環境要因、化学的環境要因、生物学的環境要因について学習する。 （予習）テキスト第6章6-3から6-5を読む。 （復習）国民衛生の動向も参考に、講義内容をまとめる。	宮川　公子
12	環境保健 （空気・水・廃棄物・衣食住・公害）	健康と環境、環境対策について講義形式で学習する。3回目は、空気、水、廃棄物、衣食住、公害について学習し、環境の管理の仕方について学習する。 （予習）テキスト第6章6-6から6-11を読む。 （復習）国民衛生の動向も参考に、講義内容をまとめる。	宮川　公子
13	学校保健 （子どもの健康状況・学校保健管理・歯科保健・環境管理・保健教育）	学校の保健対策について、講義形式で学習する。具体的には、子どもの健康状況を知り、学校保健の意義から内容までを理解する。 （予習）テキスト第9章を読む。 （復習）国民衛生の動向も参考に、講義内容をまとめる。	宮川　公子
14	産業保健 （働く人々の健康状況・労働災害・職業病・健康診断・健康増進）	産業の保健対策について、講義形式で学習する。具体的には、働く人々の健康状況、労働災害、職業病、健康診断、健康増進などについて理解する。 （予習）テキスト第10章を読む。 （復習）国民衛生の動向も参考に、講義内容をまとめる。	宮川　公子
15	国際保健 （人種・民族・国・開発途上国・国際協力）	国際保健の現状と日本の国際協力について、講義形式で学習する。国際保健とは何か、開発途上国の健康問題と対策、日本の国際協力について理解する。 （予習）テキスト第13章を読む。 （復習）インターネットを活用して、保健・人口・環境などを扱う機関について調べる。講義内容をまとめる。	宮川　公子

学科	看護学科				ID	2892
授業科目の区分１	専門教育科目					
授業科目の区分２	専門科目					
授業科目の区分３	生涯発達と看護					
科目名	成人看護学概論			授業科目番号	2312010	
担当者氏名	金子　史代			実務経験のある教員等による授業科目	○	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15	
必選	必修	開講年次	2年	開講期	前期	
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力					
	○ 3-2 多職種と連携・協働する力					
	○ 3-3 保健医療福祉制度と看護の役割					

授業の概要　（全角392文字）

成人期にある人々の特性を理解し、援助を展開するために必要な概念や理論について学ぶ。具体的には、成人期の発達課題と特性、セルフケアの主要概念とセルフケア理論、セルフヘルプ、成人学習の特徴、危機理論、ストレスコーピング、エンパワメント、パートナーシップなどについて学ぶ。

授業の到達目標　（全角224文字）

1. 成人期の対象者の心理的・身体的・社会的特徴を理解できる。
2. 成人期の対象者の保健と健康問題を説明できる。
3. 成人期の対象者への看護を説明できる。

評価の方法　（全角112文字）

定期試験60%　・レポート20%；課題は講義の中で提示する　・グループワーク参加態度20%；グループワークの発言、態度で評価する

テキスト　（全角168文字）

『成人看護学　成人看護学概論』（林直子他著　南江堂　2020年）

参考図書　（全角112文字）

看護援助の現象学、高崎絹子、医学書院、1993．心筋梗塞の前後、水上勉、文春文庫、1997．人間　この未知なるもの、アレキシス・カレル（渡部昇一訳）、三笠書房、1981.

履修上の留意点　（全角168文字）

・配布した資料を読んで自分の意見をまとめておく。
・指定したテキストや文献を読んで自分の意見をまとめておく。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	成人期の対象者の特徴（自立、セルフケア、多様な価値観、役割）	ガイダンス 成人期の対象者の特徴を自立、セルフケア、多様な価値観、役割から理解する。 （予習）テキスト；第Ⅰ章　成人とは　を読んでくる。	金子　史代
2	成人期の対象者の発達（ライフサイクルと成人期、発達課題）	成人期の対象者の発達をライフサイクルと成人期、発達課題(エリクソン）から考える。 （予習）ライフサイクルと成人期、発達課題について調べる。 （復習）レポート作成と事例検討のための事例を提示する。テキスト；第Ⅰ章 成人とは をもう一度読んで、事例の理解を深める。	金子　史代
3	成人期の対象者の健康とセルフケア（成人、健康、セルフケア不足理論）	成人期の対象者の健康の特徴、看護の役割をオレムのセルフケア不足理論から理解する。成人とその家族の健康の保持増進におけるセルフケア支援を考える。；レポート作成の説明 （予習）提示した2事例の資料を読んで、成人の健康と健康をめぐる諸活動の特徴を考えてみる。	金子　史代
4	成人期の対象者の生活と健康問題（成人人口、死亡と死因、疾病構造、生活習慣、労働環境）	成人期の対象者の生活と健康問題を成人人口、死亡と死因、疾病構造、生活習慣、労働環境等を通して理解する。 （予習）テキスト；第Ⅲ章　成人期にある人の健康　を読んでくる。	金子　史代

5	成人期の対象者の看護に用いられる理論と概念（ケアリング、ストレス・コーピング、危機理論、自己効力感、成人の学習理論）	成人期の対象者の看護に用いられる理論と概念をケアリング、ストレス・コーピング、危機理論、自己効力感、成人の学習理論から理解する。 （予習）テキスト；第Ⅳ章　成人期にある人を看護するための基本的な考え方　を読んでくる。	金子　史代
6	成人期の対象者へのセルフケア支援（事例を通して考える）;グループワーク	成人とその家族の健康の保持増進におけるセルフケア支援をグループに分かれて検討する；事例検討①。 （予習）自分のレポートを読み返し意見をまとめてくる。 （復習）グループワークの結果からグループの発表資料を作成する。	金子　史代
7	成人期の対象者への健康状態に応じた看護（健康の保持・増進、疾病予防、急性期看護、リハビリテーション看護、慢性的な経過をたどる人への看護）	成人期の対象者の健康状態に応じた看護を健康の保持・増進、疾病予防、急性の状態にある人、回復期にある人、慢性的な経過をたどる人への看護から理解する。 （予習）テキスト；第Ⅴ章　健康状態に応じた看護　を読んでくる。	金子　史代
8	成人期の対象者へのセルフケア支援;グループワークの発表	成人とその家族の健康の保持増進におけるセルフケア支援を各グループの発表を聞いて討議する；事例検討②。 （予習）各グループは発表資料を作成し全員に配布する。各グループの発表資料を読んでくる。	金子　史代

学科	看護学科					ID	2902
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門科目						
授業科目の区分３	生涯発達と看護						
科目名	成人看護援助論Ⅰ					授業科目番号	2312020
担当者氏名	広井　貴子					実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義		単位	2単位		時間	30
必選	必修		開講年次	2年		開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力						
	○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力						
	○ 3-2 多職種と連携・協働する力						

授業の概要　（全角392文字）

成人期にある人を対象とした手術療法と医学的管理、および周手術期看護について学ぶ。手術療法の対象となる疾患の代表的な術式、もたらされる侵襲と術前術後の基本的な医学管理方法についても学ぶ。次いで、急激な身体侵襲から回復安定を必要とする人の看護、生活調整や再構築を必要とする人の看護について事例を通して学ぶ。

授業の到達目標　（全角224文字）

1．急性期看護の概念を理解し、病態と治療などの基礎的知識を応用して、成人期の対象特性を統合させて療養生活を支える援助方法を理解できる。
2．周手術期にある人及び家族に応じた援助方法を理解できる。
3．救急救命処置の基本的技術を実践できる。

評価の方法　（全角112文字）

定期試験60%、レポート20%、小テスト10%、演習参加態度10%

テキスト　（全角168文字）

『成人看護学 急性期看護Ⅰ（改訂第3版）』（林直子、佐藤まゆみ編　南江堂　2019年）
『成人看護学 急性期看護Ⅱ（改訂第3版）』（佐藤まゆみ、林直子編　南江堂　2019年）

参考図書　（全角112文字）

『ナーシンググラフィカ成人看護学②』（吉田澄江 他編　メディカ出版）　『講義から実習へ高齢者と成人の周手術期看護1−3』（竹内登美子編　医歯薬出版）　※他参考書については、講義の過程で随時紹介する。

履修上の留意点　（全角168文字）

授業中に小テストを行いますので、解剖・生理学の予習をしてください。内容は事前に伝えます。
演習を行います。主体的に参加し、チームのメンバーとして協力しておこなってください。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	急性期・急性期看護の概念と特徴 （急性期看護の概念と特徴）	ガイダンス 急性期・急性期看護の概念と特徴について 急性期にある対象と家族の特徴について 急性期にある対象を理解するための理論・概念 （予習）テキストｐ２～５を読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
2	外科的侵襲、および麻酔による身体侵襲と生体反応について （周手術期看護）	周手術期看護にある患者の特徴について 手術前期の看護について 外科的侵襲、および麻酔による身体侵襲と生体反応 （予習）テキストを読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
3	手術・麻酔による生体反応・合併症 （周手術期看護・手術期）	手術・麻酔による生体反応・合併症の発症と予防について 手術中の看護について （予習）テキストを読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
4	手術後合併症 （周手術期看護・手術後期）	手術後合併症について 手術後合併症の予防と援助 早期離床への援助 （予習）テキストを読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子

5	手術後合併症 （周手術期看護・手術後期）	手術後合併症について 手術後合併症の予防と援助 早期離床への援助 （予習）テキストを読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
6	集中治療下での看護 （クリティカルケア）	クリティカルケアを受ける人の治療環境と治療の特徴について （予習）テキストを読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
7	集中治療下での看護 （クリティカルケア）	手術後の創傷管理、疼痛管理、カテーテル・ドレーン管理、モニタリング、観察とアセスメント、ボディイメージの変化について 医療機器の操作を体験する （予習）テキストを読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
8	各手術の看護 （手術を受ける患者の看護）	手術を受ける患者の看護について （消化器手術、循環器系手術、呼吸器系手術、生殖器系手術 運動器系手術、脳神経系手術、内視鏡下手術） （予習）テキストを読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
9	各手術の看護 （手術を受ける患者の看護）	手術を受ける患者の看護について （消化器手術、循環器系手術、呼吸器系手術、生殖器系手術 運動器系手術、脳神経系手術、内視鏡下手術） （予習）テキストを読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
10	救急医療における看護 （プレホスピタルケア）	プレホスピタルケアおよび救急看護 救急患者の特徴とアセスメントについて 救急救命処置の基本的技術を学ぶ （予習）テキストを読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
11	救急医療における看護 （プレホスピタルケア）	プレホスピタルケアおよび救急看護 救急患者の特徴とアセスメントについて 救急救命処置の基本的技術を学ぶ （予習）テキストを読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
12	【演習】一次救命処置 （心肺蘇生）	一次救命処置（気道の確保、人工呼吸、心臓マッサージ、AED、気道異物） 救急救命処置の基本的技術をモデル人形を用いて実践する （予習）テキストを読む （復習）演習を振り返り、自己の課題を明確にする	広井　貴子
13	【演習】一次救命処置 （心肺蘇生）	一次救命処置（気道の確保、人工呼吸、心臓マッサージ、AED、気道異物） 救急救命処置の基本的技術をモデル人形を用いて実践する （予習）テキストを読む （復習）演習を振り返り、自己の課題を明確にする	広井　貴子
14	急性期看護における倫理的課題 チーム医療と看護師の役割 まとめ	事例を通し急性期看護における倫理的課題 急性期におけるチーム医療と看護師の役割について	広井　貴子
15	急性期看護における倫理的課題 チーム医療と看護師の役割 まとめ	事例を通し急性期看護における倫理的課題 急性期におけるチーム医療と看護師の役割について （復習）急性期看護について、考えをまとめておく	広井　貴子

学科	看護学科					ID	2912
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門科目						
授業科目の区分３	生涯発達と看護						
科目名	成人看護援助論Ⅱ					授業科目番号	2312030
担当者氏名	目黒　優子					実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義		単位	2単位		時間	30
必選	必修		開講年次	2年		開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力 ○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力 ○ 3-2 多職種と連携・協働する力						

授業の概要　（全角392文字）

成人期の主要慢性疾患の診断と治療の特徴を理解し、看護上の問題、看護援助について学ぶ。具体的には、慢性疾患の理解と看護上の問題（腎疾患・呼吸器疾患）、地域における生活習慣病の第２次・３次予防（糖尿病・動脈硬化）、慢性疾患患者のセルフケア支援、地域連携クリティカルパスの概要についても学ぶ。

授業の到達目標　（全角224文字）

1. 慢性疾患の特徴および診断・治療の特徴について説明できる。
2. 慢性疾患を有する人の身体的、心理・社会的特徴について説明できる。
3. 慢性疾患の治療を受ける患者の具体的な援助について説明できる。

評価の方法　（全角112文字）

定期試験：80%、演習：10%、事前・事後レポート：10%

テキスト　（全角168文字）

『成人看護学　慢性期看護　病気とともに生活する人を支える』（鈴木久美 他編　南江堂　2019年）

参考図書　（全角112文字）

系統看護学講専門分野Ⅱ 腎・泌尿器　成人看護学⑧，医学書院、系統看護学講専門分野Ⅱ 呼吸器　成人看護学②，医学書院、系統看護学講専門分野Ⅱ 内分泌・代謝　成人看護学⑥，医学書院

履修上の留意点　（全角168文字）

事前学習：各臓器（肺・腎臓・大腸・甲状腺・膵臓）の働きについて指定の書式でまとめ、授業開始時に提出する。
事後学習：各単元で学んだことを自分の言葉で説明できるように思考を整理する。
演習の際には、主体的に実施する。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	慢性疾患の特徴（慢性疾患、地域包括ケアシステム）	慢性疾患の特徴、慢性疾患における治療の特徴および療養環境の特徴について学ぶ。 （予習）テキスト１～26 （復習）慢性疾患の特徴についてまとめる。慢性疾患における施策についてまとめる。地域包括ケアシステムについて、自分の言葉で説明する。	目黒　優子
2	慢性期看護とチーム医療、慢性疾患を有する人の理解（慢性期看護）	慢性疾患を有する人に対する看護の役割およびチーム医療について学ぶ。慢性疾患を有する人の身体的特徴、心理的特徴、生活および社会的特徴について学ぶ。 （予習）テキスト30～37、42～65 （復習）慢性疾患を有する人に、なぜセルフマネジメントの支援が必要なのか、その理由についてまとめる。	目黒　優子
3	治療・療養行動にかかわる主な理論・概念（セルフマネジメント、トランスセオレティカルモデル、アドヒアランス、病みの軌跡モデル）	治療・療養行動にかかわる主な理論・概念について学ぶ。 （予習）テキスト76～81、83～93 （復習）各理論・概念について、自分の言葉で説明できるように整理する。	目黒　優子
4	治療・療養を促進する支援（セルフモニタリング、症状マネジメント、アンドラゴジー）	治療・療養を促進する支援について学ぶ。 （予習）テキスト96～110 （復習）各理論・概念について、自分の言葉で説明できるように整理する。	目黒　優子

5	ＴＢＬ（Team-based-learning:チーム基盤型学習）による演習の進め方、ＳＢＡＲを活用した報告	ＴＢＬ、ＳＢＡＲについて学ぶ。 【講義/演習】チームアクティビテイ、ＳＢＡＲを活用した報告 （予習）わかりやすい報告とはどのようなことか自分の言葉でまとめておく。 （復習）ＳＢＡＲの構成要素について整理する。	目黒　優子
6	呼吸器系の障害を有する人とその家族への援助（慢性閉塞性肺疾患）	慢性閉塞性肺疾患 （予習）テキスト218～227、「肺の機能」についてまとめておく。 （復習）慢性閉塞性肺疾患の呼吸法について整理する。	目黒　優子
7	呼吸器系の障害を有する人へ患者教育が必要なセルフケア技術	呼吸器系の障害を有する人へ患者教育が必要なセルフケア技術について学ぶ。 【講義/演習】呼吸法、吸入療法、ピークフローモニタリング （予習）口すぼめ呼吸 （復習）実施後の学びを整理する。	目黒　優子
8	腎機能系の障害を有する人とその家族への援助（慢性腎臓病、人工透析）	慢性腎臓病、人工透析が必要な患者 （予習）テキスト357～360、「腎臓の機能」についてまとめておく。 （復習）人工透析の適応となる状態を整理する。	目黒　優子
9	腎機能系の障害を有する人へののフィジカルイグザミネーション（内シャント造設、浮腫）	【講義/演習】シャントの管理、両下肢に浮腫のある人へのフィジカルイグザミネーション （予習）「浮腫」の評価の仕方についてまとめておく。 （復習）フィジカルイグザミネーション実施後の学びを整理する。	目黒　優子
10	消化器系の障害を有する人とその家族への援助（潰瘍性大腸炎、クローン病、ステロイド療法）	潰瘍性大腸炎、クローン病 （予習）テキスト315～321　「大腸の機能」についてまとめておく。「ステロイド療法」の作用についてまとめておく。 （復習）生活上の留意点について整理する。	目黒　優子
11	免疫系の障害を有する人とその家族への援助（全身性エリテマトーデス、ステロイド療法）	全身性エリテマトーデス （予習）テキスト160～164、410～412　「免疫系の機能」についてまとめておく。「ステロイド療法」の副作用についてまとめておく。 （復習）ステロイド療法を受ける患者のポイントを整理する。	目黒　優子
12	代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助（甲状腺機能障害）	甲状腺機能亢進症・甲状腺機能低下症 （予習）テキスト350～355、「甲状腺の機能」についてまとめておく。 （復習）生活上の留意点について整理する。	目黒　優子
13	代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助（糖尿病、インスリン療法、自己血糖測定）	2型糖尿病患者の食事療法・運動療法 （予習）テキスト328～332、「膵臓の機能」についてまとめておく。 （復習）2型糖尿病患者の食事・運動療法のポイントを整理する。	目黒　優子
14	代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助（糖尿病、インスリン療法、自己血糖測定）	2型糖尿病患者の薬物療法 （予習）テキスト328～332 （復習）2型糖尿病患者の薬物療法のポイントを整理する。	目黒　優子
15	代謝・内分泌系の障害を有する人へ患者教育が必要なセルフケア技術：自己血糖測定、自己注射（インスリン療法）	【講義/演習】自己血糖測定、インスリン療法、フットケア （予習）テキスト130～134 （復習）自己血糖測定、インスリン療法、フットケアのポイントを整理する。	目黒　優子

学科	看護学科			ID	2922
授業科目の区分１	専門教育科目				
授業科目の区分２	専門科目				
授業科目の区分３	生涯発達と看護				
科目名	老年看護学概論			授業科目番号	2312080
担当者氏名	袖山　悦子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15
必選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度 ◎ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力 ○ 3-2 多職種と連携・協働する力				

授業の概要　（全角392文字）

人生の最終段階にある高齢者の理解と高齢者観を育むことを目的とする。高齢者を、身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から捉え、成熟現象としての老化が健康に及ぼす影響や日常生活に及ぼす影響を理解し、高齢者の生き方に寄り添う高齢者看護を理解する。また、高齢者及び高齢社会について統計的輪郭から理解を深め、高齢者を取り巻く保健医療福祉制度の成立背景を知り、高齢者支援における多職種連携の必要性について理解する。

授業の到達目標　（全角224文字）

1．老年期を生きる意味について多面的にとらえることができる。　2．老年期の発達課題が理解できる。　3．高齢者を取り巻く保健医療福祉制度の動向から今日的課題について考えることができる。　4．高齢社会の進展に伴う高齢社会が抱える社会問題とその対応が考えられる。　5．高齢社会における高齢者・家族・社会に貢献できる老年看護の役割が考えられる。

評価の方法　（全角112文字）

授業内で実施する小テストの合計(10%）、レポート(10%)、定期試験（80%）

テキスト　（全角168文字）

『系統看護学講座 老年看護学』（北川公子他著　医学書院　2018年）

参考図書　（全角112文字）

国民衛生の動向、授業で配布するプリント及び授業で紹介する。

履修上の留意点　（全角168文字）

・シラバスに基づきテキストを中心に事前学習をして臨み、配布された資料及び授業で紹介された参考文献等を参照しながら、事後学習をする。レポートや小テストについては事前に説明する。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	ガイダンス、老年看護学の概要、老年期を生きる高齢者の理解①-1	・老年看護学の成立背景 ・老いとは何か、老いを生きるとは何か 事前にテキストの第1章を読んで授業に臨む。授業形態は講義形式でディスカッションしながら進める。	袖山　悦子
2	老年期を生きる高齢者の理解①-2	・発達とは ・高齢者の発達と発達課題 ・スピリチュアリティと高齢者 事前に自分が75歳になった時を想像して自分への手紙を書い授業に臨む。	袖山　悦子
3	老年期を生きる高齢者の理解①-3	・高齢者の身体的特徴 ・老年症候群 ・1回目小テスト（授業の1コマ・2コマについての） 高齢者の身体的側面については、テキストの第4章のヘルスアセスメントの感覚器の変化について事前学習して臨む。	袖山　悦子
4	高齢社会の統計的輪郭	・老年人口の動態、健康指標からみた高齢者 ・家族形態と高齢者 ・高齢者の暮らし、高齢者の社会活動 国民衛生の動向及びテキストを参照し、超高齢社会を生き抜く高齢者を取り巻く環境について統計的データを基に理解が得られるように事前学習して臨む。	袖山　悦子

5	高齢者と社会制度	・高齢者を取り巻く保健制度と福祉制度 ・高齢者を取り巻く医療制度 ・2回目小テスト（授業の3コマ・4コマについての） 日本の高齢化の背景から高齢者の社会制度がどのように変化してきたのかテキストを中心に事前学習を行い、「高齢者の統計的輪郭」のデータと合わせて理解できるように事前学習をして臨む。	袖山　悦子
6	高齢者を取り巻く社会環境と今日的課題	・高齢者の権利擁護（成年後見制度、日常生活自立支援事業） ・高齢者虐待と身体拘束（身体拘束は体験含む） なぜ、高齢者虐待法や権利擁護の制度が必要なのかについて自己の考えをまとめて授業に臨む。	袖山　悦子
7	加齢に伴う身体的変化の理解	・高齢者疑似体験 高齢者の身体的特徴から高齢者疑似体験を行う。本授業で学んだ高齢者の身体的特徴を活かし、疑似体験に繋げ、そこでの学びをレポートにまとめて提出する。なお、レポートの評価方法の詳細について別に連絡する。	袖山　悦子
8	老年看護学の理念とまとめ	・老年看護学の理念、目的 ・高齢者を支える多職種と看護活動の多様化 ・グループディスカッション 超高齢社会となり、老年看護学の役割が質・量ともに拡大していることを自覚して、多職種連携の中で看護職の果たす役割について表現できるようにこれまでの資料やテキストを整理し授業に臨む。	袖山　悦子

学科	看護学科					ID	2932
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門科目						
授業科目の区分３	生涯発達と看護						
科目名	小児看護学概論					授業科目番号	2312130
担当者氏名	加固　正子					実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義		単位	1単位		時間	15
必選	必修		開講年次	2年		開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○　1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力 ◎　2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力 ○　5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力						

授業の概要　（全角392文字）

子どもとその家族に対する看護援助について健康―健康障害にかかわらず、共通する基本的な考え方やアプローチについて学習する。具体的には小児看護の特徴や理念、子どもの成長・発達の基本的概念、小児期の健康問題や予防接種、子どもと家族を取り巻く社会、保健・医療・福祉・教育の果たす役割などについて学ぶ。さらに、子どもの基本的人権、子ども虐待の背景や実態について学び、医療関係者としての役割について基本的知識を学ぶ。

授業の到達目標　（全角224文字）

1. 小児看護の対象と目的および小児看護の役割について述べることができる。
2. 子どもの権利を擁護する視点から、小児の健やかな成長･発達を支援する看護について述べることができる。
3. 小児期の成長と発達にそった看護について説明することができる。

評価の方法　（全角112文字）

事前・事後学習課題の提出6回（60%）、定期試験（40%）を総合して評価する。

テキスト　（全角168文字）

『小児看護学概論/小児保健』（小林京子、高橋孝雄編　メヂカルフレンド社　2019年）

参考図書　（全角112文字）

授業中に適宜紹介

履修上の留意点　（全角168文字）

小児看護学概論は、小児期の成長発達の理解を基礎にその健康問題についての知識を幅広く学ぶことが求められます。発達心理学(選択科目）の知識を復習し、子どもへの興味と関心をもって学ぶことが大切です。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	小児看護の対象と目的・役割 子ども中心のケアとは 小児看護の場と特徴 地域包括医療と小児看護	・小児看護の変遷、小児のとらえかた　・小児看護の対象 ・小児看護の目標ー子ども中心のケア　・小児看護の役割 ・病院(病棟と外来、小児科医院) ・在宅・家庭　・保育園　・学校　・施設　・多職種協働 【事後学習】自分自身又は身近な人の小児期の受診や入院の経験について200字内で述べ、自分が考える小児看護の役割の特徴について考察する。	加固　正子
2	小児看護・医療における諸統計とその変遷・展望 小児専門病院 小児の医療の変遷 小児医療福祉関連法律 子どもの権利	・小児看護・医療における歴史と諸統計 ・小児看護・医療の国際的動向、および課題と展望 ・小児看護・医療の法と倫理 母子保健法、児童福祉法、児童虐待防止等に関する法律、学校保健安全法 ・医療における子どもの権利と倫理的配慮	加固　正子
3	小児保健 小児保健関連法律 子育て支援と小児医療	・子育て支援　・養育医療　・学校保健施策 ・予防接種　・難病・障害児保健福祉 【事前学習】自分自身の予防接種の記録や感染症罹患の記録について、母子手帳や家族からの聞き取りを行い、授業終了時に提出する。	加固　正子
4	小児の特徴と成長・発達 成長・発達の概念と定義	・成長・発達の概念と定義、評価 ・成長・発達の区分と原則　・成長に関する因子　・免疫 ・発達(小児のもつ力)　・心理社会的成長・発達 【事前学習】テキストを参考に自分の就学前までの成長と発達について（母子手帳などから）調べて、成長と発達の評価について復習し、授業終了時に提出する。	加固　正子

5	胎児期、新生児期、乳児期における成長・発達への看護 　乳児期の養育と生理的社会的発達	・新生児から1歳（乳児期）までの成長・発達の特徴 ・乳児期の看護 【事後学習】授乳、おむつ交換、抱っこなど乳児の育児体験について200字程度でレポートを提出し、自己の課題を見出す。	加固　正子
6	幼児期における成長・発達に応じた看護 　幼児期の生活習慣と自立 　幼児と家庭、集団生活	・幼児期成長・発達の特徴 ・幼児期の看護 ・集団への適応 【事後学習】セルフケア理論を参考に、自分またはきょうだいの基本的生活習慣の確立についての振り返りをレポートする。	加固　正子
7	学童期における成長・発達に応じた看護 　自立とセルフケア 　ヘルスプロモーション	＊幼児期の成長・発達と看護 ・学童期の成長・発達の特徴 ・学童期のセルフケア ・学童期のヘルスプロモーション ・集団や仲間との関係と適応 ・学童期の看護	加固　正子
8	思春期・青年期における成長・発達に応じた看護 　小児から成人へ 　心理社会的成長・発達	・思春期・青年期の特徴 ・思春期・青年期の看護 ・健康障害と心のケア 【事前学習】学童期から青年期に健康障害を経験した闘病記を１冊選んで小児看護の視点から感想文(400字以内）を授業開始時に提出する。	加固　正子

学科	看護学科					ID	2942
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門科目						
授業科目の区分３	生涯発達と看護						
科目名	母性看護学概論					授業科目番号	2312170
担当者氏名	柳原　眞知子					実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義		単位	1単位		時間	15
必選	必修		開講年次	2年		開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力 ◎ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力 ○ 5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力						

授業の概要　（全角392文字）

リプロダクティブヘルス・ライツの視点から、女性のライフステージ各期における心身の特徴と健康課題及びそのヘルスサポートに関する理解、性と生殖に関わる倫理、母子の地域包括の意義などを学修し、女性へのサポートができるための知識を修得する。

授業の到達目標　（全角224文字）

1. リプロダクティブヘルスの概念や関連した用語が理解し説明できる
2. 女性のライフステージ各期の心身の健康の特徴と健康課題を説明できる
3. 母子保健の統計や法律から地域包括の意義や役割を説明できる
4. リプロダクティブヘルス/ライツに関連した倫理を説明できる

評価の方法　（全角112文字）

定期試験60%、事前事後学修25%、ミニテスト15%

テキスト　（全角168文字）

『系統看護学講座　母性看護学概論』（森恵美 他著　医学書院　2016年）
『女性の健康と看護』（立岡弓子編著　サイオ出版　2017年）
『病気がみえる vol.10 産科』（井上裕美 他監修　Medic Media　2018年）

参考図書　（全角112文字）

『系統看護学講座　解剖生理学』（坂井建雄、岡田隆夫著　医学書院　2018年）

履修上の留意点　（全角168文字）

・事前学習（ワークブック）を提示するので、授業前に課題を行ってから授業に参加する（自己学習時間は1時間から1時間半）。事前学習は、授業で課題発表で共有する。授業の展開は、授業開始時に提示する
・授業のリフレクション（振り返り）により、不明確なところを復習する

備考　（全角56文字）

事前学習を済ませていなければ、授業参加は難しい。

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	リプロダクティブ・ヘルスと母性看護	（授業内容）贈る言葉　授業ガイダンス　リプロダクティブ・ヘルスの概念、性をめぐる用語の定義、性の分化、性の多様性とＬＧＢＴ、性の健康、性の倫理について理解し説明できる。 （授業方法）事前学習・課題検討・講義・授業のまとめ、リフレクション	柳原　眞知子
2	ウィメンズヘルス１：思春期の特徴	（授業内容）思春期の心身の特徴とサポート、第二次性徴（身体）の変化と心の変化とその関係、初経と月経のメカニズム、PMSはじめとする月経異常とケアについて理解し、説明できる （授業方法）事前学習・課題検討・講義・ミニテスト①、授業のまとめ、リフレクション	柳原　眞知子
3	ウィメンズヘルス２：思春期の健康課題	（授業内容）性感染症、性感染症の予防と治療の原則、思春期の性感染症の罹患、若年妊娠率と中絶、中絶後のケア、摂食障害について理解し説明できる （授業方法）事前学習・課題検討・講義・ミニテスト②、授業のまとめ、リフレクション	柳原　眞知子
4	ウィメンズヘルス３：成熟期	（授業内容）成熟期の心身の特徴、結婚・子育て・親性の獲得とプロセス、家族計画・避妊について理解し、説明できる （授業方法）事前学習・課題検討・講義・ミニテスト③、授業のまとめ、リフレクション	柳原　眞知子

5	ウィメンズヘルス４：成熟期の健康課題	（授業内容）　成熟期の健康課題：出世前診断、不妊症、生殖器の疾患、家庭内暴力、児童虐待について理解し説明できる （授業方法）事前学習・課題検討・講義・ミニテスト④、授業のまとめ、リフレクション	柳原　眞知子
6	ウィメンズヘルス５：更年期	（授業内容）更年期の心身の特徴と健康課題：閉経のメカニズム、　閉経による心身の変化、更年期障害、更年期女性のサポートについて理解し説明できる　（授業方法）事前学習・課題検討・講義・ミニテスト⑤、授業のまとめ、リフレクション	柳原　眞知子
7	周産期医療システムと母子保健施策１	（授業内容）テーマ：～徳子さんに対する切れ目ない妊娠・出産包括支援から学ぶ～の事例から、周産期医療システム、母子保健とは？母子保健統計からみた母子の健康課題を理解し、説明できる （授業方法）グループ学習および発表　まとめ　リフレクション	柳原　眞知子
8	周産期医療システムと母子保健施策２	（授業内容）テーマ：～徳子さんに対する切れ目ない妊娠・出産包括支援から学ぶ～の事例から、母子保健、リプロダクティブヘルスに関する法律、母子保健施策、子育て支援施策の活用：妊娠・出産包括支援、妊娠・出産時の母子支援について理解し、説明できる （授業方法）まとめ　リフレクション　ミニテスト⑥	柳原　眞知子

学科	看護学科					ID	2952
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門科目						
授業科目の区分３	生涯発達と看護						
科目名	精神看護学概論					授業科目番号	2312210
担当者氏名	斎藤　まさ子					実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義		単位	1単位		時間	15
必選	必修		開講年次	2年		開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力 ○ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力 ○ 3-3 保健医療福祉制度と看護の役割						

授業の概要　（全角392文字）

心の健康問題についての理解を深め、現代社会における精神保健・医療・福祉の活動とあり方を考える。また、精神保健福祉に関する法律や制度、精神保健福祉の動向について学び、今後の課題と精神看護の役割について考える。心のしくみと人格の発達、精神の健康と障がいのとらえ方、ストレスと適応、精神を病むことを学ぶ。また、精神医療の歴史、精神医療における倫理や法制度について学び、看護の役割を理解する。

授業の到達目標　（全角224文字）

1. 現代社会における精神看護の役割について説明できる
2. 心のしくみと人格の発達について説明できる
3. ストレスと適応、精神を病むことについて説明できる
4. 精神医療の歴史をとおして人権や倫理を尊重した看護について述べることができる

評価の方法　（全角112文字）

定期試験70%、学習態度20%（授業中の発言や参加度をもとに評価する）、提出物10%（事前配布の課題・各回配布の課題）

テキスト　（全角168文字）

『系統看護学講座　精神看護学①』（武井麻子 他著　医学書院　2017年）
『系統看護学講座　精神看護学②』（武井麻子 他著　医学書院　2017年）

参考図書　（全角112文字）

看護のための精神医学、中井久夫、医学書院、2013
看護における危機理論・危機介入改訂版、小島操子、金方堂、2008

履修上の留意点　（全角168文字）

①提示した事前学習に関する知識があるものとして授業を進めます。
②活発な意見交換を望みます。
③精神医療や心の健康に注目して新聞やニュース等をみましょう。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	精神看護学の役割：現代社会とメンタルヘルス、精神医療の現状、精神障がい	精神医療の現状と課題、精神障がい者の生きにくさを知り、看護の役割についてグループワークで討議する。 （予習）精神看護学①p2-23を読み、概要をノートにまとめる。 （復習）授業で学習した範囲を読み返す。	斎藤　まさ子
2	精神の健康、障がいのとらえ方 ：精神の健康と障がい、ICF	WHOの精神の健康の基準や国際生活機能分類ICFをもとに、精神の健康と障がいを事例をとおして考える。 （予習）精神看護学①p26-38を読み、提示する事前課題を提出する。 （復習）授業で学習した範囲を読み返す。	斎藤　まさ子
3	ストレスと危機・適応：ストレス、コーピング、心的外傷、リカバリー、レジリエンス	ストレスと健康の危機、心的外傷が精神の健康に及ぼす影響や回復を支える力についてグループで考える。 （予習）精神看護学①p38-53を読み、提示する事前課題を提出する。 （復習）授業で学習した範囲を読み返す。	斎藤　まさ子
4	心のしくみと人格の発達 (1)(心の諸活動：意識と認知、感情、学習、心の理論等)	看護にとって重要な人間の様々な心のはたらきについて学習する。 （予習）精神看護学①p54-68を読み、提示する事前課題を提出する。 （復習）授業で学習した範囲を読み返す。	斎藤　まさ子

5	心のしくみと人格の発達(2)：人格と気質、ライフサイクル、フロイトの精神力動論等	フロイト、エリクソンなどが提唱した諸理論を理解し、心のしくみと人格の発達について学習する。 (予習) 精神看護学①p70-102を読み、提示する事前課題を提出する。 (復習) 授業で学習した範囲を読み返す。	斎藤　まさ子
6	関係の中の個人、全体としての家族：コミュニケーションのゆがみ、IP, システム	家族システムの考え方、家族の精神の健康と諸問題について学び、グループ討議をとおして理解を深める。 (予習) 精神看護学①p108-128を読み事前課題を提出する。 (復習) 授業で学習した範囲を読み返す。	斎藤　まさ子
7	精神医療の歴史：わが国と欧米諸国	わが国、および欧米諸国の精神医療の歴史の変遷を学ぶことで、精神医療の現状と課題について考え発表する。 (予習) 精神看護学①p282-304を読み事前課題を提出する。 (復習) 授業で学習した範囲を読み返す。	斎藤　まさ子
8	精神医療の人権・倫理:　国連決議、日本国憲法、看護の倫理綱領	精神医療における人権・倫理、看護の役割について事例を通して考え、グループで討議する。 (予習) 精神看護学①p315-341を読み事前課題を提出する。 (復習) 授業中に提示する課題を提出する。	斎藤　まさ子

学科	看護学科			ID	2962
授業科目の区分１	専門教育科目				
授業科目の区分２	専門科目				
授業科目の区分３	地域社会と看護				
科目名	在宅看護学概論			授業科目番号	2313020
担当者氏名	飯吉　令枝			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15
必選	必修	開講年次	2年	開講期	前期

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 3-1 地域のネットワークを共有する力
	○ 3-2 多職種と連携・協働する力
	◎ 5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力

授業の概要　（全角392文字）

地域看護学の概念や基本的な考え方をもとに、在宅で療養する人とその家族を理解し、質の高い生活を維持できるようにするための看護のあり方を学ぶ。在宅看護の歴史や社会的な背景をふまえ、在宅看護の概念と対象・活動の場・活動方法の特徴を学ぶ。また、在宅看護の展開に必要な法・制度・社会資源について学ぶ。さらに、在宅ケアシステムと看護の機能について学び、在宅看護の役割と課題を考える。

授業の到達目標　（全角224文字）

1. 在宅看護の歴史と社会的背景をふまえ、在宅看護の概念と対象、活動の場、看護活動の特徴について説明できる
2. 在宅看護の展開に必要な法・制度・社会資源について説明できる
3. 在宅ケアシステムと在宅看護の役割を考え述べることができる

評価の方法　（全角112文字）

定期試験90%(定期試験として、目標到達度を最終的に評価する)、学習態度10%（毎回のコメントシート、授業中の発言、授業への参加態度をもとに評価する）

テキスト　（全角168文字）

『系統看護学講座　在宅看護論』（秋山正子 他著　医学書院　2019年）

参考図書　（全角112文字）

『ナーシング・グラフィカ　在宅看護論①』（臺 有桂 他編　メディカ出版　2015年）　　他、適宜紹介する

履修上の留意点　（全角168文字）

地域包括ケア論で学んだ内容と関連するので、復習して授業に臨んでください。
2年から3年にかけて、母性看護、小児看護、成人看護、老年看護、精神看護を学んでいきます。その対象は「在宅」へ戻っていく方々です。他の領域との関連を意識するようこころがけてください。

備考　（全角56文字）

授業は学生とディスカッションしながら展開していきますので、積極的な授業への参加を期待します。

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	在宅看護の背景 在宅看護の目的・特徴 （地域、社会的背景、QOL、権利擁護）	ガイダンス 在宅看護の歴史と社会的背景を学び、在宅看護の意義を考える。 在宅看護の目的と特徴を学ぶ。 (予習）テキストp2～6を読む。 (復習）1年次で学んだ地域包括ケア論の資料と合わせて、在宅看護の意義を整理する。	飯吉　令枝
2	在宅看護の概要 （訪問看護ステーション、介護保険制度、医療保険制度）	訪問看護の制度や訪問看護ステーションの概要について学ぶ。 (予習）テキストp26～39、p52～56、p76～78を読む。 (復習）自分が住んでいる地域にある訪問看護ステーションをHPで調べる。	飯吉　令枝
3	在宅看護の対象と看護支援１ （小児、在宅療養、家族、養育医療）	小児の在宅療養を支える法・制度と、小児への在宅看護の特徴を学ぶ。 在宅看護における家族への支援について、小児の事例を通して学ぶ。 (予習）「在宅療養」「小児」について調べる。 (復習）テキストp39～50を読む。	飯吉　令枝
4	在宅看護の対象と看護支援２ （難病患者、障害者、精神障害者、倫理、障害者総合支援法、難病法）	難病患者、障害者、精神障害者の在宅療養を支える法・制度と、難病患者、障害者、精神障害者への在宅看護の特徴について学ぶ。 在宅看護における倫理的対応について学ぶ。 (予習）テキストp80～84を読む。 (復習）在宅看護において倫理的ジレンマがどのような状況で生じるか調べる。	飯吉　令枝

5	在宅看護の対象と看護支援３（高齢者、脳血管障害、移行支援、退院支援、継続看護、多職種連携）	高齢者、脳血管障害者の在宅療養を支える法・制度と、高齢者、脳血管障害者への在宅看護の特徴について学ぶ。高齢者の事例を通して、病院から在宅への継続した看護と多職種連携について考える。 （予習）テキストp28～33を読む。 （復習）テキストp56～69を読む。	飯吉　令枝
6	在宅看護の対象と看護支援４（認知症、権利擁護、在宅ケアシステム）	認知症高齢者への在宅看護の特徴について学ぶ。また、在宅療養者の権利を擁護する制度と社会資源、在宅ケアシステムについて学ぶ。 （予習）テキストp71～72を読む。　「認知症」について、症状とケアについて調べる。 （復習）テキストp100～109を読む。	飯吉　令枝
7	在宅看護の対象と看護支援５（終末期、看取り、グリーフケア、意思決定支援）	終末期の療養者を支える法・制度と、終末期の療養者への在宅看護の特徴について学ぶ。 （予習）テキストp35～36、p56を読む。 （復習）講義、映像を通して、終末期の在宅看護の課題を考える。	飯吉　令枝
8	在宅における看護過程の展開と特徴（看護過程、生活環境、家族、社会資源）	在宅看護における看護過程の特徴を学ぶ。 （予習）テキストp112～137を読む。 （復習）講義を振り返り、在宅看護における看護過程の特徴を整理する。	飯吉　令枝

学科	看護学科					ID	2972
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門科目						
授業科目の区分３	地域社会と看護						
科目名	公衆衛生看護活動論Ⅰ				授業科目番号	2313070	
担当者氏名	駒形　三和子	飯吉　令枝	平澤　則子		実務経験のある教員等による授業科目	○	
授業方法	講義	単位	2単位		時間	30	
必選	選択	開講年次	2年		開講期	前期	
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力						
	○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力						
	○ 5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力						

授業の概要　（全角392文字）

地域で生活する個人や家族・集団・組織に対して、そのヘルスニーズに応じた公衆衛生看護活動の展開方法を理解し、保健師の役割、機能を学習する。ライフサイクルと健康課題ごとの看護活動方法を理解する。母子、成人、高齢者保健福祉や精神・障害者に対する地域看護活動の展開方法を理解し、看護職の役割・機能を学習する。さらに、難病対策における看護職の役割・機能を学習する。
（飯吉令枝/3回）導入の講義を行う。
（駒形三和子/6回）（平澤則子/6回）対象別の具体的展開方法について講義を行う。

授業の到達目標　（全角224文字）

1. 母子、成人・高齢者および障害児・者、難病患者に対する公衆衛生看護活動の基盤となる施策・制度が説明できる。
2. 母子、成人・高齢者の健康課題に応じた公衆衛生看護活動の展開方法が理解でき、保健師の役割を考察できる。
3. 障がい（身体・知的・精神）児・者および家族を取り巻く社会情勢が理解でき、支援方法と保健師の役割が理解できる。
4. 難病対策の歴史的変遷を理解し、健康・生活上の課題に応じた支援方法と地域支援体制づくりの必要性を説明できる。

評価の方法　（全角112文字）

授業貢献度　10%　（授業中の発言、態度をもとに評価する。）
定期試験　90%　（期末試験として、目標到達度を最終的に評価する。）

テキスト　（全角168文字）

『最新公衆衛生看護学 第3版 各論1』（宮﨑美砂子 他著　日本看護協会出版会　2020年）
『国民衛生の動向　2019-2020』（厚生労働統計協会編　厚生労働統計協会　2019年）

参考図書　（全角112文字）

適宜、資料を配布する。適宜、参考文献を紹介する。

履修上の留意点　（全角168文字）

虐待や生活習慣病予防、健康寿命の延伸、障がい者を含めた共生社会等、現代の重要な健康課題について学習していきます。
自身や家族の生活習慣や関連する最近のニュース等、様々なことに関心を持って、主体的に学習することを望みます。

備考　（全角56文字）

保健師教育課程必修科目　地域における保健対策がどのように行われているのか、看護師にとっても有益な内容である。

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	母子保健活動① （母子保健法、児童福祉法、健やか親子21、成育基本法、保健指導）	ガイダンス 社会情勢や健康課題をふまえ、母子保健活動の基盤となる施策、制度について学ぶとともに、母子保健における保健師の役割と活動について学ぶ。 （予習）国民衛生の動向で出生数、妊産婦死亡、周産期死亡、乳児死亡の動向について調べる。 （復習）テキストp2～15を読む。	飯吉　令枝
2	母子保健活動② （乳幼児の成長・発達、乳幼児健康診査）	乳幼児健診における保健師の役割と活動の展開について、講義と映像資料をとおして学ぶ。また、問診場面の一部を学生同士で演習する。 （予習）小児看護学で学んだ乳幼児の成長・発達（4か月児、1歳6か月児、3歳児）について確認する。 （復習）テキストp16-26を読む。乳幼児の成長・発達と合わせて、乳幼児健診のポイントを整理する。	飯吉　令枝
3	母子保健活動③ （未熟児、多胎児、養育医療、育成医療、子どもの虐待）	支援ニーズが高い親子の健康課題と支援について学ぶ。 （予習）子ども虐待のニュース等について、どのような背景があり、何が課題かを調べてくる。 （復習）テキストp27～49を読む。	飯吉　令枝
4	成人・高齢者の健康づくり （健康日本21、健康増進法、高齢者医療確保法、歯科口腔保健法）	成人・高齢者の特徴と社会情勢や健康課題を踏まえ、健康づくりの基盤となる施策・制度・事業と保健師の役割について学ぶ。 （予習）①自分の出身市町村の健康づくりのための保健事業について調べる。 ②レヴェルとクラークの予防の三段階を確認する。 （復習）国民衛生の動向 p97～106（健康増進対策）を読む。	駒形　三和子

5	生活習慣病予防の保健活動（メタボリックシンドローム、特定健康診査・特定保健指導、がん対策基本法、がん検診、健診(検診)精度管理）	近年の死因の傾向と疾病構造の変化から生活習慣病予防の必要性を再認識し、生活習慣病を予防するための施策・制度・事業と保健師の活動を学ぶ。 （予習）国民衛生の動向 p 61～71（死因の概要）を読み、p 416～419（死因順位：年次別、性・年齢階級別）を見る。 （復習）国民衛生の動向 p 92～97（生活習慣病）を読む。	駒形　三和子
6	生活習慣病予防のための保健指導の展開方法（特定保健指導対象者の選定と階層化、変容ステージ、ポピュレーションアプローチ、ハイリスクアプローチ）	生活習慣病予防のための保健指導の展開方法と変容ステージに応じた指導のポイントおよび評価について、映像資料や事例を通して学ぶ。 （予習）公衆衛生看護学概論11回目（保健指導に関する理論）の資料を確認。 （復習）授業で使用した過去問の振り返り。	駒形　三和子
7	生活習慣病予防のための保健指導の演習（生活習慣病予防における保健指導の展開(情報収集,アセスメント,生活指導,事後評価)）	事例をもとに特定保健指導の初回面接を学生同士で演習し、生活習慣病予防における保健師の役割について考察する。 （予習）特定保健指導初回面接の事例を読み、保健師役の時と対象者役の時の具体的なイメージづくりをする。 （課題）演習ワークシートを提出（次回授業開始時に回収）	駒形　三和子
8	成人・高齢者の介護予防①（介護保険制度、地域支援事業、認知症予防、介護予防事業の企画・実施・評価）	要介護認定率、介護が必要となった原因の推移をとおして、介護予防の施策・制度・事業と保健師の活動の展開について学ぶ。 （予習）自分の出身市町村のホームページの最新の介護保険事業計画から要介護認定率、介護が必要となった原因を調べる。 （復習）教科書 p 129～146を読む。	駒形　三和子
9	成人・高齢者の介護予防②（介護予防事業の実際、認知症の1次予防・2次予防・3次予防）	地域で実際に行われている介護予防事業について、映像や実技をとおして介護予防事業の効果と課題について学び、保健師の役割を考える。 （予習）自分の出身市町村で行われている介護予防事業（認知症予防を含む）についてホームページや家族・知人から情報を得て調べる。 （復習）教科書 p 158～175を読む。	駒形　三和子
10	障害児者保健福祉活動①（障害児者，ノーマライゼーション，行政施策）	講義で提示する事例をもとに、ノーマライゼーションの視点から、障害を持つ人の健康・生活上の課題を理解する。 （予習）2冊のテキストを読み、障害の分類、障害児者の定義と障害者数をまとめ資料を準備する。 （復習）各論1のテキストを読み、講義で考えた障害児者の健康・生活上の課題を解決するための行政施策を考える。	平澤　則子
11	障害児者保健福祉活動②（地域支援体制）	テキストp213の事例1をもとに、障害児者への支援における地域体制づくりを理解する。　（予習）事例1を読み、障害のある個人や家族、集団、組織、地域に対する公衆衛生看護の展開方法を確認し、疑問点を明らかにする。　（復習）テキストの障害児者を理解するためのモデル、障害児者への支援のあり方をよく読み、講義で考えた事例１の支援との類似点、適用性を確認する。	平澤　則子
12	精神保健福祉活動①（精神障害者，地域支援体制，行政施策）	テキストp244の事例1をもとに、精神障害者への支援における地域体制づくりを理解する。　（予習）テキストの精神保健福祉施策の歴史、精神保健福祉の基盤となる施策・制度・事業を読み、人権の視点から我が国の精神保健福祉の特徴を考える。　（復習）テキストの精神保健福祉における保健師の役割と活動の展開をよく読み、講義で考えた事例1の支援との類似性、適用性を考え、精神障害者への支援の考え方を確認する。	平澤　則子
13	精神保健福祉活動②（心の健康づくり，自殺予防）	テキストをもとに、心の健康づくり対策及び関連する施策と、心の健康づくりにおける保健師の役割と活動の展開を理解する。 （予習）厚生労働省ホームページ、自殺対策白書を読み、我が国の若年層の自殺者数・自殺率の動向を調べ、背景要因と公衆衛生看護の課題を考える。 （復習）若年層の自殺予防を目的とした公衆衛生看護の展開を考える。	平澤　則子
14	難病保健福祉活動①（難病，QOL，行政施策）	事前配布事例をもとに、QOLの視点から、難病患者・家族における健康・生活上の課題、患者・家族を支える保健師の役割と活動の展開を理解する。難病に関連する施策・制度・事業を理解する。　（予習）テキストp269の難病の定義と事前配布資料（事例：パーキンソン病を持つ人の生活）をよく読み、難病を持つ人の健康・生活上の課題を考える。 （復習）事前配布事例にとってのQOL、最善の利益とは何かを考える。	平澤　則子
15	難病保健福祉活動②（難病法，地域支援体制）	2015年から始まった新たな難病対策について理解し、課題を考える。 （予習）事前配布資料（「難病ケア」にみる保健師活動の源泉）をよく読み、公衆衛生看護の基本的展開について確認する。（復習）出身地域で暮らす難病患者と家族の地域支援体制づくりを考える。また、様々な障害を持つ人が安心して暮らすことのできる地域づくりにおいて、当事者から期待される保健師の役割を考える。	平澤　則子

学科	看護学科					ID	2982
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門科目						
授業科目の区分３	地域社会と看護						
科目名	災害看護論					授業科目番号	2313140
担当者氏名	山﨑　達枝					実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義		単位	1単位		時間	15
必選	必修		開講年次	2年		開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力 ○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力 ◎ 5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力						

授業の概要　（全角392文字）

災害看護の基礎としての災害看護の歴史、災害看護の定義、救急医療と災害医療との違いとを学ぶ。その上で、実際の現場を想定しながら、災害時医療体制の整備への対応にむけて、災害医療と看護や災害の種類と特徴的疾患、災害サイクルや災害各期の看護支援について理解する。さらに災害時の健康障害やそれを支えるための基礎的な知識を学ぶ。県内で起きた雪害、水害、中越地震、中越沖地震などをテーマに災害看護の学習を深めるために、被災状況の特徴のまとめや、被災体験者からの体験談をもとに、災害時のトリアージや、被災者および看護職としての係わり方を学ぶ。

授業の到達目標　（全角224文字）

1. 災害について理解できる
2. 災害発生後の心身に受ける影響について理解できる
3. 災害時の看護師の役割が理解できる

評価の方法　（全角112文字）

定期試験80%、授業態度10%、課題提出10%

テキスト　（全角168文字）

『災害現場でのトリアージと応急処置（第2報）』（山﨑達枝著　日本看護協会出版会　2016年）

参考図書　（全角112文字）

履修上の留意点　（全角168文字）

・新潟県内に発生した主な自然災害について、自分の生まれ育った地域にどのような災害が発生したのか調べておくこと　・授業開始前までに「災害現場でのトリアージと応急処置」を読み付録のDVDも学習し理解して授業に望むこと　・災害が発生した時、関心をもち情報収集すること　・各回の授業で次回までの課題を提示するが、準備して臨むこと

備考　（全角56文字）

保健師教育課程必修科目

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	日本災害史・自然災害	過去の災害について調べ災害多発国日本の歴史を知る。 （予習）特に中越地方で発生した自然災害について調べる。	山﨑　達枝
2	自然災害の種類、発生するメカニズムの違い、特徴的疾患	災害の種類と特徴的な疾患について学ぶ。自然災害・人的災害・特殊災害の特徴と疾患について理解する。	山﨑　達枝
3	災害医療、災害サイクル	救急医療と災害医療の相違点、災害サイクルについて理解する。	山﨑　達枝
4	災害現場での応急措置、災害時のトリアージ	災害現場のトリアージと応急処置を視聴し災害時のトリアージについて理解する。① （予習）テキストを読むこと。	山﨑　達枝

5	災害現場での応急処置、災害時トリアージ	災害現場のトリアージと応急処置を視聴し災害時のトリアージについて理解する。② （予習）テキストのＤＶＤを視聴すること。	山﨑　達枝
6	災害看護、要配慮者	災害時の看護職の役割を理解する。① 要配慮者について理解する。	山﨑　達枝
7	避難所、福祉避難所、在宅被災者	災害時の看護職の役割を理解する。② 避難所・福祉避難所・在宅被災者への役割を理解する。	山﨑　達枝
8	まとめ、被災者のいのちと暮らしを守る	災害看護を学ぶことから「生活と生命、看護の本質」に繋げる。 平時にできる減災、地域市民に伝えられるよう企画ができる。	山﨑　達枝

学科	看護学科					ID	2992
授業科目の区分１	基礎教育科目						
授業科目の区分２	基礎教育科目						
授業科目の区分３	人間の理解						
科目名	歴史と文化				授業科目番号	1105050	
担当者氏名	渡邊　克義						
授業方法	講義	単位	2単位		時間	30	
必選	選択	開講年次	2年		開講期	後期	

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 1-1 幅広い教養と多様性を理解する力
	○ 5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力

授業の概要　（全角392文字）

日本人の伝統文化や生活様式に関する知識を知ることから日本の伝統的な地域文化に関する知識を深める。さらに、長岡の歴史から地域文化を考える。長岡地域を対象として、その歴史的な成り立ちを学び地域文化の理解を深め、さらに他の地域と比較することによって視野を広げる。また、地域社会を歴史的に理解するうえで、文化財の果たす役割にも着目する。近隣に位置する新潟県立歴史博物館において、新潟県の歴史と成果を実際に学ぶ。

授業の到達目標　（全角224文字）

1. 新潟（長岡）の歴史について説明できる
2. 新潟（長岡）の歴史をもとに新潟（長岡）の文化を考察できる
3. 様々な地域の文化を理解できる

評価の方法　（全角112文字）

定期試験60%、レポート30%、ワーク参加態度10%

テキスト　（全角168文字）

『新潟県の歴史』（中村義隆 他著　山川出版社　2017年）

参考図書　（全角112文字）

授業中に適宜紹介する。

履修上の留意点　（全角168文字）

授業中に紹介する文献（史料）を精読すること。
課題の提出を怠らないこと。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	郷土史概説①	縄文時代・弥生時代・古墳時代の郷土の様子を調べる。	渡邊　克義
2	郷土史概説②	在地勢力の成長について調べる。	渡邊　克義
3	郷土史概説③	郷土の御家人について知る。	渡邊　克義
4	郷土史概説④	長尾氏・上杉氏について知る。	渡邊　克義

5	郷土史概説⑤	幕藩政治の成立について考える。	渡邊　克義
6	郷土史概説⑥	幕藩政治の展開を知る。	渡邊　克義
7	郷土史概説⑦	明治期の郷土について考える。	渡邊　克義
8	郷土史概説⑧	郷土における大正デモクラシーについて知る。	渡邊　克義
9	郷土史概説⑨	太平洋戦争への道程を調べる。	渡邊　克義
10	郷土史概説⑩	戦後改革について知る。	渡邊　克義
11	郷土概説⑪	平成～令和の文化を考える。	渡邊　克義
12	郷土の地名	地名に潜むメッセージについて分析する。	渡邊　克義
13	郷土文化①	伝統芸能・文化について知る。	渡邊　克義
14	郷土文化②	新潟県文学について考える。	渡邊　克義
15	新潟県歴史博物館訪問	郷土の歴史について遺物・遺産から知る。	渡邊　克義

学科	看護学科					ID	3002
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門基礎科目						
授業科目の区分３	疾病の成り立ちと回復の促進						
科目名	疾病治療論Ⅳ(造血器・運動器)				授業科目番号	2209050	
担当者氏名	伊藤　正一	星野　正			実務経験のある教員等による授業科目	○	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15		
必選	必修	開講年次	2年	開講期	後期		

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	
	◎ 2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度
	○ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力
	○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力

授業の概要　(全角392文字)

運動器疾患、神経疾患、造血器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。

（伊藤正一/4回）白血病などの造血器疾患とその治療法としての化学療法や輸血療法、および放射線療法を学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。
（星野正/4回）骨折などの筋・骨格器の障害、脊髄損傷などの神経障害による運動機能障害および放射線治療や麻酔療法について学び、看護実践の基礎知識とする。

授業の到達目標　(全角224文字)

〔造血器〕貧血など日常的な血液疾患から、白血病など専門性の高い疾患までの病態を理解する。血液疾患の診療は、医学の進歩が導入され易く、輸血や骨髄移植、抗がん剤、感染症治療の他、分子標的治療・免疫療法など、最新の知識と理解が必要である。　〔運動器〕1. 運動器の構成を理解し、運動器疾患の検査、診断、治療を理解し説明できる。　2. 骨粗鬆症とそれに関連する障害について理解し、説明できる。　3. 麻酔法の種類について理解し説明できる。

評価の方法　(全角112文字)

〔造血器〕定期試験60%　レポート20%　授業時間内小テスト20%
〔運動器〕授業中の小テスト80%　定期テスト20%

テキスト　(全角168文字)

〔造血器〕基礎看護学講座　成人看護学[4]　血液・造血器　医学書院　2019年　第15版
〔運動器〕系統看護学講座専門Ⅱ運動器　医学書院　,　系統看護学講座別巻　臨床外科看護総論　医学書院

参考図書　(全角112文字)

〔造血器〕看護学テキストNice　病態・治療論[6]血液・造血器疾患　南江堂　2019年
病気がみえる　第5巻　血液　メディックメディア 2019年　第2版

履修上の留意点　(全角168文字)

[造血器]膨大な学習内容に比べ、講義時間は僅かです。個々の疾患の診療については、予習を充分にして下さい。治療法選択の意思決定支援や多職種連携の必要性についても学びましょう。　[運動器]本講義にあたり「人体の構造と機能」を理解しておく必要がある。講義で取り上げられない疾患、病態については各自の自習を推奨する。

備考　(全角56文字)

授業計画

回	テーマ(キーワード) (全角78文字)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） (全角198文字)	担当教員 (全角30文字)
1	末梢血検査（血液正常値） 血漿と血清（血漿と血清） 血球の分化（造血幹細胞） 血球の増多と減少 リンパ節腫脹、脾腫 出血性素因（止血機構）	血液の成分と形態・機能：赤血球　白血球　血小板　凝固因子 造血のしくみ：造血幹細胞　血液細胞の分化　造血因子 血液疾患に多くみられる症状、身体所見、病歴 血液疾患における検査：末梢血　骨髄　出血傾向　リンパ節生検 細胞表面マーカー　染色体　遺伝子 血液型と輸血・血液製剤	伊藤　正一
2	貧血の分類（赤血球指数） 貧血の成因・症状・検査 鉄欠乏性貧血（鉄代謝） 汎血球減少をきたす疾患 二次性貧血（貧血鑑別診断）	貧血とその分類：赤血球指数による貧血の分類　成因による貧血の分類 鉄欠乏性貧血の診断と治療 鉄代謝異常による貧血 巨赤芽球性貧血・悪性貧血 再生不良性貧血 溶血性貧血：先天性と後天性	伊藤　正一
3	造血器腫瘍とは（白血病） 造血器腫瘍の診断と治療 抗がん剤と副作用(化学療法) 造血器治療における支持療法 造血幹細胞移植（骨髄移植） 分化誘導療法と分子標的療法	造血器腫瘍の分類と治療　特徴：治療理念、治療計画 急性白血病：骨髄性、リンパ性　FAB分類　WHO分類 慢性白血病：骨髄性、リンパ性 骨髄異形成症候群及び骨髄増殖性腫瘍：多血症　血小板血症　骨髄線維症 悪性リンパ腫の分類と診断治療 骨髄腫とマクログロブリン血症	伊藤　正一
4	（出血性素因とは） （止血・血栓形成の機序） （ITP） 血管内凝固症候群（DIC） （血友病） HIV感染症	出血性素因の検査 血管性出血性疾患：シェーンライン-ヘノッホ紫斑病 特発性血小板減少性紫斑病（ITP） 血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）と溶血性尿毒症症候群 血友病ＡとＢ、フォンーヴィルブランド病、その他の先天性凝固異常症 血管内凝固症候群（DIC）の基礎疾患、診断、治療	伊藤　正一

5	運動器の構成 （運動器の異常、ロコモーティブシンドローム）	運動器を構成する器官の病態生理について講義形式で学習する。 （予習）運動器の構造と機能、病態生理についてテキストを読み、十分に理解しておく。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	星野　正
6	運動器の診断、検査、治療 （画像診断、保存的治療、手術療法）	運動器疾患の診断、検査、治療法について講義形式で学習する。 （予習）運動器疾患の診断、検査、治療法についてテキストを読み理解しておく。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	星野　正
7	骨粗鬆症と関連疾患 （診断、骨脆弱性骨折診断、治療）	骨粗鬆症の概要、関連骨折の診断、治療、現状について講義形式で学習する。 （予習）骨粗鬆症とその関連骨折についてテキストを読み理解しておく。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	星野　正
8	麻酔法 （麻酔の目的、麻酔法の種類）	整形外科領域の麻酔について講義形式で学習する。 （予習）麻酔法についてテキストを読み、理解しておく。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	星野　正

学科	看護学科					ID	3012
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門基礎科目						
授業科目の区分３	疾病の成り立ちと回復の促進						
科目名	疾病治療論Ⅴ(脳神経・精神)				授業科目番号	2209060	
担当者氏名	三木　健司	渡部　和成			実務経験のある教員等による授業科目	○	
授業方法	講義	単位	1単位		時間	15	
必選	必修	開講年次	2年		開講期	後期	
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度 ○ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力 ○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力						

授業の概要　（全角392文字）

脳神経疾患、精神疾患の成り立ち、症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。

（三木健司/4回）様々な原因による高次機能制御系障害について、検査、診断、治療法について学び、看護実践のための基礎知識を深める。手術療法の例を含めて学ぶ。
（渡部和成/4回）精神および行動障害疾患について学び、看護実践のための基礎知識とする。統合失調症などの疾患の他、ストレス関連障害、摂食障害、行動障害、依存症などを含む。

授業の到達目標　（全角224文字）

〔脳神経〕将来チーム医療の一員として、診断／治療方針について討論が出来る。そのためには、医学における共通言語の認知と理解が必須である。暗記を要することが多くなると思われる。しかし、英単語を知らずして英語で討論出来ないのと同様に、最低限の医学知識なしに討論は不可能である。奮闘を期待します。
〔精神〕精神疾患に関する知識を身に付け実際の精神医療で必要な看護実践力の基礎作りができることを目標に講義をする。

評価の方法　（全角112文字）

〔脳神経〕定期試験（看護国家試験形式に準拠した客観テストによる評価）　100%
〔精神〕定期試験100%

テキスト　（全角168文字）

〔脳神経〕系統看護学講座専門分野Ⅱ　成人看護学７　脳・神経　医学書院
〔精神〕精神看護の基礎　精神看護学①　（医学書院）

参考図書　（全角112文字）

〔脳神経〕指定しない。
〔精神〕わかった！統合失調症のベスト治療－病から脳とこころを解き放つ－（渡部和成著、星和書店、2018年）

履修上の留意点　（全角168文字）

〔脳神経〕網羅される領域に対しての講義時間が圧倒的に不足しており、予習として「講義テキスト」において次回授業の該当項目を一読し、内容を把握しておく事。講義はパワーポイントを用いた授業形式で行われる。
〔精神〕科学的な眼と人間的な眼でもって講義を聴いて欲しい。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	１．脳／神経の構造と機能 ２．症状と病態生理	１．神経系の解剖（中枢神経／末梢神経／自律神経）を理解し、その構造と役割を理解する。２．神経系が傷害された場合、障害部位に対応する症状の種類や特徴を理解する。また、症状の病態生理を理解してより適切な看護の実践につなげる。	三木　健司
2	３．検査／診断と治療／処置	３．神経疾患患者の診察に置いて、問診／病歴の聴取、神経診察の目的を学ぶ。画像検査、電気生理学的検査、脳脊髄液検査、生検など検査概要や目的、適応、禁忌を理解する。　神経疾患の治療法を内科的治療法／外科的治療法について理解する。	三木　健司
3	４．疾患の理解１（脳疾患／脊髄疾患／末梢神経障害／筋疾患）	障害部位による疾患の分類を学ぶ。　ついで血管障害、自己免疫、感染、変性など原因による疾患の分類と病態を学ぶ。　（脳疾患／脊髄疾患／末梢神経障害／筋疾患）	三木　健司
4	５．疾患の理解２（神経接合部疾患／脱髄性疾患／感染症／中毒／てんかん／認知症）	障害部位による疾患の分類を学ぶ。　ついで血管障害、自己免疫、感染、変性などによる疾患の分類と病態を学ぶ。　（神経接合部疾患／脱髄性疾患／感染症／中毒／てんかん／認知症）	三木　健司

5	精神医療・精神看護心得（精神医療総論）	①精神の病と社会、②精神医学の歴史、③精神医療とは、の３テーマに分けてテキストを参照しながら講義する。テキストの第４，５，６，８章を中心に予習・復習するとよい。	渡部　和成
6	統合失調症及び近縁疾患（知覚と思考の病気）	①統合失調症とは、②近縁疾患について、の２テーマに分けてテキストを参照しながら講義する。テキストの第４，５，６，８章を中心に予習・復習するとよい。参考図書を読み最先端の臨床に触れることもして欲しい。	渡部　和成
7	気分障害及び神経症性障害（気分と不安の病気）	①うつ病、②双極性障害、③神経症、の３テーマに分けてテキストを参照しながら講義する。テキストの第４，５，６，８章を中心に予習・復習するとよい。	渡部　和成
8	パーソナリティ障害、発達障害、摂食障害、依存症、認知症BPSD（注意すべき病気）	①パーソナリティ障害の種類、②BPD、③発達障害、④摂食障害、⑤依存症、⑥認知症の種類とBPSD、の６テーマに分けてテキストを参照しながら講義する。テキストの第４，５，６，８章を中心に予習・復習するとよい。	渡部　和成

学科	看護学科					ID	3022
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門基礎科目						
授業科目の区分３	健康と社会のシステム						
科目名	保健統計学				授業科目番号	2210010	
担当者氏名	鈴木　翼				実務経験のある教員等による授業科目	○	
授業方法	講義	単位	2単位		時間	30	
必選	必修	開講年次	2年		開講期	後期	

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	
	○ 4-1 看護学を探究する意欲
	○ 4-2 看護を追究する基礎的研究能力
	◎ 5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力

授業の概要　（全角392文字）

保健統計に関する統計情報として、人口の静態統計、動態統計、生命表などの人口統計の基礎について学ぶ。また基幹統計の意味、国勢調査や人口動態調査、国民生活調査、国民健康・栄養調査や感染症発生動向調査などの既存の資料を素材にして各種データの読み取り方を学ぶ。またそれらの、保健医療情報の収集の方法と実際を学ぶとともに、保健医療情報に関する法令・指針・原則についても学び、実際の現場で保健医療情報を活用できる基礎的能力を養う。

授業の到達目標　（全角224文字）

・保健医療の現場での問題解決力を養うために、基幹統計や各種統計資料の収集方法、データの読み取り・加工・解釈の仕方を習得する。
・保健医療情報を収集・取り扱うにあたって必要となる法令・指針、またプライバシーや個人情報等の倫理的事項について説明できる。

評価の方法　（全角112文字）

期末試験（70%）、レポート（20%）、授業貢献度（10%）
レポート課題は講義内で提示する。A4 1～2枚程度

テキスト　（全角168文字）

・標準保健師講座 別巻2 疫学・保健統計学 第3版、2015年、医学書院
・国民衛生の動向 2019/2020 厚生労働統計協会

参考図書　（全角112文字）

・FACTFULNESS（ファクトフルネス）、ハンス・ロスリング、2019年、日経BP社
・統計学が最強の学問である、西内啓、2013年、ダイヤモンド社　その他講義内で紹介する。

履修上の留意点　（全角168文字）

テキストや講義で知識を学ぶことに加えて、実際にデータを触って知識を定着させること、またニュースやネット等でも統計に関する記事に積極的に触れ関心を持つことを望みます。数字を扱うことが多いため、電卓の持参を推奨します。

備考　（全角56文字）

保健師教育課程必修科目

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	保健統計学概論 （医療情報の利活用、健康情報の見極め方）	授業ガイダンス 統計学を学ぶ意義について理解する。統計調査の基本的な方法論、信頼できる健康情報の見極め方を習得する。 （予習）テキストpp107-108を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また講義内で紹介する参考図書を読む。	鈴木　翼
2	基本的な統計データの読み方 （尺度、基本統計量、相関と回帰、母集団、疫学的因果関係）	統計データの種類や性質を表す基本的な用語を理解する。また、統計データを正しく表現・解釈するための技法を習得する。 （予習）テキストpp109-123、138-141を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
3	人口統計① （人口ピラミッド、将来推計人口、国勢調査）	保健統計の最も基本となる人口統計のうち、人口静態統計、人口動態統計について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 （予習）テキストpp144-153、国民衛生の動向pp47-84を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、e-statにアクセスし、調査の実データに触れてみる。	鈴木　翼
4	人口統計② （出生率、死亡率、死因統計、生命表、平均寿命、健康寿命）	保健統計の最も基本となる人口統計のうち、人口動態統計について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 （予習）テキストpp144-153、国民衛生の動向pp47-84を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、e-statにアクセスし、調査の実データに触れてみる。	鈴木　翼

5	保健医療に関わる基幹統計① （国民生活基礎調査、社会生活基本調査）	保健医療に関わる基幹統計について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 （予習）テキストpp156-159、国民衛生の動向pp85-91を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、e-statにアクセスし、調査の実データに触れてみる。	鈴木　翼
6	保健医療に関わる基幹統計② （患者調査、医療施設調査、学校保健統計調査）	保健医療に関わる基幹統計について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 （予習）テキストpp156-159、国民衛生の動向pp205-209、219-225、380-381を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、e-statにアクセスし、調査の実データに触れてみる。	鈴木　翼
7	厚生労働統計① （国民健康・栄養調査、感染症発生動向調査、食中毒統計調査）	保健医療に関わる基礎的な統計について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 （予習）テキストpp160-163を読む。事前に指示するウェブサイトを見る。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、e-statにアクセスし、調査の実データに触れてみる。	鈴木　翼
8	厚生労働統計② （地域保健・健康増進事業報告、身体障害児・者等実態調査、介護保険事業状況報告）	保健医療に関わる基礎的な統計について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 （予習）テキストpp160-163を読む。事前に指示するウェブサイトを見る。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、e-statにアクセスし、調査の実データに触れてみる。	鈴木　翼
9	疾病・障害の定義と分類／医療経済統計 （国際疾病分類、国際生活機能分類、国民医療費）	疾病・障害を定義・分類する方法について理解する。医療経済に関わる統計について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 （予習）テキストpp164-168を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、e-statにアクセスし、調査の実データに触れてみる。	鈴木　翼
10	医療情報に関する法令・指針・原則／活用可能なデータベースの基本 （個人情報保護、研究倫理、セキュリティ、データヘルス計画）	保健医療情報を扱う上で必要となる、個人情報保護、情報公開とセキュリティ、研究倫理等を習得する。 （予習）テキストpp170-182を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読、また講義で紹介するウェブサイトを閲覧して知識を定着させる。	鈴木　翼
11	各論① （地域保健と統計、災害と統計）	地域保健（生活習慣病、高齢者保健、介護保険等）や、災害に関連する各種統計を提示し、データの読み取り方や解釈を通して理解を深める。 （予習）事前に指示するウェブサイトを見る。 （復習）講義スライド・ウェブサイトを閲覧して知識を定着させる。データに触れ、自分なりにまとめて考えを深める。	鈴木　翼
12	各論② （がんと統計／感染症と統計／精神保健と統計）	がん、感染症、精神保健に関連する各種統計を提示し、データの読み取り方や解釈を通して理解を深める。 （予習）事前に指示するウェブサイトを見る。 （復習）講義スライド・ウェブサイトを閲覧して知識を定着させる。データに触れ、自分なりにまとめて考えを深める。	鈴木　翼
13	各論③ （母子保健と統計／学校保健と統計／産業保健と統計）	母子保健、学校保健、産業保健に関連する各種統計を提示し、データの読み取り方や解釈を通して理解を深める。 （予習）事前に指示するウェブサイトを見る。 （復習）講義スライド・ウェブサイトを閲覧して知識を定着させる。データに触れ、自分なりにまとめて考えを深める。	鈴木　翼
14	グループワーク （医療情報の利活用）	小グループに分かれ、提示する課題に沿って、適切な統計調査の検索、データの加工と解釈を行い、学生間のディスカッションを通じて課題解決能力を養う。 （予習）1～13回までの資料を読み返す。	鈴木　翼
15	発表会・まとめ （医療情報の利活用）	グループワークの結果を全員の前で発表し、その内容をもとに全体でのディスカッションを行う。 一連の講義を総括して知識を整理し、今後の保健医療活動に統計をどのように活用するか考えを深める。 （予習）保健医療現場での統計の活用について考えをまとめておく。	鈴木　翼

学科	看護学科					ID	3032
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門基礎科目						
授業科目の区分３	健康と社会のシステム						
科目名	疫学				授業科目番号	2210050	
担当者氏名	鈴木　翼				実務経験のある教員等による授業科目	○	
授業方法	講義	単位	2単位		時間	30	
必選	選択	開講年次	2年		開講期	後期	
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力 ◎ 5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力 ○ 5-2 地域社会に貢献する態度						

授業の概要　（全角392文字）

地域での根拠に基づく保健医療の現場の看護活動のために、疫学の概念と考え方や方法を学ぶ。疫学とは何か、疫学がどのように疾病予防に貢献してきたかを学ぶ。そのうえで、集団の健康状態の把握のための指標について、疾病頻度の指標・暴露効果の指標・寄与危険などについて学ぶとともに、疫学的研究方法についてや、スクリーニング、対象別、疾患別疫学の特徴などを学ぶ。統計分析法、公衆衛生学、保健統計学と関連させて学ぶ。

授業の到達目標　（全角224文字）

・根拠に基づく保健看護活動を実践するために、疫学の概念と考え方を習得する。
・疾病頻度の指標、曝露の指標、因果関係、交絡など、集団の健康状態を表す指標について説明できる。
・各領域で用いられる疫学の実例を学び、関心を深める。

評価の方法　（全角112文字）

期末試験（70%）、レポート（20%）、授業貢献度（10%）
レポート課題は講義内で提示する。A4 1～2枚程度

テキスト　（全角168文字）

はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第3版、日本疫学会監修、2018年、南江堂

参考図書　（全角112文字）

・基礎から学ぶ楽しい疫学 第3版、中村好一、2012年、医学書院
・疫学 医学的研究と実践のサイエンス、木原正博ら訳、2010年、ﾒﾃﾞｨｶﾙｻｲｴﾝｽｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ　その他講義内で紹介する。

履修上の留意点　（全角168文字）

集団の健康を扱う疫学の基本的な考え方を習得するために、テキストや講義で知識を学ぶことに加えて、実際に手を動かして計算を行うなど関心を持って講義に臨むことを期待します。数字を扱うことが多いため、電卓の持参を推奨します。

備考　（全角56文字）

保健師教育課程必修科目

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	疫学概論 （疫学の3要素、疫学の歴史、曝露と危険因子、因果関係）	授業ガイダンス 疫学の歴史や基本的事項を通じて、疫学を学ぶ意義と考え方について理解する。 （予習）テキストpp1-12を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また講義内で紹介する参考図書を読む。	鈴木　翼
2	疾病と曝露の指標① （割合・比・率、罹患率と有病率、年齢調整死亡率、標準化死亡比）	疫学で頻用する用語（割合・比・率、罹患率と有病率、年齢調整死亡率、標準化死亡比等）について、計算方法とその意義を理解する。 （予習）テキストpp13-22を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
3	疾病と曝露の指標③ （相対危険と寄与危険、オッズ比、集団の設定）	疫学で頻用する用語（相対危険と寄与危険、オッズ比、集団の設定等）について、計算方法とその意義を理解する。 （予習）テキストpp23-38を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
4	疫学調査法① （記述疫学、生態学的研究）	疫学調査の種類やその意義・利点と限界について、研究の実例提示を交えて理解を深める。 （予習）テキストpp39-53を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼

5	疫学調査法② （症例対照研究、コホート研究）	疫学調査の種類やその意義・利点と限界について、研究の実例提示を交えて理解を深める。 （予習）テキストpp54-66を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
6	疫学調査法③ （介入研究、システマティックレビュー）	疫学調査の種類やその意義・利点と限界について、研究の実例提示を交えて理解を深める。 （予習）テキストpp67-82を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
7	疫学調査法④ （バイアス、交絡因子）	疫学調査に影響を及ぼすバイアスと交絡因子について、研究の実例提示を交えて理解を深める。 （予習）テキストpp83-94を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
8	スクリーニング （感度、特異度、検査の信頼性）	スクリーニング調査の意義やその実例、スクリーニングで用いられる用語について実例提示を交えて理解を深める。 （予習）テキストpp95-100を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
9	疫学調査の実際 （調査法の種類、質問紙の作成）	疫学調査を実際に行う際に考慮しておきたい事項について、実例提示を交えて理解を深める。 （予習）テキストpp101-105を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
10	各論① （生活習慣病の疫学／がんの疫学）	各分野で行われている疫学研究の実例を提示し、研究結果の読み取り方や解釈を通して関心と理解を深める。 （予習）事前に指示するウェブサイト・参考図書を読む。 （復習）講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。講義で紹介した研究結果について、自分なりにまとめて考えを深める。	鈴木　翼
11	各論② （感染症の疫学／学校保健の疫学）	各分野で行われている疫学研究の実例を提示し、研究結果の読み取り方や解釈を通して関心と理解を深める。 （予習）事前に指示するウェブサイト・参考図書を読む。 （復習）講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。講義で紹介した研究結果について、自分なりにまとめて考えを深める。	鈴木　翼
12	各論③ （母子保健の疫学／栄養疫学／運動疫学）	各分野で行われている疫学研究の実例を提示し、研究結果の読み取り方や解釈を通して関心と理解を深める。 （予習）事前に指示するウェブサイト・参考図書を読む。 （復習）講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。講義で紹介した研究結果について、自分なりにまとめて考えを深める。	鈴木　翼
13	各論④ （精神保健の疫学／産業保健の疫学／環境疫学）	各分野で行われている疫学研究の実例を提示し、研究結果の読み取り方や解釈を通して関心と理解を深める。 （予習）事前に指示するウェブサイト・参考図書を読む。 （復習）講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。講義で紹介した研究結果について、自分なりにまとめて考えを深める。	鈴木　翼
14	各論⑤ （社会疫学・政策疫学／臨床疫学／災害の疫学）	各分野で行われている疫学研究の実例を提示し、研究結果の読み取り方や解釈を通して関心と理解を深める。 （予習）事前に指示するウェブサイト・参考図書を読む。 （復習）講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。講義で紹介した研究結果について、自分なりにまとめて考えを深める。	鈴木　翼
15	まとめ	一連の講義を総括して知識を整理し、今後の保健医療活動に疫学の知識をどのように活用するか考えを深める。 （予習）保健医療現場での疫学の活用について考えをまとめておく。	鈴木　翼

学科	看護学科					ID	3042
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門科目						
授業科目の区分３	看護の基本						
科目名	基礎看護技術演習Ⅲ				授業科目番号	2311050	
担当者氏名	倉島　幸子	大橋　洋子	大﨑　美奈子		実務経験のある教員等による授業科目	○	
授業方法	演習	単位	2単位		時間	60	
必選	必修	開講年次	2年		開講期	後期	
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度						
	○ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力						
	○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力						

授業の概要　（全角392文字）

診断・治療過程にある対象に施される診療（診察・検査・治療）の目的、方法を理解し、診療を補助する看護者の役割と技術を学ぶ。具体的な技術として、検査、与薬、症状・生体機能管理、呼吸・循環を整える技術、罨法、創傷管理、危篤・死亡時の看護について学ぶ。また診療に伴う対象の心身の苦痛を最小限に抑え、正確で安全な技術の修得を図る。

授業の到達目標　（全角224文字）

1. 対象に施される診療（診察・検査・治療）の目的、方法を理解し、安全に実施するために必要な基本的知識が理解できる。
2. 診療に伴う対象の心身の苦痛を最小限に抑え、診療を補助する上で必要な基本的技術を修得できる。

評価の方法　（全角112文字）

定期試験60%、技術試験20%、提出記録物20%

テキスト　（全角168文字）

『ナーシング・グラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術』（志自岐康子編　メディカ出版　2017年）
『写真でわかる臨床看護技術①　アドバンス』（本庄恵子、吉田みつ子監修　インターメディカ　2020年）
『写真でわかる臨床看護技術②　アドバンス』（本庄恵子、吉田みつ子監修　インターメディカ　2020年）

参考図書　（全角112文字）

履修上の留意点　（全角168文字）

・予習として授業計画に対応するテキストのページを熟読し理解しておくこと。理解できない箇所は授業中に確認し明確にしておくこと。復習としてテキスト、講義資料、参考書等を用い学習内容を整理し確実な知識にする。
・実施可能な技術を修得するために時間外に技術の自主練習を計画的に行う。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	症状・生体機能管理技術 ME機器の取り扱い	・科目ガイダンス、診療を補助する看護者の役割 ・症状・生体機能管理技術の基礎知識（検体検査と生体情報のモニタリング） ・検体の採取（採血・尿検査）・経皮的・侵襲的検査時の援助 ・ME機器の取り扱いとモニタリング （予習）テキストP370～395を読む	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
2	検体の採取	【演習】採血　尿試験紙検査　動脈血酸素飽和度（SpO_2）モニターによる測定 （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
3	与薬・輸血を安全かつ正確に行う技術	・与薬のための基礎知識 ・与薬のための援助技術 ・注射のための援助技術 （予習）テキストP400～431を読む	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
4	注射の実際	【演習】注射の準備、皮下注射、筋肉注射 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子

5	注射の実際	【演習】筋肉注射 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
6	注射の実際	・静脈注射、点滴静脈注射 ・輸液ポンプ、シリンジポンプ ・輸血 （予習）テキストP400～431を読む 【演習】静脈点滴注射 （予習）事前に提示された課題に取り組む	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
7	注射の実際	【演習】 ・点滴静脈内注射、輸液ポンプ、シリンジポンプ （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
8	安全を守る技術	・医療安全の概念、安全を脅かす要因、安全管理対策 ・主な医療事故と予防対策 ○グループで医療事故および対策の調べ学習 （予習）テキストP138～149を読む	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
9	安全を守る技術 体温を調節する技術	【演習】転倒・転落、誤嚥、誤薬、チューブ抜去の事故に対する対策 （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング ・体温調節の生理的メカニズム ・罨法、罨法の種類と適応、禁忌 ・指圧、マッサージ、タッチング （予習）テキストP340～352，354～368を読む	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
10	体温を調節する技術 安楽を確保する技術	【演習】温罨法・冷罨法、指圧・マッサージ （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
11	皮膚・創傷を管理する技術	・皮膚・創傷を管理するための基礎知識 ・褥瘡の管理 （予習）テキストP434～440を読む	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
12	皮膚・創傷を管理する技術	【演習】創傷処置、包帯法 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
13	呼吸・循環を整える技術	・呼吸・循環を整える援助の基礎知識 ・効果的な呼吸方法・酸素吸入療法 ・吸引、吸入 （予習）テキストP316～338を読む	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
14	呼吸・循環を整える技術	【演習】酸素吸入療法、一時的吸引 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
15	死の看取りの看護	・死亡の動向と場所 ・死に関する文化的要素 ・死にゆく人と周囲の人々へのケア ・危篤、終末時の生理的変化とケア ・死後の処置	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子

学科	看護学科			ID	3052
授業科目の区分１	専門教育科目				
授業科目の区分２	専門科目				
授業科目の区分３	看護の基本				
科目名	基礎看護学実習Ⅱ			授業科目番号	2311080
担当者氏名	倉島　幸子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90
必選	必修	開講年次	2年	開講期	後期

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度
	○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力
	○ 2-4 自己の看護実践を振り返る力

授業の概要　（全角392文字）

疾病や障害を持ち、生きることとはどういうことかといった問いを対象者の立場になって学ぶ実習である。療養している対象者を一人受け持ち、対象者や家族と援助的人間関係を深め、対象者の生活における基本的ニーズの観点から情報収集、アセスメント、計画立案という看護の系統的思考過程の展開を学ぶ。共感や寄り添った看護を科学的根拠を持って実践することで看護を実感し、看護実践の基礎を身につける。また、実習を通して責任ある行動・態度を修得する。

授業の到達目標　（全角224文字）

1．受け持ち患者と援助的人間関係を作ることができる。　2．健康上の問題が日常生活行動に与える影響を述べることができる。　3．日常生活行動に関するニーズに沿った援助が計画できる。　4．計画に基づき、安全・安楽・自立性に配慮した援助を実施することができる。　5．実施した援助を評価し、看護計画の追加・修正の必要性を考えることができる。　6．実習を通して責任ある行動・態度を修得できる。

評価の方法　（全角112文字）

実習目標の到達度について、実習態度、実習内容および実習記録、課題レポートを実習評価表で評価する。

テキスト　（全角168文字）

参考図書　（全角112文字）

看護援助論および基礎看護学で使用した教科書、資料を積極的に活用すること。

履修上の留意点　（全角168文字）

本実習に関連したスケジュールには全て出席することを原則とする。　実習要項を熟読して実習に臨むこと。　常に相手の立場を考え、人間尊重、人権擁護、秘密の保持、安全への配慮、倫理面への配慮を十分に行い実習すること。　実習共通要項に従った見だしなみ、準備、態度を実習参加の条件とする。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) (全角78文字)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） (全角198文字)	担当教員 (全角30文字)
1		1．実習期間：２週間 2．実習場所：病院 3．実習内容：実習要項参照	倉島　幸子 他
2			
3			
4			

学科	看護学科					ID	3062
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門科目						
授業科目の区分３	生涯発達と看護						
科目名	成人看護援助論Ⅲ					授業科目番号	2312040
担当者氏名	広井　貴子	目黒　優子				実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習		単位	1単位		時間	30
必選	必修		開講年次	2年		開講期	後期

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	
	◎ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力
	○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力
	○ 3-2 多職種と連携・協働する力

授業の概要　（全角392文字）

成人看護援助に必要な技術について、科学的根拠を確認しながらより実践的に学ぶ。
成人看護援助論Ⅰ、Ⅱで学習した看護技術や看護援助過程について実践的に学習する。成人看護学実習の事前学習として手術からの回復期の看護を含む周手術期の看護援助技術の習得、および慢性疾患をもつ対象者に対するセルフマネジメントにつながる健康支援について、より具体的で実践的に演習を行うことによって学ぶ。

授業の到達目標　（全角224文字）

看護過程の基礎的知識、看護理論と看護過程の関係性について理解する。
事例をとおして機能障害における看護実践を学ぶ。

評価の方法　（全角112文字）

定期試験60%、レポート20%、演習参加態度20%

テキスト　（全角168文字）

『ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践看護アセスメント』（渡邊トシ子編　ヌーヴェルヒロカワ　2011年）
『ＮＡＮＤＡ-I看護診断 定義と分類 2018-2020』（Ｔ．ヘザー・ハードマン、上鶴重美編　医学書院　2018年）

参考図書　（全角112文字）

履修上の留意点　（全角168文字）

演習では、各チームで話し合い、それを基にして実施します。チーム内で各人が役割を果たすためには、個人の事前学習が大切になります。チーム内で協力して演習を行いましょう。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	授業ガイダンス 機能的健康パターンの枠組み（看護過程）	ゴードンの機能的健康パターンに基づくアセスメントガイドの構成 （復習）パターンの枠組みの内容について	広井　貴子 目黒　優子
2	看護診断の特徴と看護過程（看護診断）	看護診断の特徴と看護過程（予習）看護過程の構成要素についてまとめておく （復習）看護診断の特徴について整理する	目黒　優子 広井　貴子
3	ＮＡＮＤＡ－I看護診断（ＮＡＮＤＡ－I看護診断、共同問題）	ＮＡＮＤＡ－I看護診断、共同問題 （復習）ＮＡＮＤＡ－Ｉの領域（ドメイン）と類（クラス）について整理する	目黒　優子 広井　貴子
4	ＴＢＬ【Team-Bssed-learning:チーム基盤型学習】：個人事前テスト・チーム事前テスト、チーム検討（糖尿病）	個人・チーム事前テストを行う：糖尿病に関する基礎的知識 チーム検討を行う：フィジカルイグザミネーションの実施計画を立てる （予習）フィジカルイグザミネーションについてまとめておく （復習）個人・チーム事前テストで間違えた個所を調べておく	目黒　優子 広井　貴子

5	ＴＢＬによる学習：チーム検討 （糖尿病をもつ患者へのフィジカルイグザミネーション）	チーム検討を行う：フィジカルイグザミネーション実施計画、糖尿病急性合併症 （予習）糖尿病急性合併症についてまとめておく （復習）立案した実施計画を整理する	目黒　優子 広井　貴子
6	ＴＢＬによる学習：チーム検討 （糖尿病をもつ患者へのフィジカルイグザミネーション）	チーム検討を行う：フィジカルイグザミネーション実施計画、糖尿病急性合併症 （予習）糖尿病急性合併症についてまとめておく （復習）立案した実施計画を整理する	目黒　優子 広井　貴子
7	ＴＢＬによる学習：実施・チーム検討 （糖尿病をもつ患者へのフィジカルイグザミネーション、ＳＢＡＲを用いて報告）	【演習】①フィジカルイグザミネーションを実施する、ＳＢＡＲを用いて報告をする　②チーム検討を行う：シックデイ、実施で得られた結果から患者の状態をアセスメントする （予習）シックデイの対処方法についてまとめておく （復習）ＳＢＡＲの報告のポイントを整理する	目黒　優子 広井　貴子
8	ＴＢＬによる学習：実施・チーム検討 （糖尿病をもつ患者へのフィジカルイグザミネーション、ＳＢＡＲを用いて報告）	【演習】①フィジカルイグザミネーションを実施する、ＳＢＡＲを用いて報告をする　②チーム検討を行う：シックデイ、実施で得られた結果から患者の状態をアセスメントする （予習）シックデイの対処方法についてまとめておく （復習）ＳＢＡＲの報告のポイントを整理する	目黒　優子 広井　貴子
9	ＴＢＬによる学習：実施・チーム検討 （周手術期の看護援助技術）	事例（変形性股関節症　人工股関節置換術を受けた人）の説明 術後の看護を事例を通して考える （予習）変形性股関節症　人工股関節置換術 （復習）術後の身体的・精神的変化	広井　貴子 目黒　優子
10	ＴＢＬによる学習：実施・チーム検討 （周手術期の看護援助技術）	チーム検討を行う：看護介入する必要があることがらについて 事例について術後の自立にむけた看護援助 （復習）事例の個別性について	広井　貴子 目黒　優子
11	ＴＢＬによる学習：実施・チーム検討 （周手術期の看護援助技術）	チーム検討を行う：看護介入する必要があることがらについて 事例について術後の自立にむけた看護援助 （復習）事例の個別性について	広井　貴子 目黒　優子
12	【演習】創傷処置 （手術からの回復期の看護）	手術後の創傷の処置を実践し、回復過程にある人の看護について学ぶ （予習）スタンダードプリコーション、創傷処置	広井　貴子 目黒　優子
13	【演習】創傷処置 （手術からの回復期の看護）	手術後の創傷の処置を実践し、回復過程にある人の看護について学ぶ （予習）スタンダードプリコーション、創傷処置	広井　貴子 目黒　優子
14	【演習】発表 （自立にむけた看護援助）	事例について術後の自立にむけた看護援助について各チームの学びを共有する	広井　貴子 目黒　優子
15	【演習】発表 （自立にむけた看護援助）	事例について術後の自立にむけた看護援助について各チームの学びを共有する	広井　貴子 目黒　優子

学科	看護学科			ID	3072
授業科目の区分１	専門教育科目				
授業科目の区分２	専門科目				
授業科目の区分３	生涯発達と看護				
科目名	老年看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2312090
担当者氏名	望月　紀子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30
必選	必修	開講年次	2年	開講期	後期

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力
	◎ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力
	○ 3-2 多職種と連携・協働する力

授業の概要　（全角392文字）

老年期にある対象とその家族、およびそれを支える人びと、加齢に伴う心身機能の変化と老年期のアセスメントの特徴、加齢と健康障害に応じた看護に必要な知識・技術について学ぶ。高齢者に特徴的な健康問題の事例から高齢者の身体的・精神的・社会的特徴をふまえたアセスメントを行い、高齢者のＱＯＬ向上に向けた看護の方向性を考える力を養う。また、高齢者の家族や配偶者との関係や地域社会（社会資源）を活用した援助を学び、倫理的課題について考察する。

授業の到達目標　（全角224文字）

1．高齢者によく見られる症状や健康障害の特徴を理解する。　2．高齢者の生活機能および日常生活行動をアセスメントし、理解する。
3．高齢者に特徴的な疾患と看護を理解する。　4．高齢者の治療上の特徴を理解する。
5．高齢者の生活機能の改善に向けた看護援助の方法を理解する。

評価の方法　（全角112文字）

レポート第3回目、第13回目、第15回目(20%)、定期試験（80%）

テキスト　（全角168文字）

『系統看護学講座　老年看護学』（北川公子 他著　医学書院　2018年）

参考図書　（全角112文字）

『系統看護学講座　老年看護 病態・疾患論』（鳥羽研二 他著　医学書院）　『実践！ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ』（小野田千枝子 監修 金原出版）　『ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ』（山内豊明著　医学書院）　授業で資料配布、参考図書紹介

履修上の留意点　（全角168文字）

シラバスに基づきテキストを中心に事前学習をし、配布されたプリント及び授業時に提示された参考文献等を参照して事後学習する。なお、レポートについては、形式・提出期限等、別途説明する。

備考　（全角56文字）

12・13回目は、ペンライト・聴診器を準備する。また授業開始前にベッドメイキングしておく。

授業計画

回	テーマ(キーワード)（全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）（全角198文字）	担当教員（全角30文字）
1	授業ガイダンス/ 高齢者に特徴的な疾患と看護1（脳）	・授業概要、評価方法、高齢者インタビューに関する課題の説明 ・脳、神経系（脳血管疾患、睡眠）：主な脳血管疾患とその看護／加齢にともなう睡眠状態の変化 【事前学習：脳神経系の解剖生理】【事後学習：本日の授業内容復習】	望月　紀子
2	高齢者に特徴的な疾患と看護2-①（認知症）	・認知症、認知症の診断と治療、認知症の評価、看護 ・BPSD、うつ、せん妄など、高齢者に起こりやすい心理状態 ・第３回（演習）の事例用紙とレポート用紙配布、説明とグループ形成 【事後学習：本日の授業内容復習】	望月　紀子
3	高齢者に特徴的な疾患と看護2-②（認知症）	・（演習）グループワーク（1組6～7名）、発表 ＜グループレポート：グループ毎に提出＞ 【事前学習：提示した事例を熟慮しておく】	望月　紀子
4	高齢者に特徴的な疾患と看護3（循環器）	・循環器系（心不全、虚血性心疾患、動脈硬化、不整脈、高血圧、脂質異常）：高齢者に起こりやすい循環器疾患とその看護 【事前学習：循環器系の解剖生理】【事後学習：本日の授業内容復習】	望月　紀子

5	高齢者に特徴的な疾患と看護4（呼吸器）	・呼吸器系（誤嚥性肺炎、インフルエンザ、結核）：高齢者に起こりやすい呼吸器疾患とその看護 【事前学習：呼吸器系の解剖生理】【事後学習：本日の授業内容復習】	望月　紀子
6	高齢者に特徴的な疾患と看護5（歯口腔・消火器）	・歯口腔・消化器系（嚥下機能、経管栄養、窒息、便秘）：高齢者の歯口腔・消化器に関連した症状とその看護 【事前学習：歯口腔系・呼吸器系の解剖生理】【事後学習：本日の授業内容復習】	望月　紀子
7	高齢者に特徴的な疾患と看護6（腎・泌尿器）	・腎、泌尿器系（尿路感染症、前立腺肥大症、前立腺がん、排尿障害、浮腫）：高齢者に起こりやすい腎・泌尿器疾患の症状とその看護 【事前学習：腎泌尿器系の解剖生理】【事後学習：本日の授業内容復習】	望月　紀子
8	高齢者に特徴的な疾患と看護7（運動器）	・運動器系（骨折、骨粗しょう症、パーキンソン、転倒、ADL評価）：高齢者に起こりやすい運動器系疾患、症状、およびその看護 【事前学習：運動器系の解剖生理】【事後学習：本日の授業内容復習】	望月　紀子
9	高齢者に特徴的な疾患と看護8（視覚・聴覚）	・感覚器系（白内障、緑内障、難聴、点眼・軟膏）：加齢にともなう感覚器系の変化とその看護 【事前学習：感覚器系の解剖生理】【事後学習：本日の授業内容復習】	望月　紀子
10	高齢者に特徴的な疾患と看護9（皮膚・栄養）	・外皮系（皮膚掻痒症、ヘルペス、褥瘡、栄養）：加齢にともなう外皮系の変化とその看護 【事前学習：外皮系の解剖生理】【事後学習：本日の授業内容復習】	望月　紀子
11	身体の加齢変化とフィジカルアセスメント10-①（フィジカルアセスメント）	・高齢者のフィジカルアセスメント（各部位・関節可動域）：高齢者を対象としたフィジカルアセスメント方法が理解できる。 【事前学習：解剖生理全般】 【事後学習：本日の授業内容復習】	望月　紀子
12	身体の加齢変化とフィジカルアセスメント10-②（フィジカルアセスメント）	・（演習）高齢者のフィジカルアセスメントの実際：高齢者を対象としたフィジカルアセスメントの実際（技術、観察、態度）が説明できる。2～3名(基本3名)のグループでの演習　高齢者役の際には疑似体験セットを装着する。 【事前学習：フィジカルアセスメントのための手技確認】 【事後学習：演習の復習】	望月　紀子
13	身体の加齢変化とフィジカルアセスメント10-③（フィジカルアセスメント）	・（演習）高齢者のフィジカルアセスメントの実際：＜個人レポート提出＞ 【事前学習：技術確認】 【事後学習：フィジカルアセスメント演習内容の復習】	望月　紀子
14	高齢者インタビュー11-①（演習）	・（演習）高齢者との個人面談：レポート作成のための時間とする ・高齢者の生きてきた背景、現在の生活状況、価値観、信条、課題等について 【事前学習：インタビュー前に高齢者の歴史的・地域的背景を調べておく】	望月　紀子
15	高齢者インタビュー11-②（演習）	・（演習）グループワーク（意見交換）：意見交換を通しての高齢者理解 ・レポートの加筆修正　＜個人レポート提出＞	望月　紀子

学科	看護学科					ID	3082
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門科目						
授業科目の区分３	生涯発達と看護						
科目名	小児看護援助論Ⅰ				授業科目番号	2312140	
担当者氏名	加固　正子	伊藤　文子	沼野　博子		実務経験のある教員等による授業科目	○	
授業方法	講義	単位	2単位		時間	30	
必選	必修	開講年次	2年		開講期	後期	
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力 ◎ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力 ○ 3-2 多職種と連携・協働する力						

授業の概要　（全角392文字）

小児期に特徴的な疾患や障害に対する看護について学ぶ。特に、小児期の発病や障害の発症が小児の成長・発達や日常生活にどのような影響を及ぼすのかについて、具体的な事例を交えながら学ぶ。
（加固正子/7回）慢性的な疾患のために長年にわたり治療を受け続けなければならない場合、そして身体的変化や限りある命と向き合いながら治療を受ける子どもとその家族に対する看護などを具体的事例をとおして学ぶ。また、手術を受ける子どもの看護について学ぶ。
（沼野博子/4回）急激な発病、診断にともない侵襲的な検査や治療を受ける子どもとその家族の看護について学ぶ。
（伊藤文子/4回）先天的な障がいをもって生まれた子どもとその家族の看護について学ぶ。

授業の到達目標　（全角224文字）

1．子どもの健康問題が及ぼす子どもと家族への影響を思考し説明できる。　2．子どもの健康問題のアセスメントの意義と方法について説明できる。　3．子どもの健康問題の病態生理と主要症状・治療・処置を理解し記述できる。　4．健康問題のある子どもの成長・発達段階別・症状別・経過別看護について根拠を明確にし説明できる。　5．小児看護実践に必要な基礎的な看護技術を習得できる。

評価の方法　（全角112文字）

小テスト10%、学習態度10%、定期試験80%。学習態度は、授業の参加状況及び受講カードの記述内容を合わせて判断する。

テキスト　（全角168文字）

『新体系 看護学全書 小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護』（小林京子、高橋孝雄編　メヂカルフレンド社　2019年）

参考図書　（全角112文字）

『系統看護学講座　小児看護学②　小児臨床看護各論』（奈良間美穂 他著　医学書院　2020年）
『ナーシング・グラフィカ　小児看護学①　小児の発達と看護』（中野綾美編　メディカ出版　2019年）

履修上の留意点　（全角168文字）

事前学習課題に取り組み、受講すること。講義に対応するテキストのページを熟読し理解しておく。疑問点は講義中に確認し明確にすること。事後学習課題については、講義内で説明する。講義内容の確認をするために、小テストを次回講義開始前に行う。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	健康問題・障害を持つ子どもと家族の理解と看護 （健康障害、成長発達、子どものストレス、ストレス緩和）	子どもが健康問題をもつことにより生じる変化と発達段階に応じた看護を理解する 【事後課題】子どものストレスと対処過程の復習	加固　正子
2	子どもに見られる主な症状と看護 （発熱、不機嫌、啼泣、発疹、小児感染症、熱性けいれん、隔離・子どものストレスと対処過程）	子ども（乳幼児）に見られる主な症状と看護を理解する ・症状を持つ子どもとその家族の看護 ・特殊な状況にある子どもとその家族の看護 【事前学習】基礎看護学の復習、ノート整理	加固　正子
3	急性期の子どもと家族の看護 （呼吸困難、チアノーゼ・ショック、川崎病、ファロー四徴症）	急性期にある子どもと家族の看護について理解する 【事前学習】 胎児循環と新生児循環、 出生後に閉鎖する血管と心臓の壁の整理、冠動脈の復習	伊藤　文子
4	急性期の子どもと家族の看護 （嘔吐、下痢、脱水、腸重積、ヒルシュスプルング病、急性胃腸炎、幽門狭窄症）	急性期にある子どもと家族の看護について理解する 【事前学習】 細胞内液、外液の組成、脱水 消化管の解剖生理の復習	沼野　博子

5	子どもの意思決定のための心理的支援 （プリパレーション、子どもの権利、インフォームドコンセント・アセント、子どもの医療体験）	発達段階に応じた病気・治療・検査に関する子どもの理解や医療体験を踏まえ、プリパレーションの必要性を理解する 【事前学習】 子どもの権利条約の第6.8.12.13.14.15.16条を調べる 発達段階別　ピアジェの認知発達、エリクソンの発達課題の復習	加固　正子
6	手術を受ける子どもと家族の看護 （痛み、活動制限、術後侵襲、口唇口蓋裂、鎖肛、子ども・家族の理解、計画手術、緊急手術）	手術を必要とする子どもと家族の看護について理解する 【事前学習】 咀嚼・嚥下機能の発達（離乳と口腔機能の発達） 排泄機能の発達（排泄機能の自立）の復習	加固　正子
7	慢性期の子どもと家族の看護（小児がん、白血病、貧血、易感染、易出血、骨髄穿刺、発達に応じたセルフケア支援、感染隔離、復学支援、移行期支援）	慢性期にある子どもと家族の看護について理解する 【事前学習】 白血球・赤血球・血小板の働き 造血幹細胞と白血球の分化の復習 日和見感染について調べる	沼野　博子
8	家庭療養している慢性疾患のある子どもと家族の看護（ネフローゼ症候群、急性糸球体腎炎、浮腫、尿の異常、ステロイド副作用、発達に応じたセルフケア支援、学校連携）	慢性期にある子どもと家族の看護について理解する 【事前学習】 腎臓の構造と機能の復習、 蛋白尿・尿糖・血尿・尿中細菌が正常ではなぜ排泄されないのか復習	伊藤　文子
9	家庭療養している慢性疾患のある子どもと家族の看護 （糖尿病、低血糖,ケトーシス、発達に応じたセルフケア支援、学校連携）	慢性期にある子どもと家族の看護について理解する 【事前学習】インスリンの働き、ブドウ糖とインスリン、高血糖との関連、Ⅱ型糖尿病の病態生理復習	伊藤　文子
10	家庭療養している慢性疾患のある子どもと家族の看護（気管支喘息、食物アレルギー、呼吸困難、アナフィラキシーショック、発達に応じたセルフケア支援、学校連携）	慢性期にある子どもと家族の看護について理解する 【事前学習】 アレルギー反応と免疫機構・IgE抗体、Ⅰ型アレルギーの病態生理の復習	伊藤　文子
11	救急処置が必要な子どもと家族への看護（けいれん、意識障害、ショック、髄膜炎、熱傷、溺水、虐待、誤飲、トリアージ、1次救命処置、腰椎穿刺、誤嚥処置、苦痛緩和）	1.救急処置を必要とする子どもと家族の看護について理解する 1）急性症状を持つ子どもとその家族への看護 2）特殊な状況にある子どもとその家族の看護 【事前学習】 自分または身近な子どもが緊急受診・入院した経験を家族から聴取。	加固　正子
12	心身障がいのある子どもと家族の看護 （発達障がい、重症心身障がい児、医療的ケア、育児支援、家族支援）	心身障がいのある子どもと家族の看護とそれにかかわる多職種連携と看護職の役割について理解する 【事前学習】発達障害・自閉症・アスペルガー症候群に関連する体験を基にした図書を読み、子どもと親の体験のまとめと感想（「光とともに」など）	加固　正子
13	先天的な健康問題のある子どもと家族の看護 （ダウン症候群、18トリソミー、障害受容、意思決定、発達支援）	先天的な健康問題のある子どもと家族の看護について理解する 【事前学習】 DNA・遺伝子・染色体・ゲノムの復習 メンデルの遺伝の法則（優性遺伝・劣性遺伝）の復習	沼野　博子
14	ハイリスク新生児と家族の看護（新生児仮死他　適応障害、呼吸窮迫症候群、未熟児網膜症、他、低出生体重児への看護、ディベロップメンタルケア、発達支援）	ハイリスク新生児と家族の看護、発達支援について理解する 【事前学習】新生児の生理学的特徴の復習	沼野　博子
15	小児外来における子どもと家族の看護 （外来におけるトリアージ、感染症対策、初期対応、受診時の緊張と不安に対する援助、健診、育児相談）	外来受診する子どもと家族の援助と外来看護の果たす役割について理解できる 【事前学習】入院や外来受診の体験と家族の思いや行動の体験録	加固　正子

学科	看護学科				ID	3092
授業科目の区分１	専門教育科目					
授業科目の区分２	専門科目					
授業科目の区分３	生涯発達と看護					
科目名	母性看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2312180	
担当者氏名	髙島　葉子			実務経験のある教員等による授業科目	○	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30	
必選	必修	開講年次	2年	開講期	後期	
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度					
	○ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力					
	○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力					

授業の概要　（全角392文字）

周産期女性の身体的・心理的・社会的特徴や胎児・新生児の発育発達過程およびその女性を取り巻く家族についても理解する。妊婦・産婦・褥婦・胎児・新生児および家族の健康上の諸課題を理解し、正常に経過するための援助や自己決定能力・セルフケア能力を高めるための看護援助に活用できる知識を学ぶ。

授業の到達目標　（全角224文字）

1. 周産期（妊娠期・分娩期・産褥期）にある女性、胎児および新生児の生理的変化を理解できる
2. 周産期にある女性と夫またはパートナー、家族の心理的・社会的特徴を理解できる
3. 周産期にある女性および新生児の生理的変化に対する看護援助の方法を述べることができる
4. 周産期各期および新生児の正常逸脱に対する看護援助の方法を述べることができる

評価の方法　（全角112文字）

定期（筆記）試験60%、事前学習・事後学習などの提出物25%（提出50%、内容50%）、ミニテスト15%
ミニテスト・筆記試験・提出物の実施日時や評価については講義開始時に説明を行う。

テキスト　（全角168文字）

『系統看護学講座　母性看護学②　母性看護学各論』（森恵美 他著　医学書院　2016年）
『写真でわかる母性看護技術アドバンス』（平澤美恵子、村上睦子監修　インターメディカ　2020年）

参考図書　（全角112文字）

『イラストで学ぶ新生児の生理と代表的疾患（改訂2版）』メディカ出版　　『イラストで学ぶ妊娠・分娩・産褥の生理（改訂2版）』メディカ出版　　『病気が見えるvol.10 産科（第4版）』メディックメディア

履修上の留意点　（全角168文字）

・事前学習（ワークブック周産期編）を提示するので、授業前に課題を行ってから授業に参加する（自己学習時間は1時間から1時間半）。事前学習は、授業で課題発表等で共有する。
・前期で学んだ母性看護学概論の既習知識と関連づけながら積極的に学んでほしい。また、不明確なところは復習する。

備考　（全角56文字）

・疑問・質問などは時間の許す限りお聞きします。積極的に聞きにきてください。

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	妊娠期の看護① 妊娠期（胎児期含む）の身体的特徴と変化	授業ガイダンス、女性生殖器を踏まえた妊娠の成立過程、妊娠の診断検査、妊娠により女性の身体はどのように変化するか、胎児の心身の発育と特徴 ＊事前課題学習やshort事例検討を織り交ぜながら（講義・GW等で）学ぶ 最後にまとめ　リフレクション　ミニテスト①	髙島　葉子
2	妊娠期の看護② 妊娠期の妊婦・家族の心理社会的特徴，妊婦健康診査・母子健康手帳	妊娠期のこころと社会的変化、妊娠期のケア、胎児の健康診断と胎児の異常、妊婦健康診査と母子健康手帳の活用 ＊事前課題学習やshort事例検討を織り交ぜながら（講義・GW等で）学ぶ 最後にまとめ　リフレクション　ミニテスト②	髙島　葉子
3	妊娠期の看護③ 妊婦・胎児の経過のアセスメントとケア	妊娠経過の診断、基礎的情報のアセスメント、妊婦・胎児の身体的健康状態のアセスメント、日常生活に関するアセスメント、妊婦のケア（主として保健相談の実際、セルフケア） ＊事前課題学習やshort事例検討を織り交ぜながら（講義・GW等で）学ぶ 最後にまとめ　リフレクション　ミニテスト③	髙島　葉子
4	妊娠期の看護④ マイナートラブル・妊娠期の異常とケア	マイナートラブル、妊娠期の異常と治療、マイナートラブルのケア ＊事前課題学習やshort事例検討を織り交ぜながら（講義・GW等で）学ぶ 最後にまとめ　リフレクション　ミニテスト④	髙島　葉子

5	分娩期の看護① 分娩の経過	正常分娩の経過：分娩期の定義、分娩の３要素、分娩の経過 産婦および家族の心理社会的特徴 帝王切開分娩の経過 ＊視聴覚教材によってイメージしながら学ぶ 最後にまとめ　リフレクション　ミニテスト⑤	髙島　葉子
6	分娩期の看護② 産婦と胎児の健康状態、家族のアセスメント	分娩経過と進行、陣痛、産痛、産道、破水 胎児の健康状態（ドプラ法、連続的胎児心拍数モニタリング、その他） 産婦と家族の心理・社会的状態 ＊事前課題学習やshort事例展開を織り交ぜながら講義・GW等で学ぶ 最後にまとめ　リフレクション　ミニテスト⑥	髙島　葉子
7	分娩期の看護③ 産婦・胎児、家族への看護ケアの実際（分娩第1期～4期）	基本的ニーズへの支援 産痛の緩和に対応した看護 産婦と家族の心理への看護 バースプランに基づいた看護⇒分娩の想起、産婦の心理、いいお産とは ＊事前課題学習やshort事例展開を織り交ぜながら講義・GW等で学ぶ 最後にまとめ　リフレクション　ミニテスト⑦	髙島　葉子
8	分娩期の看護④ ハイリスク分娩と産婦のケア	前期破水、帝王切開術、分娩時異常出血、胎児機能不全、陣痛異常（微弱陣痛、過強陣痛）の状態にある産婦のケア ＊事前課題学習やshort事例展開を織り交ぜながら講義・GW等で学ぶ 最後にまとめ　リフレクション　ミニテスト⑧	髙島　葉子
9	産褥期の看護① 正常な産褥期の経過	産褥期の定義、身体的・心理社会的特徴（退行性変化・進行性変化） 退行性変化：全身の変化、生殖器の変化、分娩による損傷の状態 進行性変化：乳房の変化、褥婦と家族の心理・社会的変化 ＊事前課題学習やshort事例展開を織り交ぜながら講義・GW等で学ぶ 最後にまとめ　リフレクション　ミニテスト⑨	髙島　葉子
10	産褥期の看護② 褥婦への看護ケアの実際	退行性変化への看護：全身状態、子宮復古、分娩による損傷の回復 ＊基本的ニーズ（食事と栄養、排泄、活動と休息、清潔）をふまえて 進行性変化への看護：母乳育児の状況、栄養法 ＊事前課題学習やshort事例展開を織り交ぜながら講義・GW等で学ぶ 最後にまとめ　リフレクション　ミニテスト⑩	髙島　葉子
11	産褥期の看護③ 褥婦と家族の心理・社会的変化と看護ケア	育児の準備、母親役割獲得への支援、母乳育児への支援、育児技術獲得への支援、バースレビュー、褥婦の日常生活とセルフケア、食生活の教育、母子の愛着形成の支援、家族の再調整 ＊事前課題学習やshort事例展開を織り交ぜながら講義・GW等で学ぶ 最後にまとめ　リフレクション　ミニテスト⑪	髙島　葉子
12	産褥期の看護④ 産褥期のトラブル・異常と看護ケア	帝王切開術後、子宮復古不全、産褥熱、乳腺炎、尿路感染、排尿障害、産後精神障害、死産、障害がある新生児を出産した親 ＊事前課題学習やshort事例展開を織り交ぜながら講義・GW等で学ぶ 最後にまとめ　リフレクション　ミニテスト⑫	髙島　葉子
13	新生児期の看護① 新生児期における看護の役割 新生児の生理的特徴	新生児期における看護師の役割（胎児の対外環境への適応、家族関係の確立）　　新生児の生理的特徴（新生児の定義、呼吸、循環、体温、消化、水・電解質バランスと腎機能、ビリルビン代謝と黄疸、血液、免疫、神経・感覚、皮膚の特徴、頭部） ＊事前課題学習やshort事例展開を織り交ぜながら講義・GW等で学ぶ 最後にまとめ　リフレクション　ミニテスト⑬	髙島　葉子
14	新生児期の看護② 新生児のアセスメントとケア	成熟度の評価、フィジカルアセスメント、スクリーニング検査（聴力、先天性代謝異常症検査）、行動評価、新生児の包括的なアセスメント 出生直後のケア、出生後24時間以内のケア、24時間以降から退院に向けたケア ＊事前課題学習やshort事例展開を織り交ぜながら講義・GW等で学ぶ 最後にまとめ　リフレクション　ミニテスト⑭	髙島　葉子
15	新生児期の看護③ 新生児の異常とケア	ハイリスク新生児の特徴、呼吸不全、循環不全、体温調節の異常、消化器の異常、代謝の適応不全、神経学的異常、分娩との関連、母体疾患と新生児の異常（糖尿病母体からの出生、GBS感染症）、早産児・低出生体重児の特徴、先天異常がある新生児と看護 ＊事前課題学習やshort事例展開を織り交ぜながら講義・GW等で学ぶ 最後にまとめ　リフレクション　ミニテスト⑮	髙島　葉子

学科	看護学科			ID	3102
授業科目の区分１	専門教育科目				
授業科目の区分２	専門科目				
授業科目の区分３	生涯発達と看護				
科目名	精神看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2312220
担当者氏名	板山　稔			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30
必選	必修	開講年次	2年	開講期	後期

ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力
	◎ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力
	○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力

授業の概要　（全角392文字）

精神に健康問題を持つ人と家族への看護を展開するためのアセスメントの視点とその方法を教授し、精神的な健康の回復、保持・増進に必要な援助方法を学習する。また、精神医療、地域精神保健福祉における法制度の内容と看護者の倫理、関連する専門職種の役割と連携を教授し、看護の役割について学習する。

授業の到達目標　（全角224文字）

1. 精神の健康障害に対するアセスメント方法と対人関係を基盤とした支援技法を理解する。
2. 代表的な精神疾患の病態とそれに応じた看護を理解する。
3. 精神医療福祉に関する法律の概要と看護者の倫理について理解する。
4. 精神医療福祉における関係職種の連携と看護の役割を理解する。

評価の方法　（全角112文字）

授業内で実施する3回の小テストの合計（20%）、定期試験（70%）、授業中の発言や参加態度（10%）

テキスト　（全角168文字）

『系統看護学講座　精神看護学①　精神看護の基礎』（武井麻子 他著　医学書院　2017年）
『系統看護学講座　精神看護学②　精神看護の展開』（武井麻子 他著　医学書院　2017年）

参考図書　（全角112文字）

『精神看護学　学生-患者のストーリーで綴る実習展開（第2版）』（田中美恵子著　医歯薬出版　2015年）
その他、授業で配付するプリント

履修上の留意点　（全角168文字）

事後学習として、授業中に配付するプリントの最後にある問題を必ず解くこと。
間違った問題については、プリントや教科書を参考にして必ず確認しておくこと。

備考　（全角56文字）

授業計画

回	テーマ(キーワード)（全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）（全角198文字）	担当教員（全角30文字）
1	精神障害者の理解（統合失調症、気分障害、精神症状）	精神疾患に伴う代表的な精神症状を理解する。症状をもつ人にとっての、精神症状の意味や生活について理解する。 （予習）精神看護学概論で学習した内容について復習しておく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題は教科書等で確認する	板山　稔
2	精神看護におけるアセスメント方法（オレム、ペプロウ、オーランド、ウィーデンバック、ストレングス）	セルフケア理論、対人関係理論を用いて精神疾患患者の健康障害をアセスメントする。対象者のストレングス（強み）に着目したアセスメント方法を理解する。 （予習）事前に配付されている授業資料を読み、教科書の該当部分を確認する （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題は教科書等で確認する	板山　稔
3	精神看護における基本的技法（精神症状、アクティブリスニング、リスクアセスメント）	精神看護における特徴的な観察の方法と観察項目を理解する。症状の安定や回復を促進するコミュニケーションの基本的技法を学ぶとともに、精神科におけるリスクアセスメントの特徴を学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料を読み、教科書の該当部分を確認する （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題は教科書等で確認する	板山　稔
4	精神看護における治療的人間関係（ペプロウ、プロセスレコード）	患者－看護師間の人間関係が生み出す治療的意味を理解する。対人関係の構築における自己活用の意味とそれを育むための自己理解、患者－看護師の治療的援助関係の発展過程、プロセスレコード等について学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料を読み、教科書の該当部分を確認する （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題は教科書等で確認する	板山　稔

5	病の体験を聴く （病の体験、リカバリー、エンパワメント、ストレングス）	社会復帰施設を利用しているゲストスピーカーから体験を聴き、精神疾患をもちながら生活することの生きづらさや生きる希望を理解し、看護の役割等を考える （予習）これまでの授業を踏まえ、ゲストスピーカーに質問したいことを考えておく （復習）体験を聴いて思ったこと、考えたことをレポートにまとめる	板山　稔
6	精神医療・保健福祉制度の法律 （精神保健福祉法、医療観察法、障害者総合支援法）	精神保健福祉法、医療観察法、障害者総合支援法等の内容を学び、精神医療・保健福祉制度における法律の体系を理解するとともに、日本の精神科医療施策の問題点・課題を理解する。 （予習）事前に配付されている授業資料を読み、教科書の該当部分を確認する （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題は教科書等で確認する	板山　稔
7	精神疾患の治療① （薬物療法、有害事象、電気けいれん療法）	精神疾患に対して、身体に働きかける治療（薬物療法、電気けいれん療法など）を理解し、必要とされる看護について学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料を読み、教科書の該当部分を確認する （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題は教科書等で確認する	板山　稔
8	精神疾患の治療② （精神療法、作業慮法、認知行動療法、社会生活技能訓練、リカバリー）	精神疾患に対して、精神や心理、活動に働きかける治療（精神療法、認知行動療法、作業療法など）を理解し、看護のあり方について学ぶ （予習）事前に配付されている授業資料を読み、教科書の該当部分を確認する （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題は教科書等で確認する	板山　稔
9	地域精神保健福祉と看護 （精神科訪問看護、精神科デイケア、障害者総合支援法）	精神障害者の社会復帰および地域生活定着に向けた支援のあり方について、訪問看護やデイケアの実践例や障害者総合支援法による支援の実際などを通して理解する （予習）事前に配付されている授業資料を読み、教科書の該当部分を確認する （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題は教科書等で確認する	板山　稔
10	統合失調症患者の看護① （統合失調症、薬物療法、行動制限）	統合失調症の急性期における病態の特徴とその看護について理解する。 （予習）事前に配付されている授業資料を読み、教科書の該当部分を確認する （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題は教科書等で確認する	板山　稔
11	統合失調症患者の看護② （統合失調症、疾患教育、服薬心理教育）	統合失調症の回復期、慢性期における病態の特徴とその看護を理解し、社会参加や社会生活の定着に向けた看護支援のあり方について学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料を読み、教科書の該当部分を確認する （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題は教科書等で確認する	板山　稔
12	気分障害患者の看護 （うつ病、躁病、双極性障害、薬物療法、認知行動療法）	気分障害の病型と特徴的な病態を理解し、それらに対する看護支援について学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料を読み、教科書の該当部分を確認する （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題は教科書等で確認する	板山　稔
13	不安性障害、パーソナリティ障害の患者の看護 （不安障害、パニック障害、強迫性障害、境界性パーソナリティ障害）	不安性障害（不安障害、パニック障害、強迫性障害）、パーソナリティ障害の病態の特徴を理解し、看護支援について学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料を読み、教科書の該当部分を確認する （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題は教科書等で確認する	板山　稔
14	依存症、アディクションの患者の看護 （アルコール依存症、薬物依存症、摂食障害、アディクション）	アルコール依存症、摂食障害を中心に、依存症とアディクションの特徴を理解し、看護支援について学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料を読み、教科書の該当部分を確認する （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題は教科書等を確認する	板山　稔
15	精神医療における倫理 （倫理原則、人権、倫理カンファレンス）	精神科医療における倫理的問題について理解し、倫理的問題への気づきの視点を養うとともに、倫理的意思決定のプロセスを学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料を読み、教科書の該当部分を確認する （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題は教科書等で確認する	板山　稔

学科	看護学科					ID	3112
授業科目の区分１	専門教育科目						
授業科目の区分２	専門科目						
授業科目の区分３	地域社会と看護						
科目名	在宅看護援助論Ⅰ				授業科目番号	2313030	
担当者氏名	古澤　弘美	駒形　三和子	飯吉　令枝		実務経験のある教員等による授業科目	○	
授業方法	講義	単位	2単位		時間	30	
必選	必修	開講年次	2年		開講期	後期	
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力 ◎ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力 ○ 3-2 多職種と連携・協働する力						

授業の概要　（全角392文字）

対象別に在宅療養者とその家族に対する理解を深めるとともに、看護援助の方法を学ぶ。在宅看護で必要とされる基本的生活援助技術について学ぶ。そして、訪問看護ステーションの役割と機能、病院から在宅への移行のための退院調整、家族のケア、家族間調整、多職種との連携・調整などを学び、家族構成や地域の環境などを含め支援するケアについて学ぶ。

授業の到達目標　（全角224文字）

1. 健康上の問題を抱えて在宅で生活する人々とその家族の特徴について説明できる。
2. 在宅療養をする対象に応じた、生活の場で提供される看護援助の方法を説明できる。
3. 在宅療養者に関わる医療、福祉の制度や社会資源に関して説明できる。
4. 生活の場で提供される在宅看護の特徴、訪問看護の役割について考察することができる。

評価の方法　（全角112文字）

定期試験70%、グループワーク参加態度10%、技術演習20%

テキスト　（全角168文字）

『系統看護学講座　在宅看護論』（秋山正子 他著　医学書院　2019年）

参考図書　（全角112文字）

『新版 在宅看護論』（木下由美子編著　医歯薬出版　2009年）　『退院支援ガイドブック』（宇都宮宏子監修、坂井志麻編　学研プラス　2015年）　その他必要な資料を講義時に配布します。

履修上の留意点　（全角168文字）

各疾病治療論、各看護学概論、援助論等の既習内容と結び付けて学習を進めて下さい。
授業に関しては、訪問看護の実践者、ケアマネジャーによる講義もあります。学生の皆さんとディスカッションしながら進めていきます。

備考　（全角56文字）

保健師教育課程必修科目

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	在宅看護の目的、意義、対象者の特徴 （在宅看護、訪問看護、療養者、家族支援,日常生活自立度、要介護度、介護力）	ガイダンス 在宅看護の目的、意義、対象について、在宅看護と病院の看護の違いについて概論を復習しながら学ぶ。 予習：在宅看護概論の学習内容、テキストP10～49、P52～56。 復習：在宅看護と病院の看護の違い、対象の特徴を表にしてみる。	古澤　弘美
2	在宅看護における訪問看護と多職種との連携、協働 （訪問看護、訪問看護ステーション、訪問診療、社会資源、多職種連携、協働、地域包括ケアシステム）	訪問看護の目的、意義、訪問看護の実際、訪問看護ステーションの特徴・機能・地域における役割、在宅看護における多職種・諸機関との連携・協働について学ぶ。 予習：テキストP90-103、P104-109を読んでくる。 復習：地域における在宅看護に関わる職種に関して役割をまとめる。	古澤　弘美
3	継続看護と退院調整 療養の場の移行 （退院支援、退院調整、継続看護、看看連携）	入院・退院時における医療機関との連携、地域包括ケアシステムにおける多職種連携と在宅看護の役割について学ぶ。 予習：テキストP56-72を読んでくる。 復習：病院のホームページから退院調整部門を調べ役割をまとめる。	古澤　弘美
4	在宅ケアの社会資源とケアマネジメント(介護保険制度、ケアマネジメント、社会資源、保健・医療・福祉サービス）	在宅看護をめぐる法制度及び、フォーマル、インフォーマルな社会資源の概要をを理解し、ケアマネジメントの意義とプロセスについて事例をとおして学ぶ。 予習：テキストP76-90を読む、保健医療福祉行政論、老年看護（社会保障）について復習する。 復習：訪問看護利用までの流れを図式化してみる。	古澤　弘美

5	在宅療養者の日常生活を支える基本的看護技術① 初回訪問、基本的な技術（初回訪問、コミュニケーション、信頼関係、情報収集、アセスメント、看護過程）	訪問看護における初回訪問の目的と基本的看護技術、配慮すべき点、訪問のプロセス、在宅療養を支える看護過程の展開におけるポイントを学ぶ。 予習：テキストP174-225、P410-413を読んでくる。 復習：学びをまとめる。	古澤　弘美
6	在宅療養者の日常生活を支える基本的看護技術② 排泄管理（排泄管理、ストーマ、膀胱留置カテーテル、家族支援、）	在宅療養における排泄の管理について、情報収集、観察、アセスメント、支援内容、医療的管理内容、自立支援について学ぶ。 予習：テキストP195-200、P240-245を読んでくる。 復習：学びをまとめる。	古澤　弘美
7	在宅療養者の日常生活を支える基本的看護技術③ 呼吸管理（呼吸管理、在宅酸素療法、在宅人工呼吸器療法、吸引、家族支援）	在宅療養における呼吸管理について、情報収集、観察、アセスメント、支援内容、医療的管理内容、家族支援について学ぶ。 予習：テキストP181-187、P271-289を読んでくる。 復習：学びをまとめる。	古澤　弘美
8	在宅療養者の医療管理を要する人の看護（褥瘡ケア、在宅経管栄養、自己注射、疼痛管理、服薬管理、家族支援）	在宅療養における様々な医療管理について対象の特徴と自立支援、トラブルや合併症の予防、家族支援、多職種との連携、社会資源について学ぶ。 予習：テキストP232-240、P289-303を読んでくる。 復習：学んだことをまとめる。	古澤　弘美
9	様々な状態の対象者とその在宅看護の特徴 （自己決定支援、自立支援、尊厳保持、権利擁護、健康危機管理、医療管理）	認知症、難病、脳血管障害後遺症がある在宅療養者に対して在宅療養を支える看護支援について事例をもとに学ぶ。 予習：テキストP314～343、P356～368を読んでくる。 復習：学びから課題についてまとめる。	古澤　弘美
10	様々な状態の対象者とその在宅看護の特徴 （自己決定支援、自立支援、尊厳保持、権利擁護、健康危機管理、医療管理、重症心身障害児、精神障害者）	地域で生活する重症心身障害児、精神障害者の在宅療養を支える看護支援について事例をもとに学ぶ。 予習：テキストP344-355、P400-408を読んでくる。 復習：学びから課題についてまとめる。	古澤　弘美
11	在宅における終末期患者とその家族への支援（緩和ケア、看取り、グリーフケア、疼痛コントロール、危機的状況、ACP、自己決定支援）	終末期のがん療養者の在宅療養を支える看護支援について事例をもとに学ぶ。 予習：テキストP391-399を読んでくる。 復習：学びから課題についてまとめる。	古澤　弘美
12	訪問看護とケアマネジメントの実際 (訪問の準備、ケアマネジメント、ケア会議、他職種との連携、心がけていること)	訪問看護ステーションの看護師とケアマネジャーより実際の在宅支援の活動について学ぶ。 予習：在宅看護に関する今までの学習内容を復習する。 復習：実際の活動報告から感じたこと、考えたことをまとめる	古澤　弘美
13	在宅療養者の生活を支える基本的看護技術（演習）① （訪問時のマナー、訪問計画、訪問時の必要物品、情報収集）	初回訪問時の対応について、対象者・家族との信頼関係の構築、初回訪問時の準備と情報収集などグループでシナリオを作成し、発表する。 予習：事例を読み込んでくる。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
14	在宅療養者の生活を支える基本的看護技術（演習）② （訪問時のマナー、訪問計画、訪問時の必要物品、情報収集）	演習続き 課題：ワークシートに基づき演習後の自己評価と課題シートを提出する。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
15	まとめ	在宅看護の対象となる人々、在宅看護の特徴と看護の役割等についての学びをグループワーク・発表をとおして明確にする。 予習：前回までの授業内容と在宅看護学概論を復習 復習：学びを振り返り自己の課題を明確にする。	古澤　弘美

学科	看護学科			ID	3122
授業科目の区分１	専門教育科目				
授業科目の区分２	専門科目				
授業科目の区分３	地域社会と看護				
科目名	公衆衛生看護活動論Ⅱ			授業科目番号	2313080
担当者氏名	駒形　三和子	飯吉　令枝		実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30
必選	選択	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力				
	○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力				
	○ 5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

授業の概要　（全角392文字）

学校保健活動と看護、産業看護職の役割と機能について学ぶ。また、感染症対策における保健師の役割と保健指導を学ぶ。そして、地域の健康危機管理の概念、活動体制と行政看護職の機能・役割、健康危機の種別に応じた活動方法を学ぶ。さらに、地域生活集団を対象とした看護管理を学び、既存事業の改革や事業化について考える。
（飯吉令枝/3回）導入の講義を行う。
（駒形三和子/12回）具体的な行政看護職の機能、役割等の講義を行う。

授業の到達目標　（全角224文字）

1. 学校保健および産業保健における対象の健康課題と健康課題に応じた支援方法を説明できる。
2. 学校保健および産業保健における関係職種を理解し、多職種連携における看護職の役割を考察できる。
3. 感染症の予防の原則を理解し、感染症の特徴に応じた個人・集団、自治体・国レベルの予防対策を説明できる。
4. 行政分野における保健師の看護管理の目的と機能を理解し、保健師に求められる役割を考察できる。

評価の方法　（全角112文字）

授業貢献度　10%　（授業中の発言、態度をもとに評価する。）
定期試験　90%

テキスト　（全角168文字）

『最新公衆衛生看護学 第3版 各論2』（ 宮﨑美砂子 他著　日本看護協会出版会　2020年）
『国民衛生の動向　2019-2020』（厚生労働統計協会編　厚生労働統計協会　2019年）

参考図書　（全角112文字）

適宜、資料を配布する。適宜、参考文献を紹介する。

履修上の留意点　（全角168文字）

様々な活動分野における看護職の役割について考えながら授業を進めていきます。小児看護学・成人看護学、公衆衛生看護学、感染免疫学等の既習の知識を踏まえ積極的にディスカッションしながら授業に参加することを期待します。

備考　（全角56文字）

保健師教育課程必修科目　健康危機管理、感染症対策等看護師にも重要な講義内容です。

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	健康危機管理 （健康危機管理、災害、感染症）	ガイダンス 健康危機管理の理念と目的を理解し、健康危機管理における保健師の活動と役割について学ぶ。 （予習）災害、感染への備えとして自分自身が行っていることと、その理由が述べられるように準備する。 （復習）テキストp229～274を読む。	飯吉　令枝
2	公衆衛生看護管理① （事例管理、地区管理、事業業務管理、組織運営管理、予算管理、人材育成・人事管理、情報管理）	公衆衛生看護管理の目的を理解し、保健師活動にみられる管理機能について学ぶ。 （予習）テキストp194～198を読む （復習）テキストp198～211を読む。	飯吉　令枝
3	公衆衛生看護管理② （行政分野、看護管理）	保健師に求められる能力と管理機能について事例をを通して学び、これからの保健師に求められる看護管理機能について考える。 （予習）先回の講義内容を確認する。 （復習）公衆衛生看護管理（事例管理、地区管理、事業業務管理、組織運営管理、予算管理、人材育成・人事管理、情報管理）について整理する。	飯吉　令枝
4	感染症予防の原則 （感染症成立の３要因、感染症予防の３原則、感染症法、新興感染症、再興感染症、感染症類型）	感染症保健① 感染症成立の要因と予防の原則を理解し、感染症保健活動の基盤となる根拠法の制定の背景と予防対策のポイントを学ぶ。 （予習）国民衛生の動向p137～138を読む。 （復習）国民衛生の動向p147～149を読む。	駒形三和子

5	感染症の特徴に応じた予防対策 （感染症の性格、全数把握、定点把握、HIV/AIDS、新型インフルエンザ、結核）	感染症保健② 感染症をその感染力や重篤性から分類した感染症類型の特徴を理解し、最近の流行状況を踏まえながら代表的な疾患とその予防対策を学ぶ。 （予習）国民衛生の動向p138～142を読む。 （復習）国民衛生の動向p150～157を読む。	駒形三和子
6	感染症拡大防止対策と予防接種 （感染症届出基準、感染症発生動向調査、検疫、予防接種）	感染症保健③ 感染症の蔓延を防ぐための国・自治体レベルの予防対策と予防接種法に基づく予防接種について学ぶ。 （予習）国民衛生の動向p157～161を読む。 （復習）国民衛生の動向p162～167を読む。	駒形三和子
7	感染症集団発生の演習 （感染症集団発生の定義、アウトブレイク、パンデミック、食中毒と感染症）	感染症保健④ 感染症集団発生を引き起こしやすい疾患、原因、予防対策についてグループ演習を通して学ぶ。 （予習）演習ワークシート（事前学習）を各自学習し演習に臨む。 （復習）演習ワークシート記入。次回講義開始時に提出。	駒形三和子
8	学校保健の対象と関係職員の役割 （学校保健安全法、学校教育法、学校給食法、養護教諭、保健主事、学校三師）	学校保健① 学校保健活動の対象を理解し、対象の特性に応じた学校保健活動を展開するための根拠法令と学校保健関係職員の活動内容を学ぶ。 （予習）自分が今まで出会った養護教諭との印象的なエピソードを200文字程度でまとめる。 （復習）国民衛生の動向p374～377（学校保健行政の動向）を読む	駒形三和子
9	養護教諭の活動内容 （養護教諭の歴史、職務内容(学校保健計画、保健教育、保健管理、保健室経営)）	学校保健② 学校保健活動の中心的役割を担う養護教諭の活動を通して、学校保健活動の展開方法と求められる役割を学ぶ。 （予習）テキストp2～21を読んでくる。 （復習）テキストp21～35を読む。	駒形三和子
10	学齢期の健康課題に応じた支援内容 （いじめ、不登校、慢性疾患をもつ児童・生徒、医療的処置の必要な児童・生徒、発達障害、LGBT）	学校保健③ 学齢期の子どもの健康課題とその支援活動を学び、養護教諭の役割を考える。 保健師国試の過去問から学校保健活動のポイントを整理する。 （予習）テキストp35～47を読んでくる。 （復習）授業で使用した過去問の振り返り	駒形三和子
11	産業保健の目的と労働衛生管理体制 （産業保健の目的(ILO)、労働基準法、労働安全衛生法、産業医、総括衛生管理者、衛生管理者）	産業保健① 事例を通して、産業保健の目的、産業保健の基盤となる根拠法令と労働衛生管理体制について学ぶ。 （予習）会社等に勤務している家族・知人に、健康管理がどのように実施されているか聞いてくる。 （復習）テキストp48～50、p57～59を読む。	駒形三和子
12	産業保健師の活動 （産業保健師の歴史、産業保健の５管理、衛生委員会、職場巡視、OSHMS）	産業保健② 産業保健師の職務を通して、産業保健活動の展開と求められる役割を学ぶ。 （予習）テキストp50～53を読んでくる。 （復習）テキストp59～65を読む。	駒形三和子
13	職業性疾病と特殊健康診断 （職業性疾病と業務上疾病、じん肺、有機溶剤中毒、電離放射線、腰痛、VDT作業等）	産業保健③ 職業性疾病とその対応および、様々な特殊健康診断について学ぶ。 （予習）テキストp70～76を読んでくる。 （復習）テキストp80～85を読む。	駒形三和子
14	メンタルヘルスと長時間労働 （ラインによるケア、ストレスチェック制度、産業医面接、中小企業、地域産業保健センター）	産業保健④ 産業保健の大きな課題であるメンタルヘルス対策と、心身ともに影響の大きい長時間労働対策および、労働安全衛生法の縛りのない中小企業のサポートシステムを学ぶ。 （予習）テキストp91～98を読んでくる。 （復習）テキストp98～111、p118～119を読む。	駒形三和子
15	産業保健の実際 （事業所の特性と健康課題、勤務形態、労働衛生管理の実際、産業保健師のやりがい、心がけていること）	産業保健⑤ 事業所の健康管理を実際に行っている産業保健師を招き、産業保健の実際について学ぶ。 （予習）テキストp66～70を読んでくる。 （復習）国民衛生の動向p324～335に目を通し、講義内容と合わせて学びを整理する。	駒形三和子

学科	看護学科				ID	3132
授業科目の区分１	専門教育科目					
授業科目の区分２	専門科目					
授業科目の区分３	地域社会と看護					
科目名	公衆衛生看護支援技術			授業科目番号	2313090	
担当者氏名	駒形　三和子	飯吉　令枝	古澤　弘美	実務経験のある教員等による授業科目	○	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30	
必選	選択	開講年次	2年	開講期	後期	
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力					
	○ 2-3 エビデンスに基づく看護実践力					
	○ 5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力					

授業の概要　（全角392文字）

公衆衛生の理念に基づき、住民の家庭、地域社会生活の場において提供する地域看護援助方法を学び、援助提供の場に応じた保健師の役割、機能を考える。保健指導、家庭訪問の方法と技術、対象の主体的学習を支援する健康学習・健康教育の方法と技術、地域におけるグループ支援の方法と技術を学ぶ。そして、地域住民と共に展開する地域看護活動の目的と方法を考える。

授業の到達目標　（全角224文字）

1. 個人・家族の健康課題に応じた個別保健指導（家庭訪問・健康相談）の目的と展開方法を説明できる。
2. 集団を対象とした健康教育のねらいを理解し、企画・実施・評価をする際の留意点を説明できる。
3. 家庭訪問・健康教育の演習を通して、保健指導における保健師の役割を考察できる。
4. 地域におけるグループ支援および地域ケアシステム構築の目的と保健師の役割を考察できる。

評価の方法　（全角112文字）

授業貢献度　10%　（授業中の発言、態度をもとに評価する。）
技術演習　40%、定期試験　40%、レポート　10%

テキスト　（全角168文字）

『最新　公衆衛生看護学　第3版　2020年版　総論』（宮崎美砂子、北山三津子　他著　日本看護協会出版会　2020年）
『国民衛生の動向　2019-2020』（厚生労働統計協会編　厚生労働統計協会　2019年）

参考図書　（全角112文字）

適宜、資料を配布する。適宜、参考文献を紹介する。

履修上の留意点　（全角168文字）

家庭訪問・健康教育の演習は楽しい演習になると思いますが、準備がとても重要です。授業時間外の時間を有効に活用して担当教員との意見交換を密にして授業に臨んでください。学生同士のグループワークでは、お互いを尊重しグループダイナミクスを最大限に発揮できる様、協力して課題に向かうことを期待します。

備考　（全角56文字）

保健師教育課程必修科目　地域での保健師の支援方法を学ぶことは、看護師としての視野を広げることにもつながります。

授業計画

回	テーマ(キーワード) （全角78文字）	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習） （全角198文字）	担当教員 （全角30文字）
1	保健指導 （保健師、保健指導）	ガイダンス 保健師が行う保健指導の特徴と保健指導の技術について学ぶ。 （予習）1年次の概論で学んだ保健師助産師看護師法における保健指導について確認する。 （復習）テキストp150～168を読む。	飯吉　令枝
2	家庭訪問 （個人、家族、保健指導）	家庭訪問の目的・対象、援助方法を学ぶ。 （予習）p169～188（家族への支援）を読む。 （復習）テキストp189～217を読む。	飯吉　令枝
3	家庭訪問・健康相談 （保健指導、面接技術）	家庭訪問の展開方法を学ぶ。 健康相談の目的、方法を理解し、健康相談の展開過程の実際を学ぶ。 （予習）テキストp217～233を読む。 （復習）テキストp233～245を読む。	飯吉　令枝
4	家庭訪問演習①	「こんにちは赤ちゃん訪問」の事例を用いて、訪問計画～訪問～訪問記録のプロセスを体験する。 （事前課題）次回の演習までに「こんにちは赤ちゃん訪問」の事例を読んで訪問計画を立てる。	飯吉　令枝 古澤　弘美 駒形三和子

5	家庭訪問演習②	「こんにちは赤ちゃん訪問」の事例を用いて、訪問計画～訪問～訪問記録のプロセスを体験する。 （課題）訪問記録の提出。	飯吉　令枝 古澤　弘美 駒形三和子
6	健康教育① （健康教育と健康学習、KAPモデル、保健信念モデル、プリシード・プロシードモデル、ニーズ把握、目標設定）	保健師の行う健康教育のねらいを理解し、健康教育を企画するための理論およびモデルを踏まえた健康教育の展開方法について学ぶ。 （予習）テキストp245～250を読む （復習）テキストp256～260 （課題）生活習慣アンケートを記入し提出。	駒形三和子
7	健康教育② （テーマ、対象把握、学習内容、教材案、評価計画、演習準備）	健康教育を企画・実施・評価するための具体的な方法を事例を通して学ぶ。 また、対象者の理解を深めるためのシナリオ・媒体を作成する際の留意点についてディスカッションしながら学ぶ。 （予習）配布された事例を読む。 （復習）健康教育を企画・実施・評価する際のポイントを整理する。	駒形三和子
8	健康教育③ （ニーズの把握、絞り込み、企画書の作成）	健康教育演習① 看護大学生向けの生活習慣（朝食欠食、喫煙、睡眠障害、ゲーム障害、運動不足等）に関する健康教育の企画 （予習）各自のグループが実施するテーマに関する事前学習 （復習）企画書を担当教員に確認してもらい、修正。	飯吉　令枝 古澤　弘美 駒形三和子
9	健康教育④ （指導案・シナリオ・媒体の作成、デモンストレーション）	健康教育演習② 看護大学生向けの生活習慣（朝食欠食、喫煙、睡眠障害、ゲーム障害、運動不足等）に関する健康教育のシナリオ、媒体作成 （予習）企画書を元に指導案を作成。 （復習）シナリオ、媒体を担当教員に確認してもらい修正。実施に向けたデモンストレーション（１回は担当教員に入ってもらう）	飯吉　令枝 古澤　弘美 駒形三和子
10	健康教育⑤ （健康教育の実施①）	健康教育演習③ 看護大学生向けの生活習慣（朝食欠食、喫煙、睡眠障害、ゲーム障害、運動不足等）に関する健康教育の実施 （予習）各グループ代表で相談し、実施の順番を決める。各グループ内の役割（進行・タイムキーパー、記録係等）を決め、必要物品を準備。	飯吉　令枝 古澤　弘美 駒形三和子
11	健康教育⑥ （健康教育の実施②）	健康教育演習④ 看護大学生向けの生活習慣（朝食欠食、喫煙、睡眠障害、ゲーム障害、運動不足等）に関する健康教育の実施・評価 （課題）評価表と実施後の振り返りシート提出	飯吉　令枝 古澤　弘美 駒形三和子
12	グループ支援、地区組織活動① （グループの定義、グループの発展過程、グループダイナミクス）	保健師が関わるグループの種類と特性を理解し、グループの発展過程における支援者の役割および、地区活動への発展について事例を通して学ぶ。 （予習）グループワーク等、グループで話し合ったり活動した場合のメリットを5つ考えてくる。 （復習）配布資料およびテキストp265～268を読み、学びを整理する。	駒形三和子
13	グループ支援、地区組織活動② （セルフヘルプグループ、住民組織・地区組織、グループ支援における保健師の役割）	セルフヘルプグループおよび地区組織の特徴を踏まえ、グループおよび地区組織の支援のあり方について映像資料や保健師国試過去問を活用しながら学ぶ。 （予習）テキストp269～276を読んでくる。 （課題）グループ支援における保健師の役割について800字程度にまとめ提出する。	駒形三和子
14	地域ケアシステム① （チームづくり、ネットワーク化、コーディネート、地域ケアシステムの発展過程）	地域ケアシステムの概念、理念・目的、地域ケアシステムづくり、地域ケアシステムの発展過程、について事例を通して学ぶ。 （予習）今までの学習の中で、健康上の問題で地域を巻き込んで解決したほうが良いと思われる課題を1つ以上挙げる。 （復習）テキストp278～286を読み、講義内容と合わせ学びをまとめる。	古澤　弘美
15	地域ケアシステム② （ノーマライゼーション、地域づくり・まちづくり、共生社会）	地域ケアシステム構築において、課題になること、保健師活動として目指すもの、活動の評価について事例を展開しながら学ぶ。 （予習）テキストp286～309を読んでくる。 （課題）地域ケアシステムにおける保健師の役割について800字程度にまとめ提出する。	古澤　弘美